



J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2015 SUMMARY REPORT



J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2015 SUMMARY REPORT

Jリーグ スタジアム観戦者調査2015 サマリーレポート

Contents

主な調査結果

Executive Summary 02

調査の概要

Outline of Survey 03

● Jリーグとコミュニティ J.League and the Community

社会貢献への評価 05

● 観戦者のプロフィール Sample Profile

性別 11

年齢 14

居住地 19

自由裁量所得 21

観戦歴 22

サポーター歴 23

サッカー・フットサルの経験 24

● スタジアム観戦の動機 Fan Motivation

観戦の動機やきっかけ 27

チームアイデンティフィケーション 32

スタジアム観戦についての勧誘行動 33

スタジアム観戦についての被勧誘行動 34

ファンコミュニティ 36

● 観戦行動の特徴 Fan Behavior

観戦頻度 39

アクセス時間 47

同伴者 50

情報入手経路 59

チケット入手方法 61

シーズンチケットの購入理由 62

付録

Appendix 64



[調査時期] 2015年5月3日～10月4日
[調査対象] スタジアム観戦者、11歳以上の男女個人
[調査方法] スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法
[回収状況] 有効回収数：17,164票

主な調査結果 Executive Summary

■ 調査概要

調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,866名とし、17,164票(有効回収率:96.1%)の有効回答を得た。調査の時期は、2015年5月3日から10月4日であった。

■ Jリーグと地域社会

Jリーグと地域社会との関係については、ホームタウンにおいて重要な役割(81.4%)を果たしている、ホームタウンへ大きな貢献(78.5%)、若い人たちの生活にいい影響(74.8%)をしているという意見が支持されており、肯定的な評価が目立った。

■ 観戦者のプロフィール

観戦者の平均年齢は41.1歳で、男性の割合は62.7%であった。クラブの活動区域内に居住する割合は86.8%、自由に使える小遣いの平均は、一ヶ月あたり35,100円であった。

■ 観戦の特徴

年間の観戦頻度の平均は、J1来場者は12.2回、J2は13.1回であった。スタジアムまでの平均所要時間は51.0分であり、二人で来場する人が43.8%、家族と来場する人が52.9%であった。また、10年以上、特定のクラブのサポーターである層は44.8%であった。

■ チケット

シーズンチケット購入している割合は47.4%であり、シーズンチケット購入理由としては、クラブに愛着があるから(73.4%)が主なものであった。

■ 観戦動機と勧誘行動

サッカー観戦が好きだから、および好きなクラブの応援のために、などが主な観戦の動機となっていた。周囲を観戦に誘うとした割合は58.7%、周囲から観戦を誘われるとした割合は36.1%であった。

Jリーグと地域社会	
Jクラブは地域で重要な役割	81.4%
Jクラブは地域に大きく貢献	78.5%
サッカーは若い人たちにいい影響	74.8%
Jリーガーは社会の模範	64.1%

観戦者のプロフィール		
年齢	平均年齢	41.1歳(34.8歳 ※同伴来場の子どもを含めた場合)
	年齢層	40代(29.1%)・30代(21.1%)、50代以上(27.3%)を中心
性別	男性構成比	62.7%
居住地	活動区域内居住率	86.8%
自由裁量所得	月額平均	35,100円

観戦の特徴		
観戦頻度	J1平均	12.2回/シーズン
	J2平均	13.1回/シーズン
アクセス	平均所要時間	51.0分
同伴者	同伴者数(平均)	(回答者含み)2.8名
	二人で来場する割合	43.8%
	家族と来場する割合	52.9%
サポーター歴	10年以上	44.8%

チケット	
シーズンチケット購入率	47.4%
シーズンチケット購入理由	クラブに愛着(73.4%)

観戦動機とファンコミュニティ		
観戦動機	サッカー観戦が好き	平均得点4.54(5点満点)
	好きなクラブの応援	平均得点4.53(5点満点)
勧誘行動	周囲を観戦に誘う	58.7%
被勧誘行動	周囲から観戦を誘われる	36.1%
リアルコミュニティ	スタジアムでの仲間がいる	54.9%
ヴァーチャルコミュニティ	ネット上での仲間がいる	22.2%

協力	筑波大学体育系准教授 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授 筑波大学体育系准教授	仲澤 眞 原田 宗彦 藤本 淳也 高橋 義雄
実査協力	東日本国際大学特任講師 仙台大学スポーツ科学研究科教授 新潟経営大学経営情報学部スポーツマネジメント学科准教授 法政大学スポーツ健康学部助教 山梨学院大学経営情報学部経営情報学科准教授 金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科講師 日本福祉大学社会福祉学部准教授(招聘教員) 至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科助教 びわこ成蹊スポーツ大学准教授 岡山大学スポーツ教育センター助教 徳島大学大学院ソシオ・アート・アンド・サイエンス研究部准教授 北九州市立大学地域戦略研究所准教授 佐賀大学文化教育学部教授 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系講師 日本文理大学経営経済学部スポーツビジネスコース准教授	岩村 聡 永田 秀隆 福田 拓哉 井上 尊寛 長倉 富貴 佐々木 達也 荒深 裕規 徳山 性友 吉田 政幸 高岡 敦史 行實 鉄平 南 博 坂元 康成 隅野 美砂輝 竹田 隆行

調査の概要 Outline of Survey

2015シーズンの来場者を対象に質問紙調査を行い、本報告書を作成した。調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,866名とし、17,164票(有効回収率:96.1%)の有効回答を得た。調査の時期は、2015年5月3日から10月4日であった。調査の対象となったゲームおよび会場等については、下記に示すとおりである。

対象クラブ	ステージ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
										有効回収数	ホームクラブ	
仙台	2nd	13	10月3日	横浜FM	ユアスタ	14:04	晴	15,685	403	392	359	97.3
山形	2nd	4	7月25日	新潟	NDスタ	19:34	曇	11,206	404	403	370	99.8
鹿島	2nd	4	7月25日	FC東京	カシマ	18:34	晴	17,804	416	415	359	99.8
浦和	2nd	13	10月3日	鳥栖	埼玉ス	16:04	晴	35,015	414	412	406	99.5
柏	2nd	9	8月30日	甲府	柏	19:03	雨のち曇	8,002	415	411	395	99.0
FC東京	2nd	10	9月12日	神戸	味スタ	19:04	晴	22,328	462	461	427	99.8
川崎F	2nd	11	9月19日	名古屋	等々力	19:04	晴	20,238	442	438	388	99.1
横浜FM	1st	11	5月10日	新潟	日産ス	14:03	晴	19,784	417	413	349	99.0
湘南	1st	16	6月20日	新潟	BMWス	16:04	晴	11,175	431	420	375	97.4
甲府	1st	17	6月27日	柏	中銀スタ	19:04	曇	11,019	419	416	389	99.3
松本	1st	15	6月7日	FC東京	松本	16:04	晴のち曇	17,617	414	413	405	99.8
新潟	1st	12	5月16日	仙台	デンカS	14:03	曇	16,764	475	426	413	89.7
清水	2nd	3	7月19日	名古屋	アイスタ	18:34	晴	14,497	415	412	384	99.3
名古屋	2nd	4	7月25日	浦和	パロ瑞穂	19:04	晴	17,624	497	450	298	90.5
G大阪	2nd	3	7月19日	横浜FM	万博	19:03	晴	16,787	500	463	431	92.6
神戸	1st	17	6月27日	横浜FM	ノエスタ	19:04	曇	22,332	498	482	414	96.8
広島	2nd	11	9月19日	鳥栖	Eスタ	19:04	晴	18,625	500	477	446	95.4
鳥栖	2nd	8	8月22日	横浜FM	ベアスタ	19:04	晴	18,321	417	414	337	99.3
J1計									7,939	7,718	6,945	97.2

対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率	
									有効回収数	ホームクラブ		
札幌	19	6月21日	北九州	札幌ド	14:03	屋内	12,691	428	421	393	98.4	
水戸	20	6月28日	横浜FC	Ksスタ	18:03	曇	5,486	417	414	316	99.3	
栃木	11	5月3日	熊本	栃木グ	13:03	晴	3,761	474	436	403	92.0	
群馬	35	10月4日	京都	正田スタ	15:04	晴	3,914	456	412	331	90.4	
大宮	34	9月27日	千葉	NACK	16:03	晴	12,029	500	461	419	92.2	
千葉	21	7月4日	岐阜	フクアリ	19:03	雨	9,250	412	412	387	100.0	
東京V	21	7月4日	福岡	味スタ	18:03	雨	4,276	467	434	325	92.9	
横浜FC	30	8月23日	千葉	ニッパ球	18:03	曇	5,814	450	440	351	97.8	
金沢	35	10月4日	栃木	石川西部	13:03	晴	3,217	500	438	388	87.6	
磐田	24	7月18日	千葉	ヤマハ	19:04	晴	11,877	412	405	362	98.3	
岐阜	28	8月8日	熊本	長良川	19:04	晴	7,272	450	401	337	89.1	
京都	27	8月1日	札幌	西京極	18:04	晴	7,096	499	490	382	98.2	
C大阪	21	7月4日	大分	金鳥スタ	19:04	曇	8,946	500	480	446	96.0	
岡山	17	6月6日	東京V	Cスタ	19:03	晴	10,019	440	436	399	99.1	
讃岐	32	9月20日	徳島	ピカスタ	13:04	晴	8,249	418	415	349	99.3	
徳島	29	8月15日	東京V	鳴門大塚	19:04	晴	4,564	550	500	447	90.9	
愛媛	27	8月1日	C大阪	ニンスタ	19:04	晴	7,177	426	420	313	98.6	
福岡	27	8月1日	大分	レベスタ	18:04	晴	6,559	485	456	401	94.0	
北九州	35	10月4日	横浜FC	本城	14:03	晴	4,455	428	404	264	94.4	
長崎	30	8月23日	讃岐	長崎県立	18:03	晴	4,004	423	414	392	97.9	
熊本	23	7月12日	愛媛	うまスタ	19:05	曇	3,978	392	390	370	99.5	
大分	19	6月21日	千葉	大銀ド	18:03	曇	6,031	400	367	352	91.8	
J2計									9,927	9,446	8,127	95.2
合計									17,866	17,164	15,072	96.1



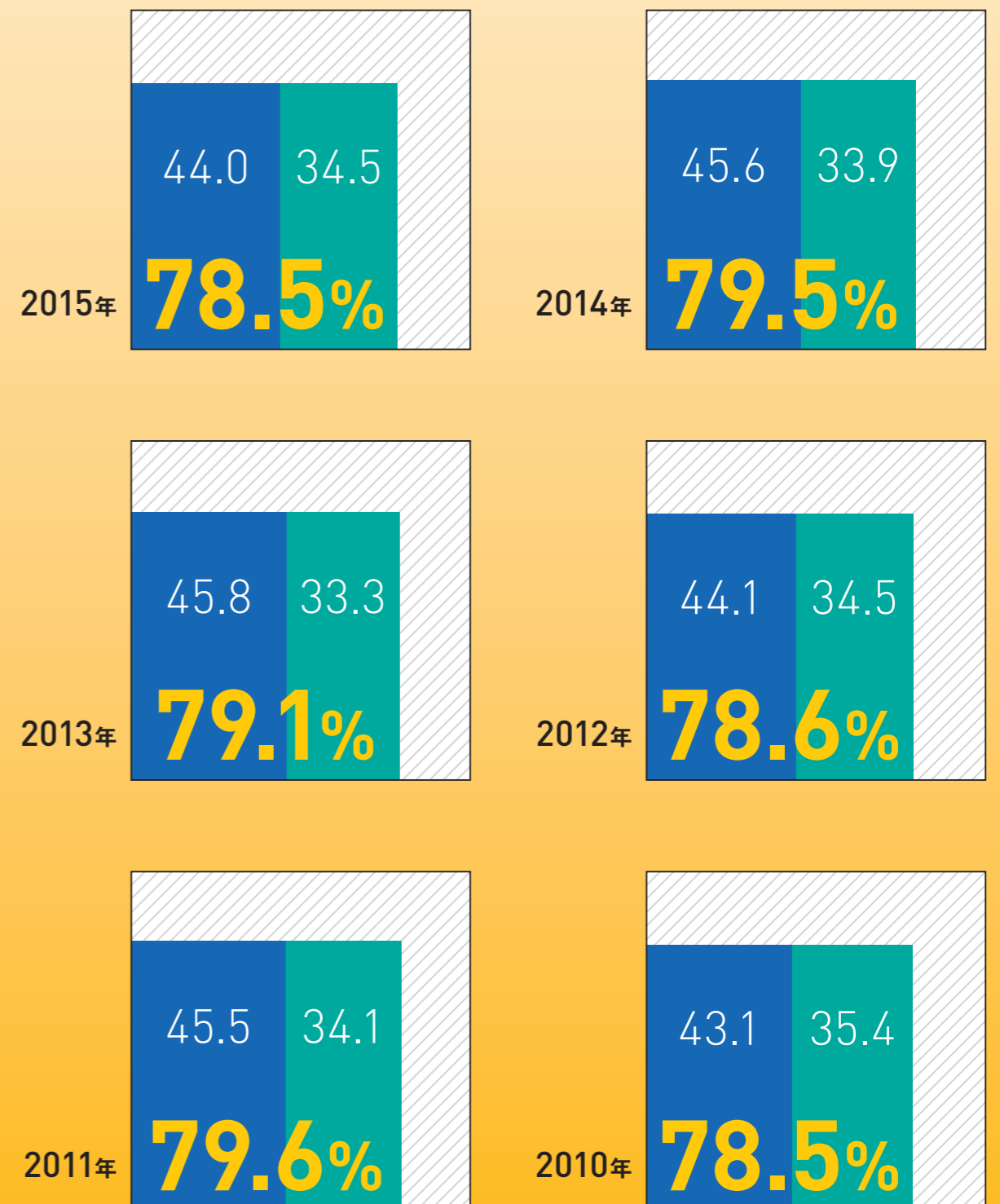
J.League and the Community

Jリーグとコミュニティ

Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

「大いにあてはまる」と「あてはまる」を加えたデータ

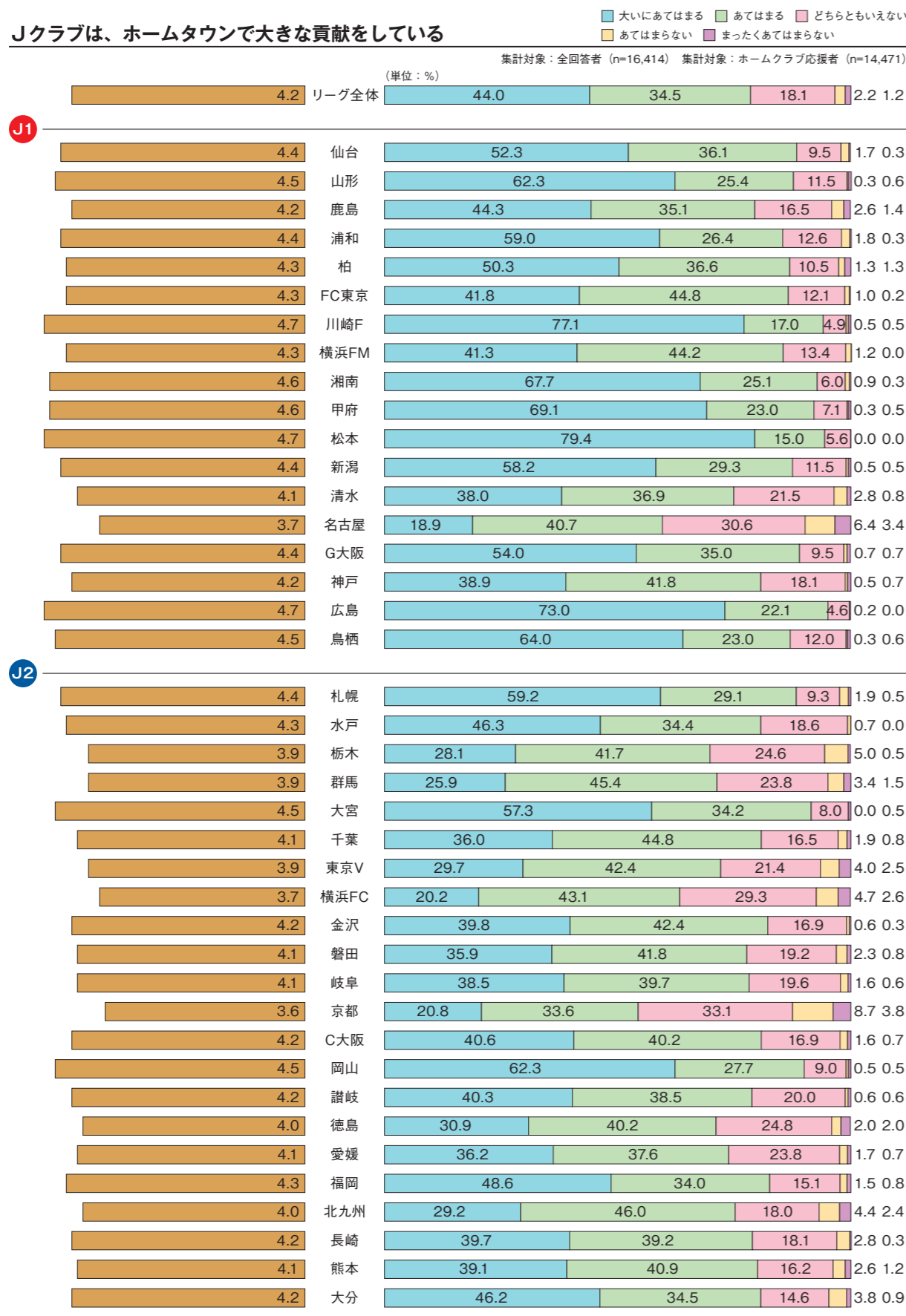
- 大いにあてはまる
- あてはまる



78.5% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブはホームタウンへ貢献していると評価している。

「Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている」という見解に対して、観戦者全体の78.5% (44.0% + 34.5%) が肯定的であった。クラブ別に見ると、広島、川崎F、松本が4.7ポイントと最も高く、次いでJ1では湘南・甲府 (4.6)、山形・鳥栖 (4.5)、J2では大宮・岡山 (4.5) のポイントが高くなっている。

Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

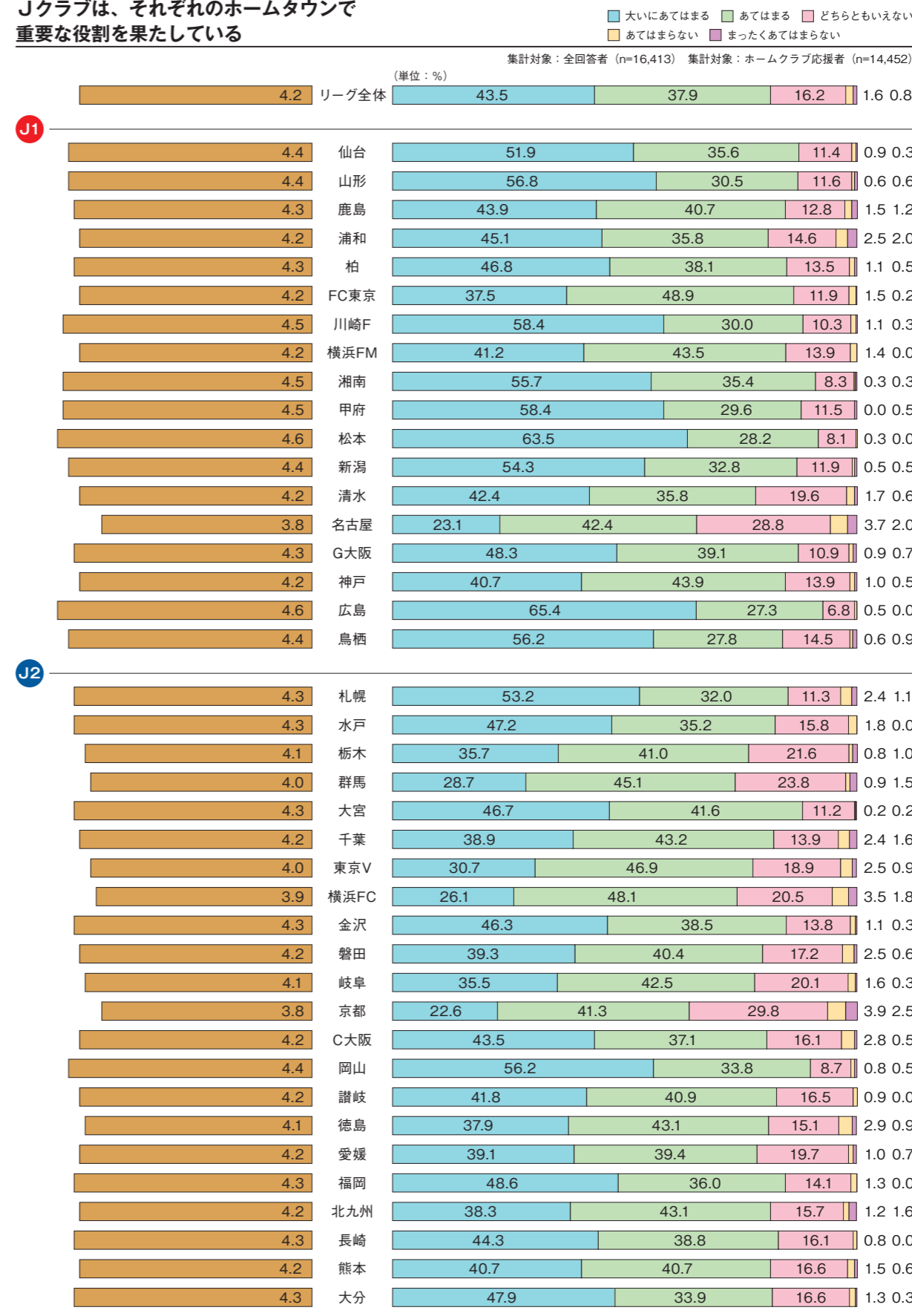


*平均値は、五段階評価尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めたスコアである

81.4% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブが地域で重要な役割を果たしていると感じている。

「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の81.4% (43.5% + 37.9%) が肯定的であった。クラブ別に見ると、広島、松本が4.6ポイントと最も高く、次いでJ1では川崎F・湘南・甲府 (4.5)、J2では岡山 (4.4) のポイントが高くなっている。

Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている

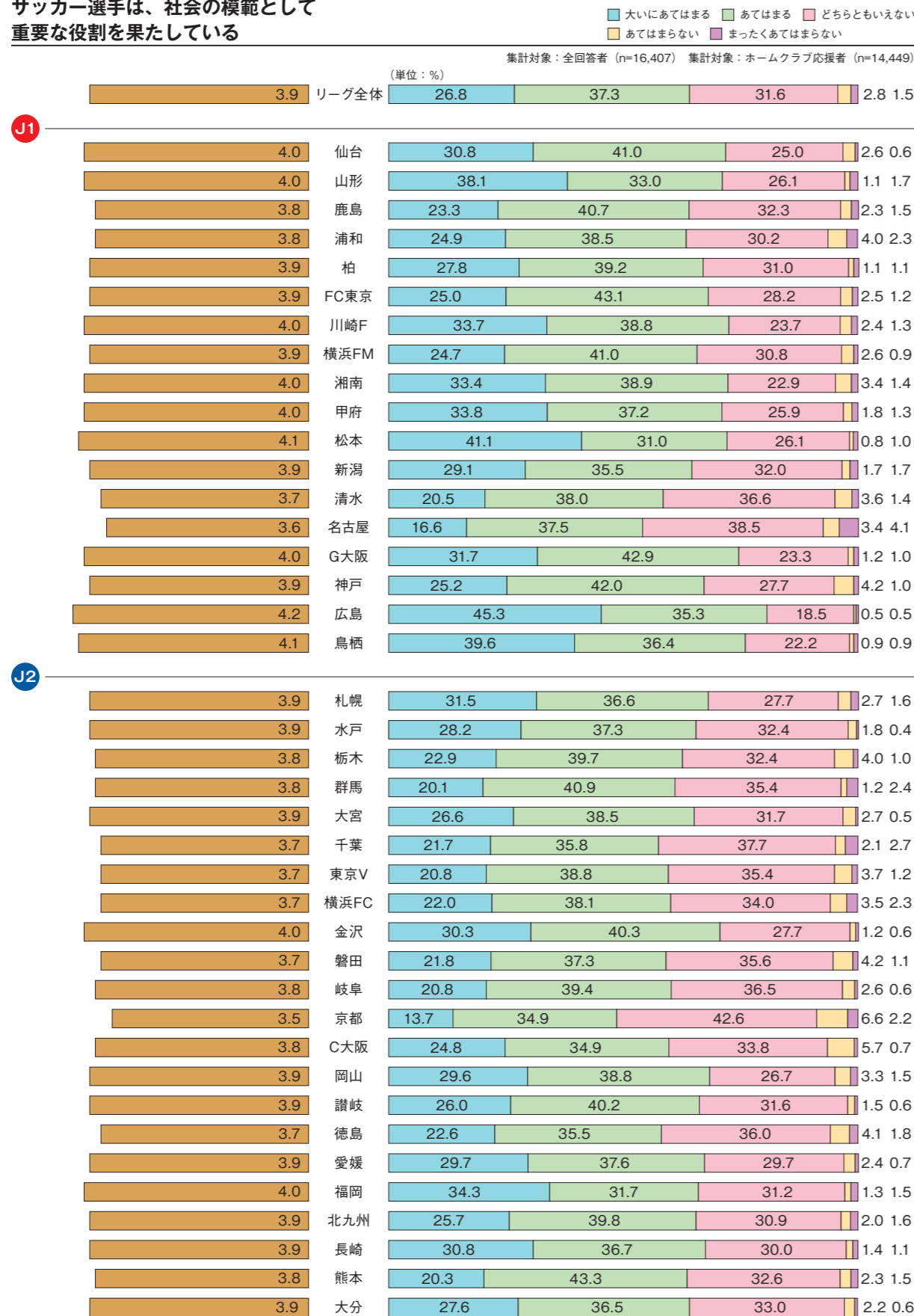


*平均値は、五段階評価尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めたスコアである

64.1% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカー選手を社会の模範として重要だと感じている。

「サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の64.1% (26.8% + 37.3%)が肯定的であった。クラブ別にみると、広島が4.2ポイントと最も高く、次いでJ1では、松本・鳥栖 (4.1)、J2では金沢・福岡 (4.0)のポイントが高くなっている。

サッカー選手は、社会の模範として重要な役割を果たしている

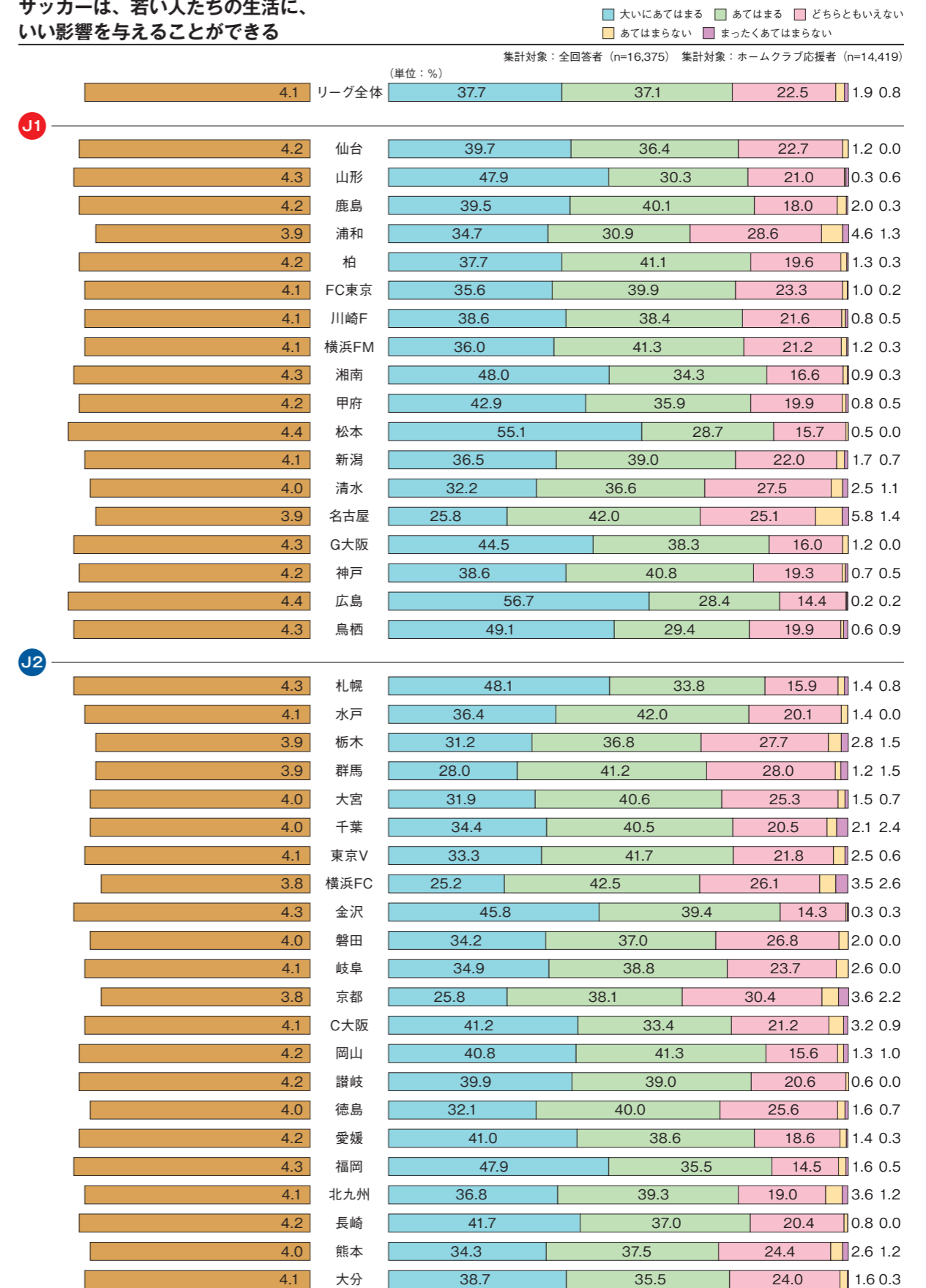


*平均値は、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めたスコアである

74.8% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカーは若者にいい影響を与えていると考えている。

「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、観戦者全体の74.8% (37.7% + 37.1%)が肯定的であった。クラブ別にみると、広島、松本が4.4とポイントが最も高く、次いでJ1では、山形・湘南・G大阪・鳥栖 (4.3)、J2では、札幌・金沢・福岡 (4.3)とポイントが高くなっている。

サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる



*平均値は、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めたスコアである

Sample Profile

観戦者のプロフィール

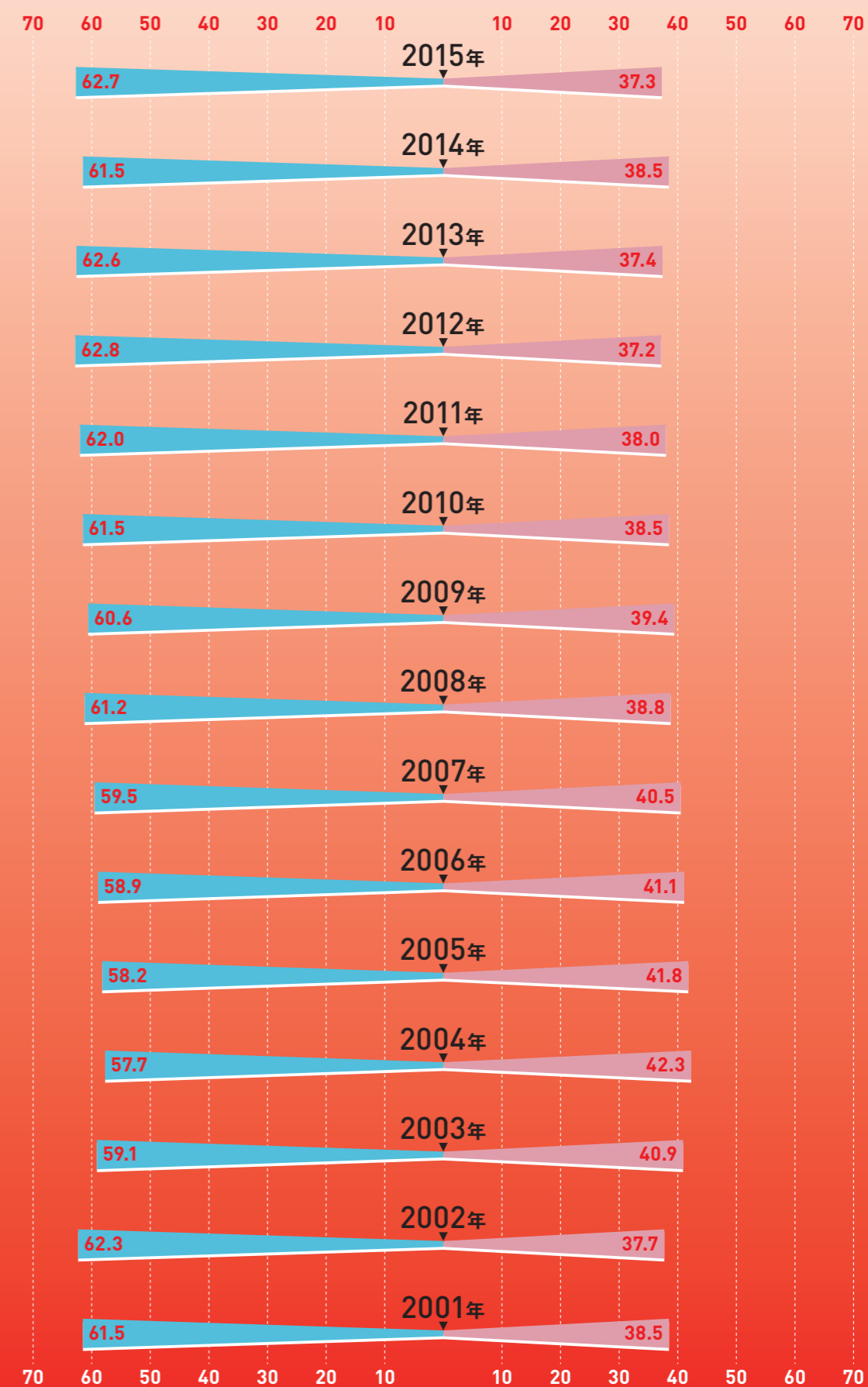


性別 (Jリーグ平均)

■ 男性 ■ 女性

集計対象 [リーグ平均] : 全回答者

2015 n=17,155 / 2014 n=17,234 / 2013 n=17,253 / 2012 n=16,711 / 2011 n=16,457
2010 n=16,359 / 2009 n=16,033 / 2008 n=14,452 / 2007 n=12,973 / 2006 n=12,937
2005 n=13,003 / 2004 n=12,131 / 2003 n=11,633 / 2002 n=19,270 / 2001 n=7,390



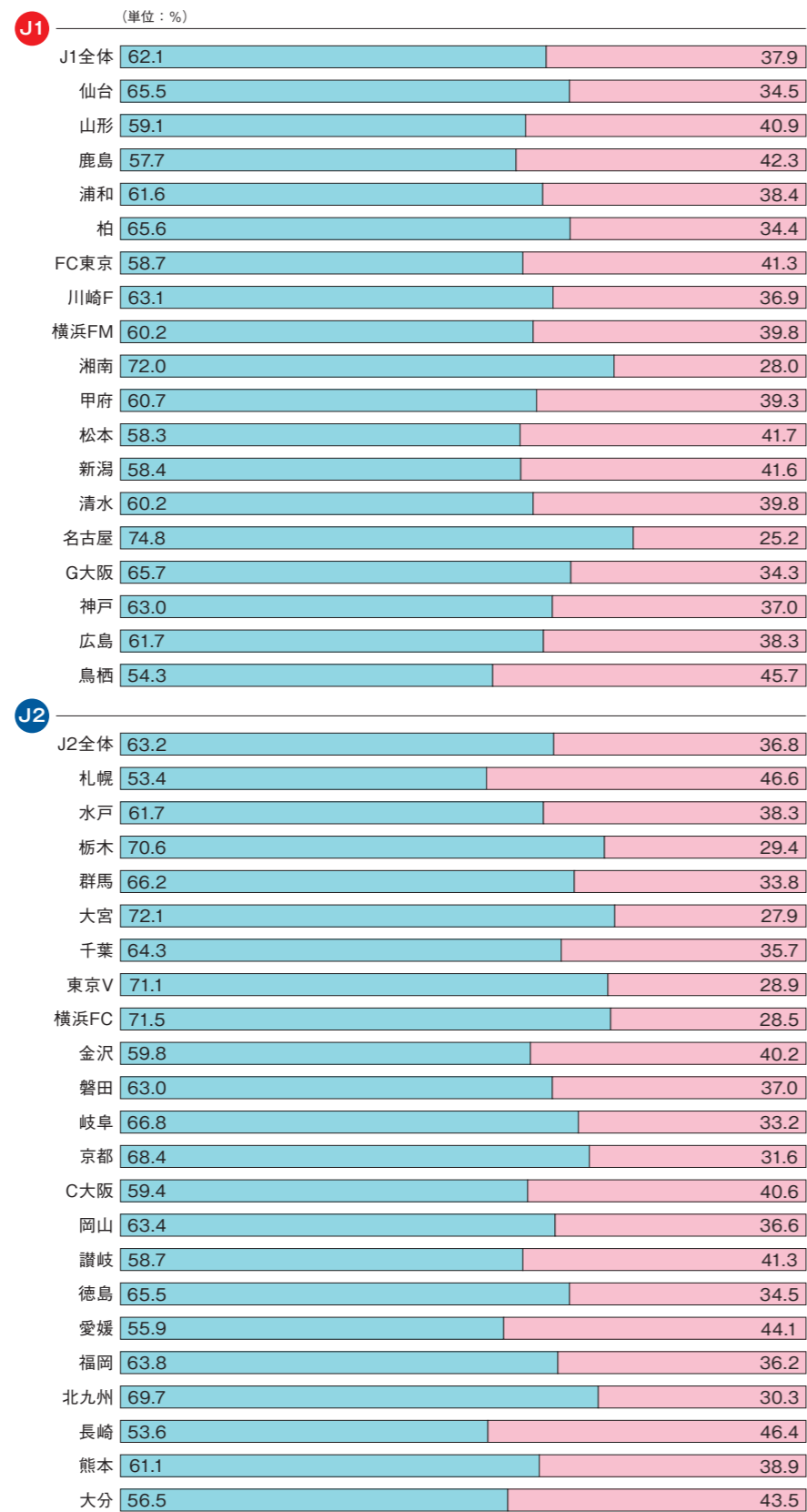
男女比6:4 男性比微増も大きな変化なし。

観戦者の性別は、約6割(62.7%)が男性で約4割(37.3%)が女性であった。例年とほぼ同様の傾向であった(P11参照)。J1とJ2では、性別構成に大きな違いはみられないものの、J1では、名古屋(74.8%)・湘南(72.0%)、J2では大宮(72.1%)・横浜FC(71.5%)・東京V(71.1%)の男性比率が高くなっている。反対にJ1では鳥栖(45.7%)、J2では、札幌(46.6%)・長崎(46.4%)の女性比率が高くなっている。2014シーズンとの比較では、G大阪(男性比が7.4%増加)、仙台(同4.9%)、栃木(同4.7%)で男性比が高くなり、FC東京(女性比が4.5%増加)などで女性比が高くなっている。

2015 性別 (クラブ別)

■ 男性 ■ 女性

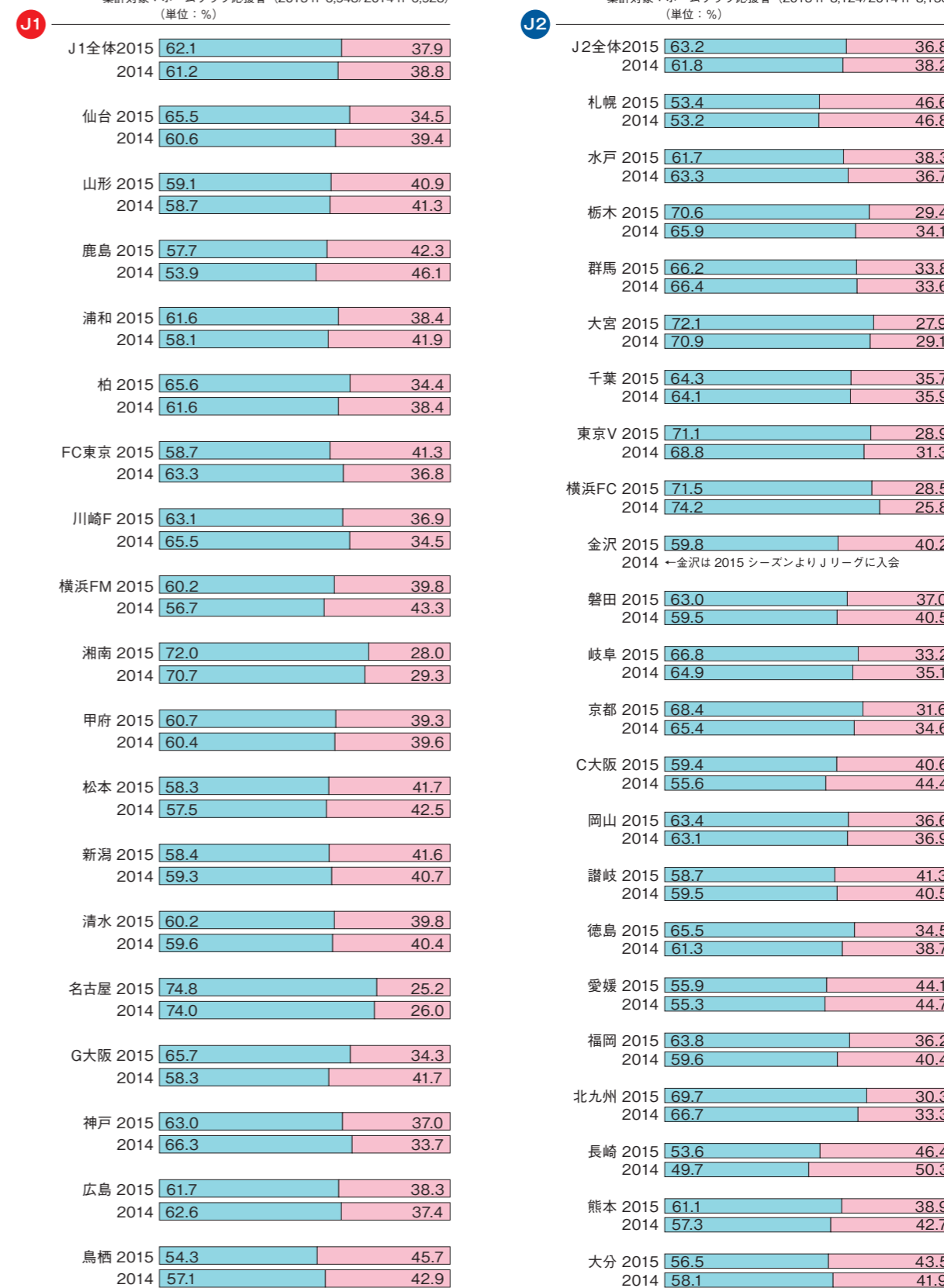
集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,067)



性別 (2014/2015 比較)

■ 男性 ■ 女性

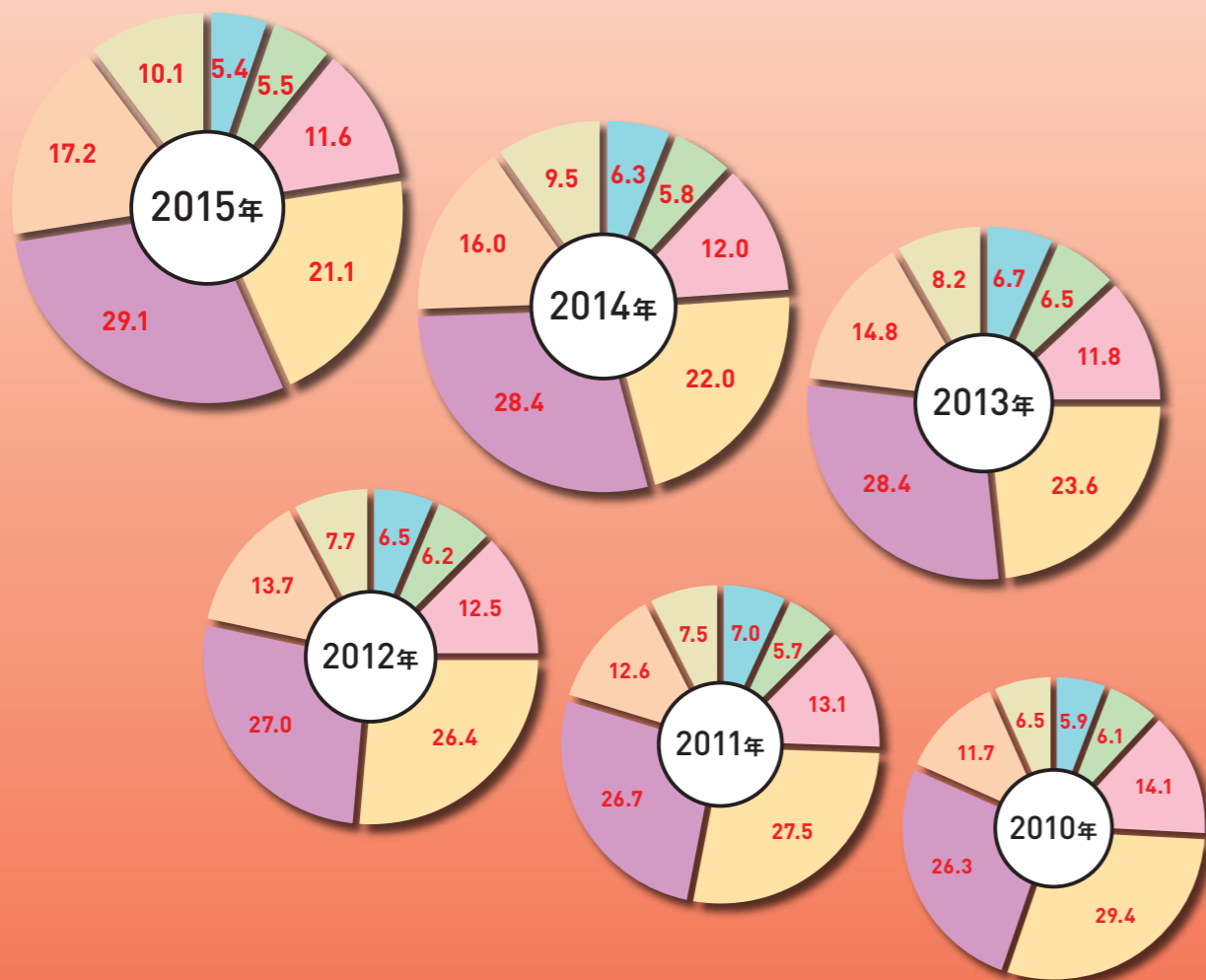
集計対象：全回答者 (2015 n=17,155/2014 n=17,234)
集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=6,943/2014 n=6,923)
(単位：%)



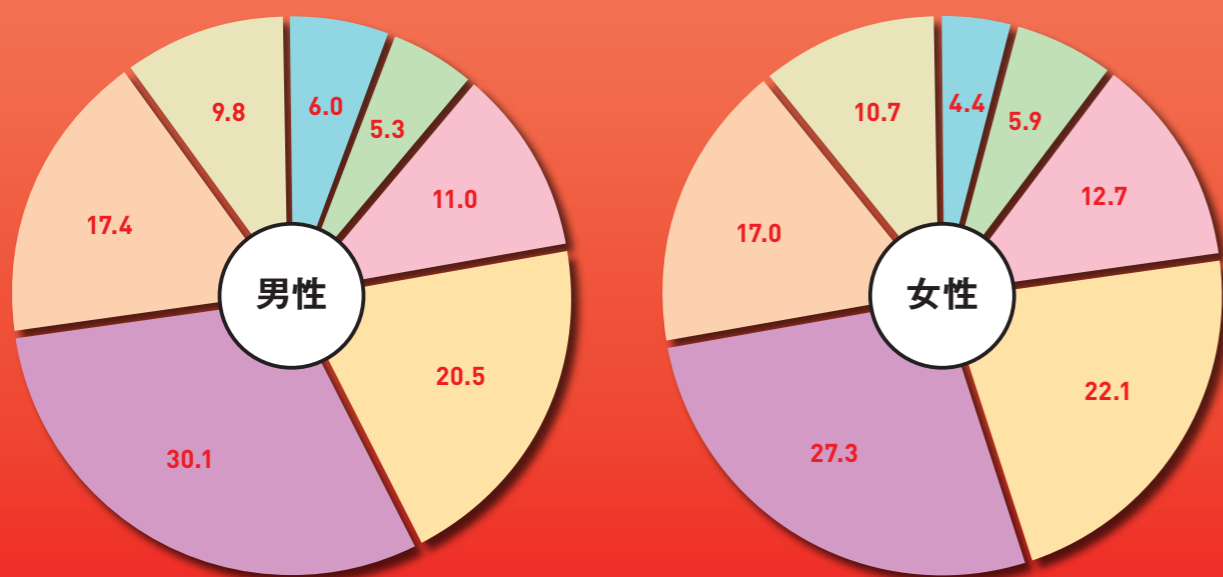
年齢分布

18歳以下 19~22歳 23~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上

年齢分布の推移 (リーグ平均)



2015 年齢分布 (男女別)



平均年齢は全体で41.1歳。

※本調査は、これまで継続的に、11歳以上の来場者を対象にデータ収集をしていたが、2014シーズンより、同年来場の子どもの年齢を調査項目に加え、新たに算出したものである。

観戦者の平均年齢は全体で41.1歳であった。昨年より0.7歳上がっている。年齢層では、40代(29.1%)、50代以上(27.3%)、30代(21.1%)が中心となっていた。性別による年齢構成比に大きな違いはなかった。平均年齢が高いクラブは新潟(47.1歳)、大分(46.6歳)、湘南(46.1歳)などであった。一方、平均年齢が低いクラブは、鹿島(36.7歳)、鳥栖(37.0歳)などであった。2014シーズンとの比較では、浦和(+4.7歳)、広島(+4.1歳)、水戸(+3.8歳)が平均年齢を上げ、鹿島(-3.2歳)、清水(-2.5歳)、徳島(-1.8歳)と平均年齢を下げていた。なお、回答者と一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、34.8歳(n=22,309)となった^(※注)。

平均年齢・年齢分布 (クラブ別)

集計対象：全回答者 (n=17,034) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,970)

クラブ	平均年齢 (歳)	18歳以下 (%)	19~22歳 (%)	23~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60歳以上 (%)
リーグ全体	41.1	5.4	5.5	11.6	21.1	29.1	17.2	10.1
J1								
仙台	44.3	7.6	6.2	6.7	12.0	28.6	20.7	18.2
山形	42.8	6.6	6.0	13.4	16.1	22.9	16.6	18.5
鹿島	36.7	8.5	6.2	22.2	22.2	22.5	10.7	7.8
浦和	40.7	4.5	6.2	11.4	22.4	32.3	18.4	6.6
柏	41.0	4.9	6.4	9.3	18.3	37.1	16.5	7.5
FC東京	42.2	5.2	5.7	8.1	19.0	31.0	20.6	10.4
川崎F	39.7	3.5	9.6	11.7	20.3	32.3	17.2	5.5
横浜FM	39.8	5.7	6.0	12.6	21.8	29.9	17.2	6.6
湘南	46.1	3.0	3.5	7.8	14.9	33.8	16.2	20.8
甲府	40.3	6.7	6.7	13.9	18.3	26.7	17.5	10.3
松本	40.6	5.2	6.0	12.9	20.9	28.1	18.2	8.7
新潟	47.1	3.6	4.6	6.6	13.0	23.0	26.4	22.7
清水	41.1	6.8	4.7	12.1	18.9	30.7	15.7	11.0
名古屋	39.7	6.1	5.7	13.8	21.9	29.0	16.5	7.0
G大阪	39.7	2.3	5.1	14.8	24.8	31.8	17.2	3.9
神戸	41.7	4.1	7.2	9.4	19.3	28.7	23.2	7.9
広島	44.7	2.4	3.6	9.4	15.0	32.7	25.3	11.5
鳥栖	37.0	16.4	6.3	14.6	15.8	26.0	11.9	9.0
J2								
札幌	44.5	5.2	3.3	12.7	15.3	20.6	26.7	16.2
水戸	41.3	6.4	3.9	9.0	22.2	34.4	12.2	11.9
栃木	41.6	6.3	3.0	11.5	23.0	26.5	17.0	12.9
群馬	43.9	1.2	3.6	8.5	24.6	31.9	15.5	14.6
大宮	44.6	2.1	5.3	8.2	16.7	32.4	20.3	15.0
千葉	40.1	4.5	6.3	11.8	25.9	28.5	14.7	8.4
東京V	40.8	2.8	5.9	13.7	23.9	28.3	17.1	8.4
横浜FC	43.9	3.7	2.3	3.4	21.8	42.1	17.2	9.4
金沢	42.6	1.6	2.9	8.4	28.3	31.9	17.5	9.4
磐田	39.0	6.1	5.8	14.4	25.5	24.7	16.3	7.2
岐阜	42.7	1.5	2.7	9.6	25.1	35.5	16.7	9.0
京都	41.8	2.4	6.1	12.0	18.7	32.6	21.4	6.7
C大阪	39.3	4.7	5.4	14.6	22.2	30.7	18.4	4.0
岡山	43.1	6.1	3.0	7.4	21.3	28.9	21.1	12.2
讃岐	40.7	7.3	3.5	12.1	21.9	30.5	14.1	10.7
徳島	41.4	5.3	4.1	8.8	25.5	29.3	17.2	10.0
愛媛	41.3	9.0	3.5	6.7	20.8	35.1	16.6	8.4
福岡	41.6	3.2	6.5	11.2	21.2	31.7	15.5	10.7
北九州	43.2	6.9	1.9	9.8	22.7	24.2	19.3	15.2
長崎	42.6	4.9	5.6	9.5	19.9	26.3	21.2	12.5
熊本	43.7	5.7	2.2	10.8	16.8	29.5	21.1	14.0
大分	46.6	3.4	3.7	9.7	11.4	27.6	25.6	18.5

平均年齢が最も低いクラブは、J1では鹿島(36.7歳)、J2では磐田(39.0歳)。

J1では平均年齢が2014シーズンより下がったクラブが8、上がったクラブが10。J2では下がったクラブが8、上がったクラブが12、変わらなかったクラブが1であった(2015シーズン入会の金沢を除く)。2014シーズンと比べると鹿島(-3.2歳)の下がり幅が大きく、浦和(+4.7歳)、広島(+4.1歳)、水戸(+3.8歳)の上がり幅が大きく顕著であった。

平均年齢 (2014/2015 比較)

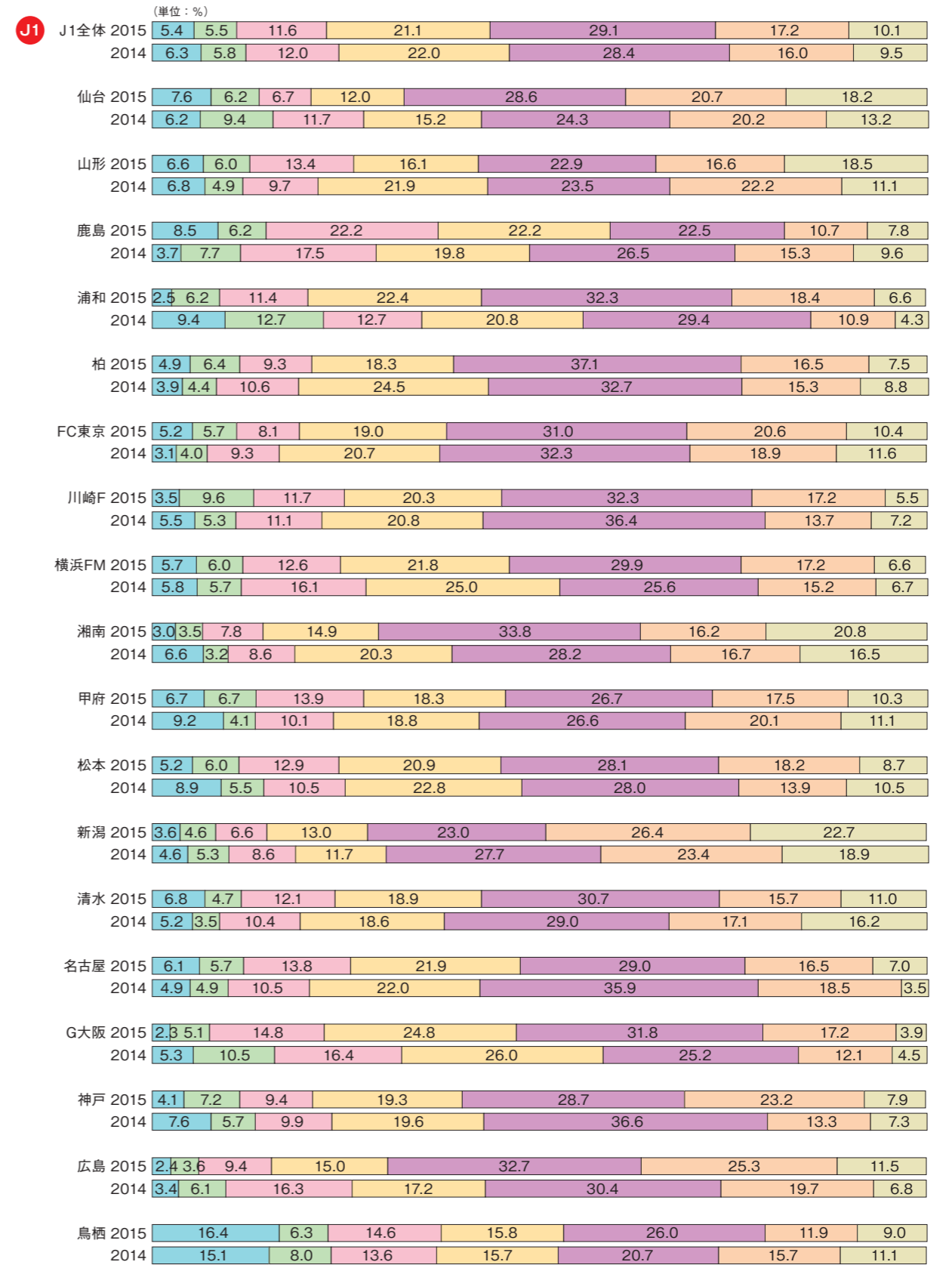
集計対象：全回答者 (2015 n=17,034/2014 n=17,082) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=14,970/2014 n=14,949)



J1 年齢分布 (2014/2015 比較)

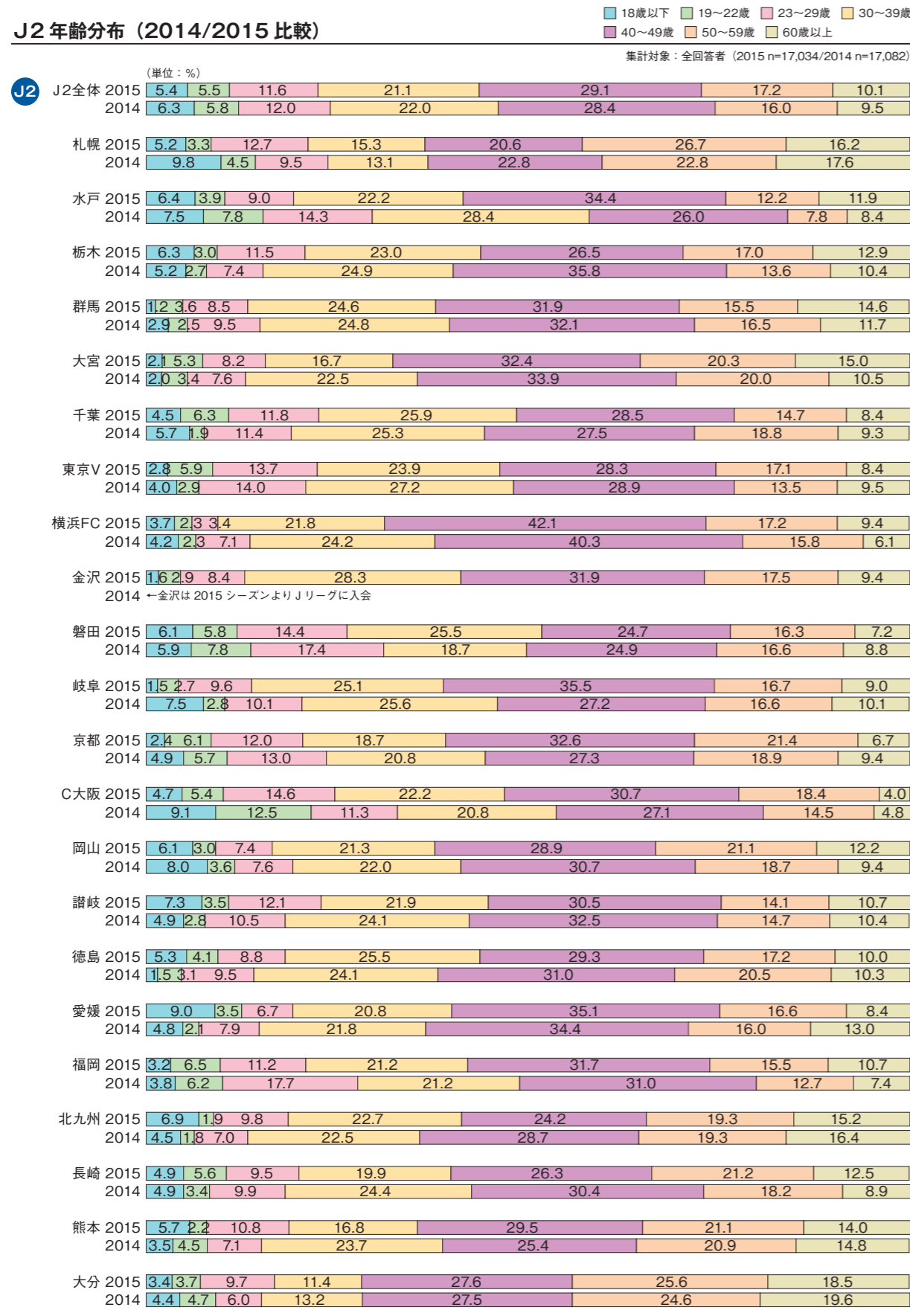
18歳以下 19~22歳 23~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上

集計対象：全回答者 (2015 n=17,034/2014 n=17,082)





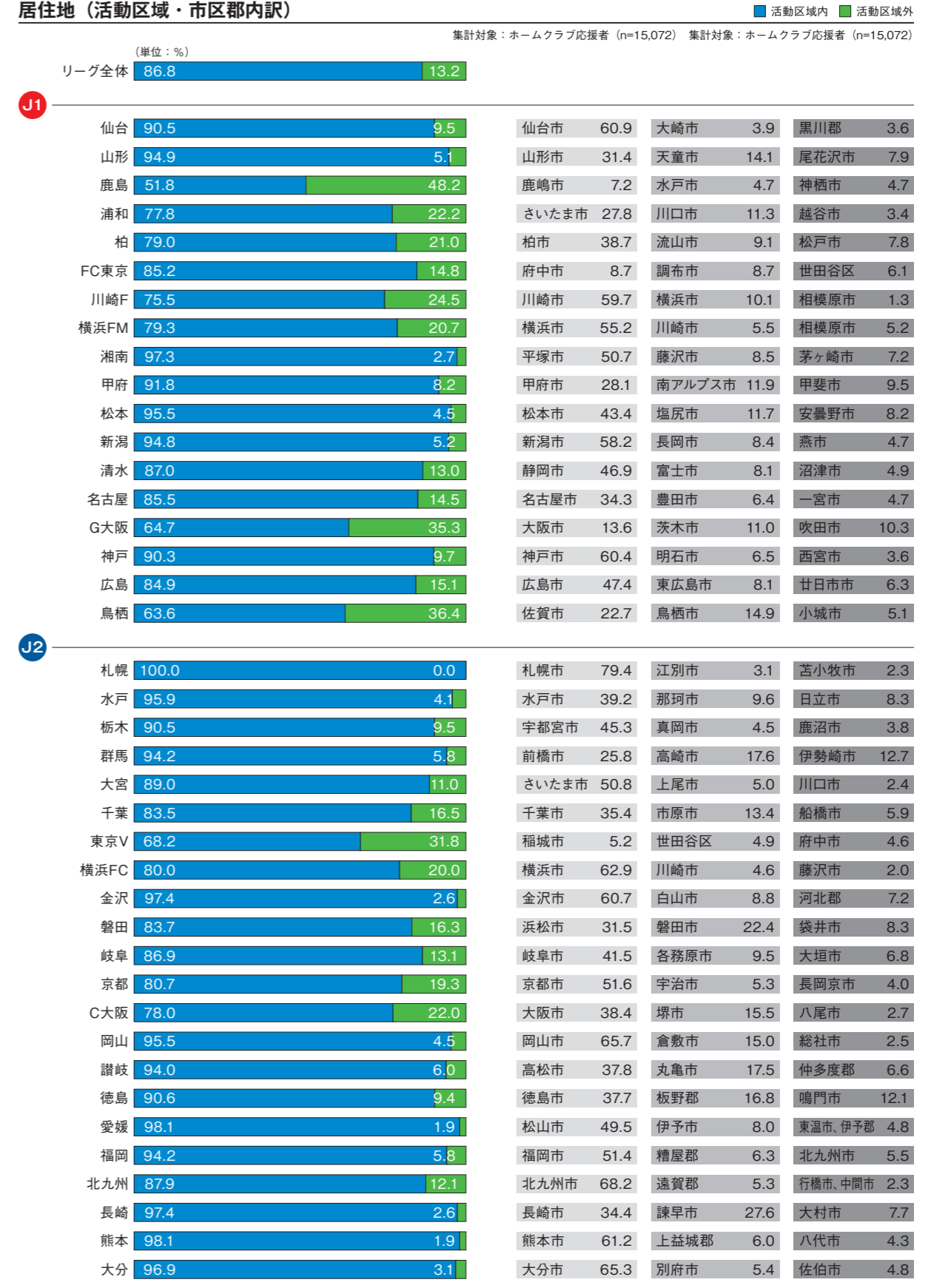
J2 年齢分布 (2014/2015 比較)



全体の86.8%がホームタウンのある都道府県に居住。

鹿島(51.8%)、鳥栖(63.6%)、G大阪(64.7%)、東京V(68.2%)などに、活動区域に居住する割合が低くなる傾向が、札幌(100.0%)、愛媛・熊本(98.1%)、金沢・長崎(97.4%)などに、活動区域に居住する割合が高くなる傾向がみられた。

居住地 (活動区域・市区郡内訳)



鳥栖の活動区域外からの観戦者が8.6%増加。

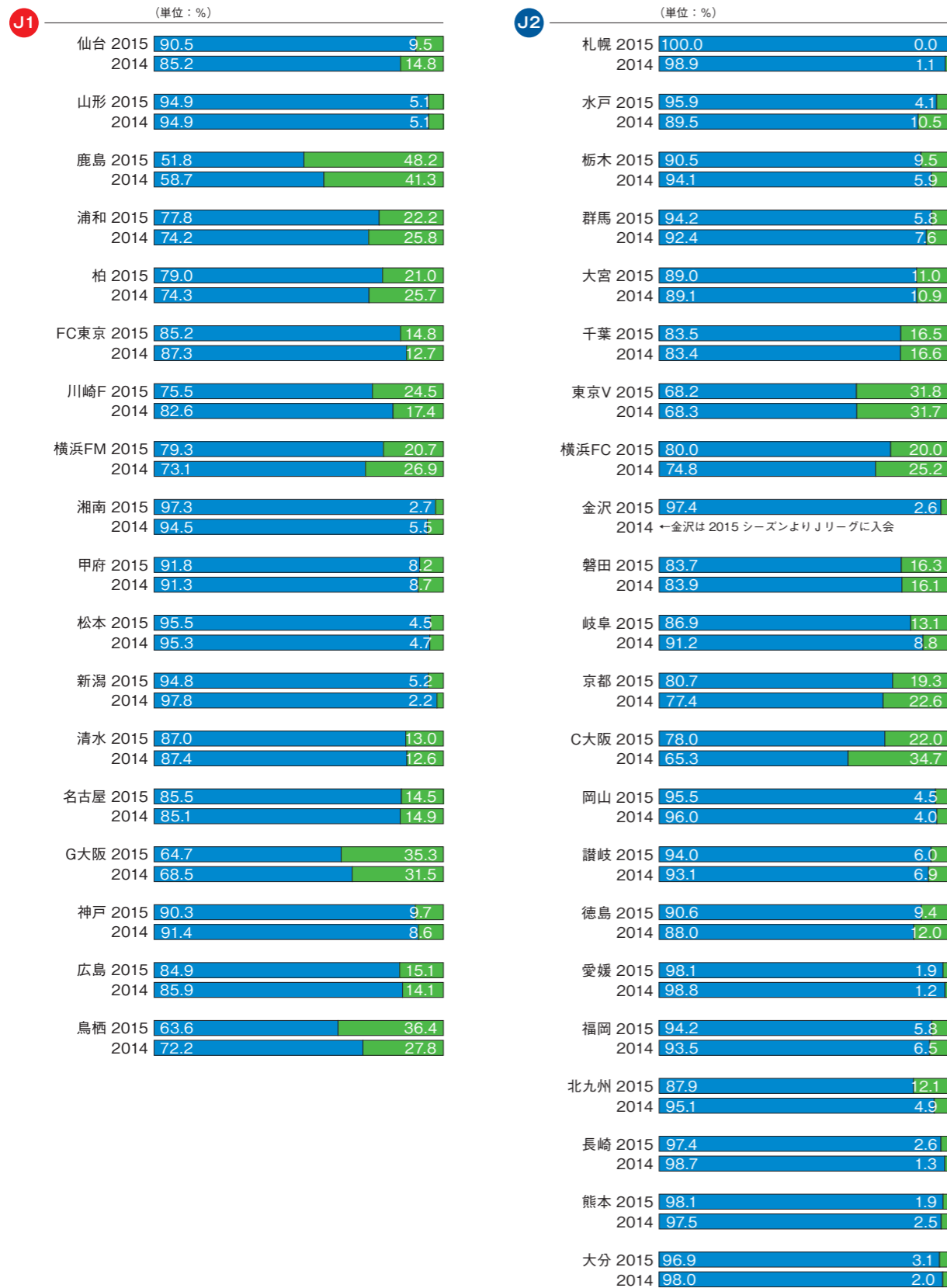
鹿島・川崎F・北九州・鳥栖は、活動区域外から、水戸・C大阪は活動区域内からの観戦者がそれぞれ増える結果となった。その他のクラブでは、2014シーズンと2015シーズンにおける大きな違いはみられない。

居住地（活動区域 2014/2015 比較）

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

集計対象：ホームクラブ応援者（2015 n=6,924/2014 n=6,906）

集計対象：ホームクラブ応援者（2015 n=8,105/2014 n=8,142）



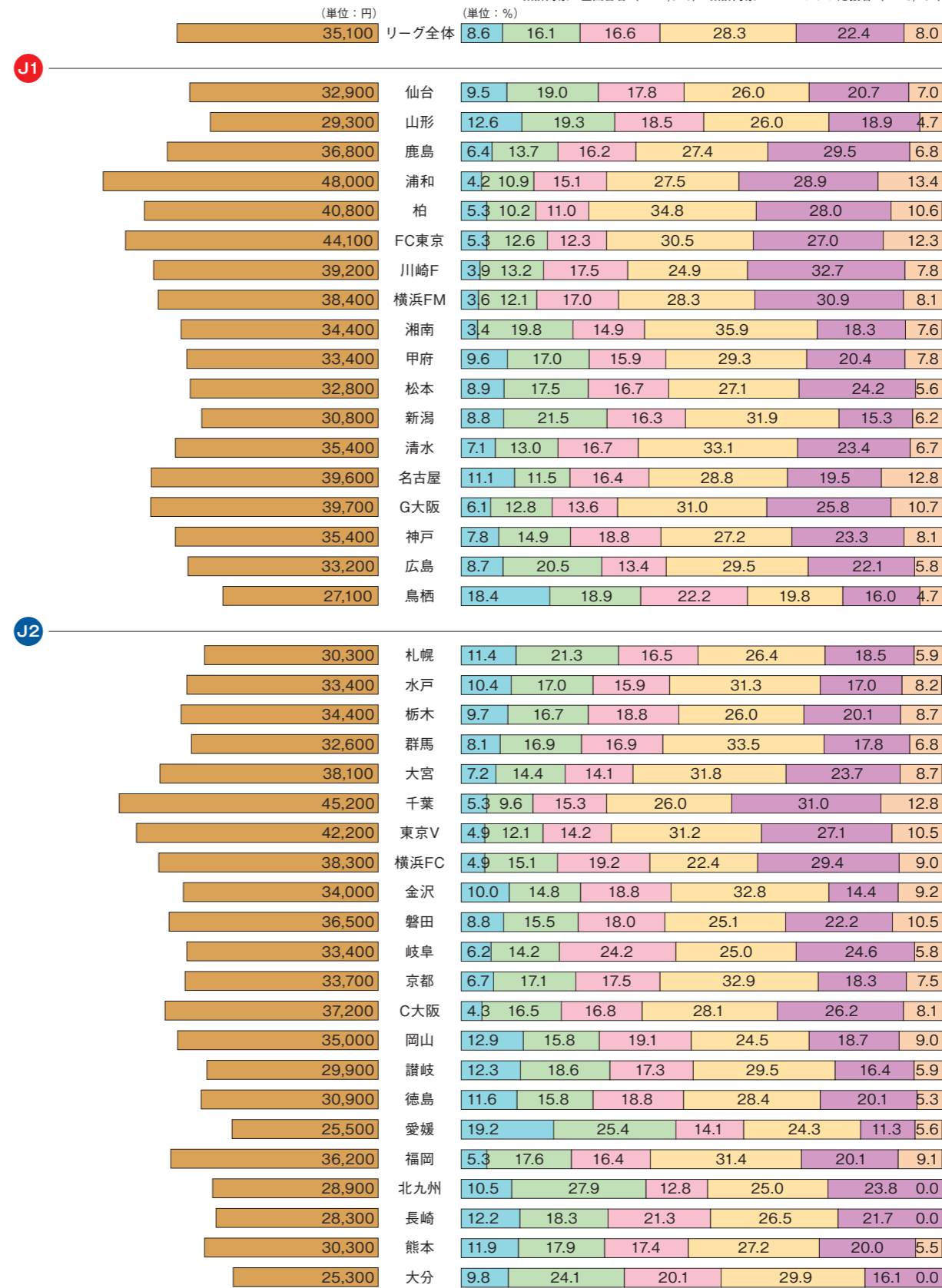
おこづかいは、微増の35,100円。

観戦者の自由裁量所得（レジャーや趣味等、自由に使える1ヵ月のおこづかい）は、リーグ平均で、35,100円/月となった。2014シーズンは33,600円、2013シーズン33,300円、2012シーズンは33,200円と、これまでよりやや高額であった。

自由裁量所得

■ 0~9,999円 ■ 10,000~19,999円 ■ 20,000~29,999円
■ 30,000~49,999円 ■ 50,000~99,999円 ■ 100,000円以上

集計対象：全回答者 (n=11,673) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=10,461)



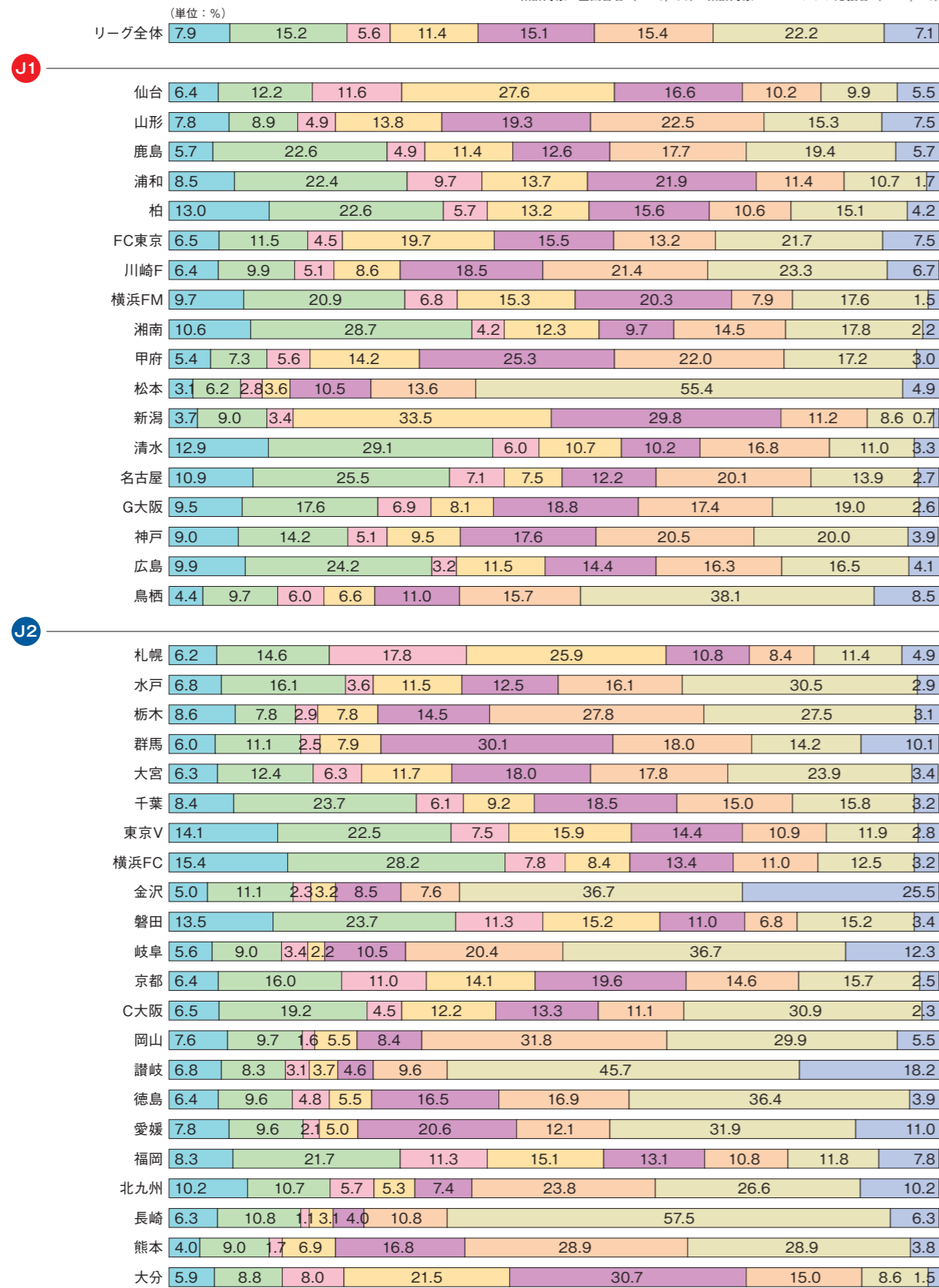
2015シーズン新規参入層は7.1%。

2015シーズンからJリーグ観戦を始めた新規参入層は7.1%で、2014シーズン8.0%、2013シーズン8.5%、2012シーズン8.1%と、これまでより割合は微減した。この新規参入層の多いクラブは、2015シーズンより入会した金沢(25.5%)であった。Jリーグ開幕以前より観戦をしていた観戦者は、全体の7.9%であり、東京V(14.1%)、横浜FC(15.4%)などは、その層が多くなっていた。また、Jリーグ開幕直後(1993~1995シーズン)に観戦を開始した観戦者は全体の15.2%であった。湘南(28.7%)、清水(29.1%)などの観戦者に、その時期に観戦を始めた人が多いことがみとれる。

観戦歴

1992年以前 1993~1995年頃 1996~1998年頃 1999~2002年頃
2003~2006年頃 2007~2010年頃 2011~2014年頃 今シーズンから(2015)

集計対象：全回答者 (n=16,286) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,449)



J1

J2



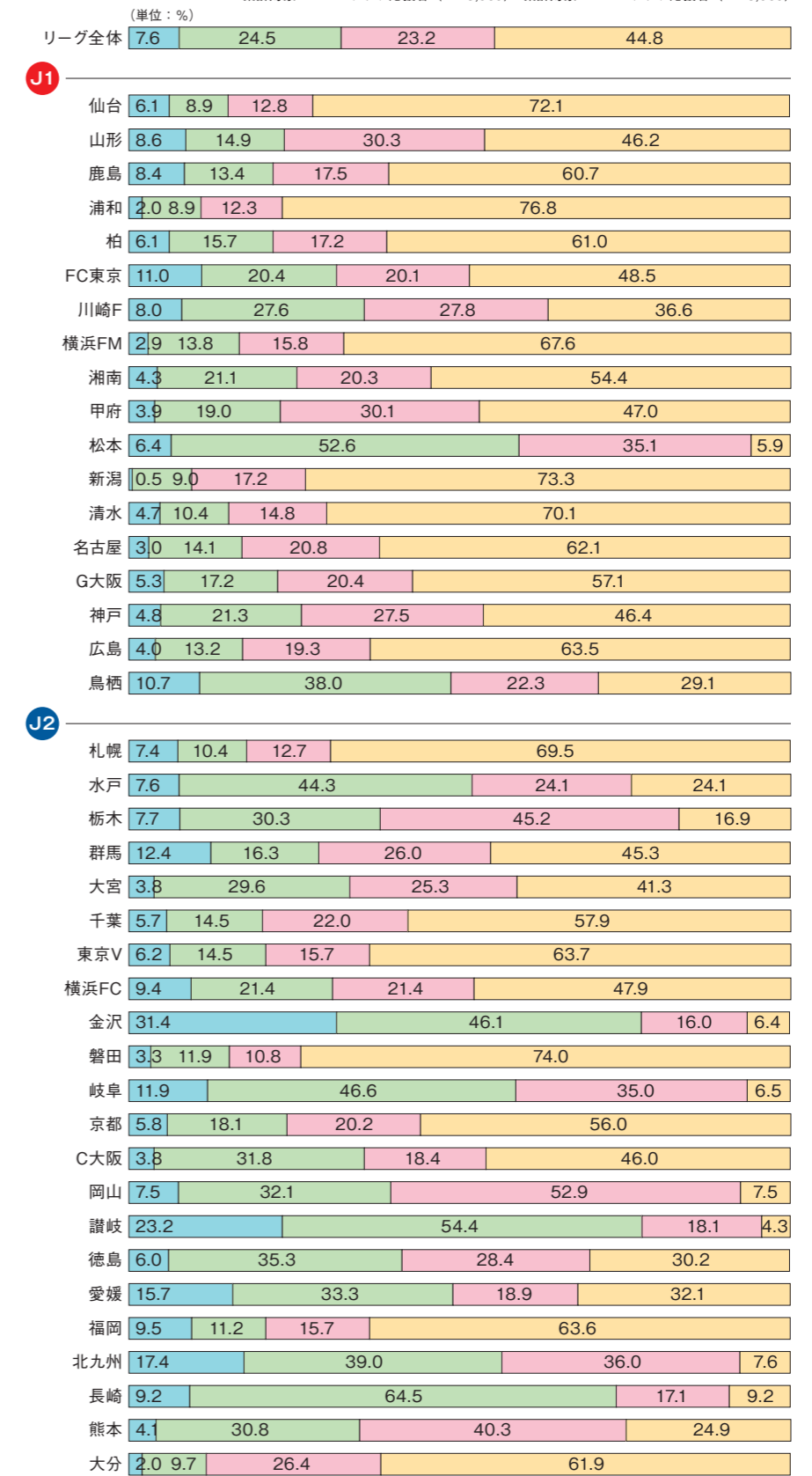
2015シーズンから新たにサポーターになった人は7.6%。

観戦者に、どのくらいの期間、特定のクラブを応援しているかについて尋ねたところ、10年以上とする割合が最も高く44.8%となっていた。10年以上の長いサポーター歴をもつ観戦者の割合が高いクラブには、浦和(76.8%)、磐田(74.0%)、新潟(73.3%)などがあげられた。今シーズンからサポートクラブを持つようになったとする観戦者は、全体の7.6%であった。そのような観戦者の割合が高いクラブは、金沢(31.4%)、讃岐(23.2%)などであった。

サポーター歴

1年目 2~4年目 5~9年目 10年目以上

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,069) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,069)



J1

J2

サッカー未経験者は、61.8%。

サッカー未経験者の多いクラブは、J1では新潟(75.4%)・山形(69.3%)、J2では金沢(72.4%)・長崎(70.3%)・大分(70.2%)である。

サッカーの経験

■ している ■ 過去にしていた ■ したことはない

集計対象：全回答者 (n=16,747) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,736)

リーグ全体	9.6	28.6	61.8
J1			
仙台	10.3	27.9	61.8
山形	6.6	24.1	69.3
鹿島	13.9	34.6	51.6
浦和	9.2	35.5	55.3
柏	11.6	34.4	54.0
FC東京	6.7	32.3	61.1
川崎F	9.7	33.4	56.9
横浜FM	11.6	30.9	57.5
湘南	10.8	28.7	60.5
甲府	9.1	24.9	66.0
松本	7.8	25.9	66.2
新潟	5.7	18.9	75.4
清水	10.7	31.6	57.6
名古屋	14.6	35.9	49.5
G大阪	11.7	30.0	58.2
神戸	11.0	31.0	58.0
広島	9.5	25.5	65.0
鳥栖	12.5	26.1	61.4
J2			
札幌	5.3	25.6	69.1
水戸	8.6	28.4	63.0
栃木	7.0	34.6	58.4
群馬	4.6	29.5	66.0
大宮	4.6	29.4	66.0
千葉	9.2	35.2	55.6
東京V	11.4	37.8	50.8
横浜FC	11.0	30.1	59.0
金沢	3.3	24.3	72.4
磐田	11.9	33.6	54.4
岐阜	7.1	31.3	61.6
京都	7.9	26.6	65.5
C大阪	9.5	23.3	67.2
岡山	8.7	23.7	67.6
讃岐	8.9	23.8	67.3
徳島	7.6	25.6	66.7
愛媛	8.1	26.3	65.7
福岡	11.1	29.0	59.9
北九州	13.3	26.2	60.5
長崎	7.2	22.5	70.3
熊本	5.7	25.9	68.4
大分	5.7	24.1	70.2



フットサル未経験者は、71.2%。

フットサル未経験の割合が多いクラブは、J1では新潟(83.5%)・広島(80.0%)、J2では熊本(86.2%)・長崎(84.9%)・大分(81.3%)である。

フットサルの経験

■ している ■ 過去にしていた ■ したことはない

集計対象：全回答者 (n=16,681) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,683)

リーグ全体	11.3	17.4	71.2
J1			
仙台	12.5	17.6	70.0
山形	7.8	18.2	73.9
鹿島	17.3	22.2	60.5
浦和	14.8	26.0	59.3
柏	17.4	20.0	62.6
FC東京	8.9	22.0	69.1
川崎F	17.3	21.6	61.1
横浜FM	15.3	21.4	63.3
湘南	14.1	18.5	67.4
甲府	7.8	15.6	76.6
松本	7.8	14.1	78.1
新潟	6.7	9.9	83.5
清水	12.4	19.1	68.5
名古屋	14.1	22.2	63.6
G大阪	15.2	15.7	69.1
神戸	11.1	17.5	71.4
広島	10.2	9.8	80.0
鳥栖	10.6	13.4	76.0
J2			
札幌	6.6	17.2	76.1
水戸	10.8	18.8	70.5
栃木	9.9	18.0	72.1
群馬	4.9	16.4	78.7
大宮	8.2	20.0	71.8
千葉	13.0	20.5	66.5
東京V	13.8	25.2	60.9
横浜FC	14.5	22.0	63.6
金沢	4.9	15.1	80.0
磐田	15.0	17.8	67.2
岐阜	7.1	13.7	79.2
京都	12.7	18.4	68.9
C大阪	13.4	14.7	71.9
岡山	7.8	14.0	78.3
讃岐	11.6	11.0	77.4
徳島	8.1	14.6	77.3
愛媛	8.1	13.1	78.8
福岡	11.9	19.2	68.9
北九州	10.6	15.0	74.4
長崎	4.3	10.8	84.9
熊本	4.6	9.2	86.2
大分	6.6	12.1	81.3

Fan Motivation

スタジアム観戦の動機



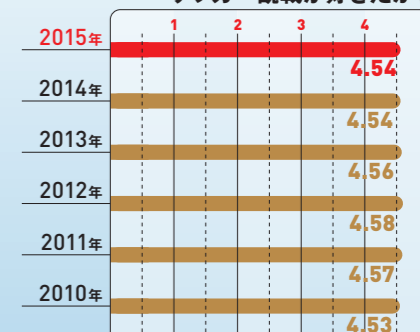
観戦の動機やきっかけ

集計対象: 全回答者

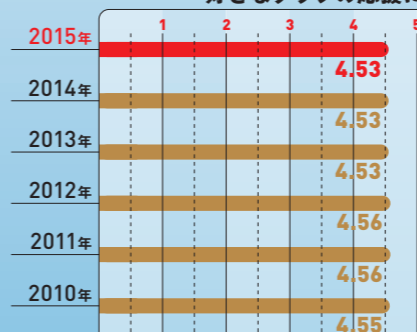
2015 n=15,931
2014 n=15,697
2013 n=15,697
2012 n=15,114
2011 n=15,002
2010 n=14,963

※平均値は、5段階評定尺度（あてはまる：5～あてはまらない：1）で求めたスコア

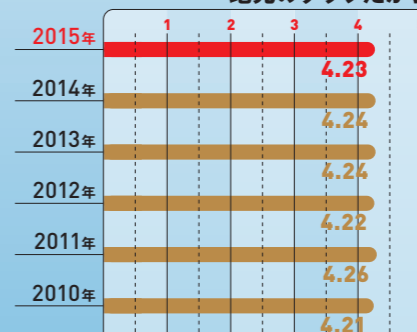
サッカー観戦が好きだから



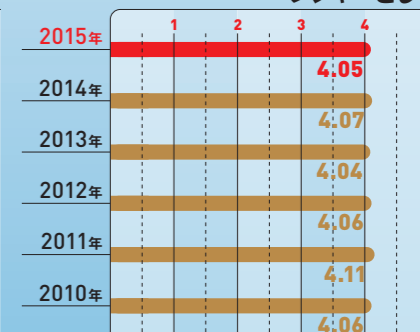
好きなクラブの応援に



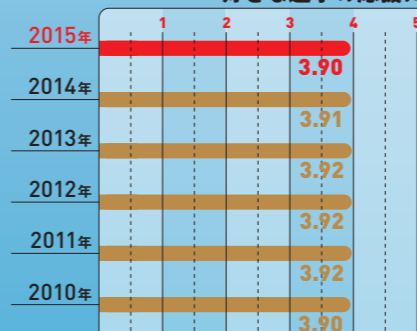
地元のクラブだから



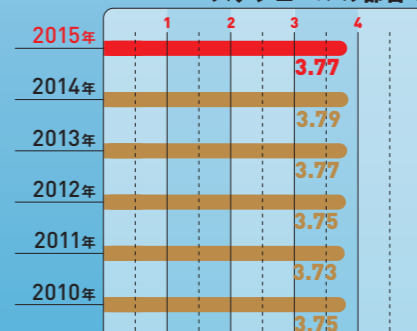
レジャーとして



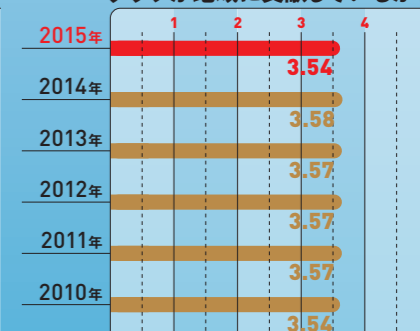
好きな選手の応援に



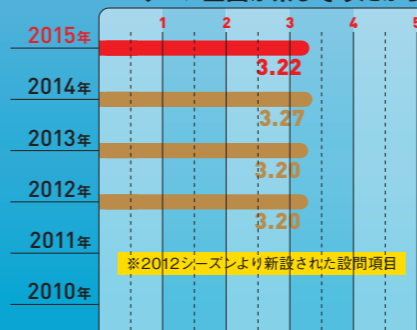
スケジュールの都合で



クラブが地域に貢献しているから

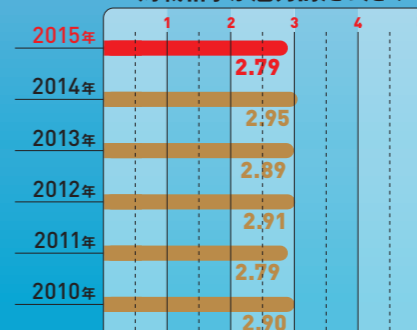


スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから

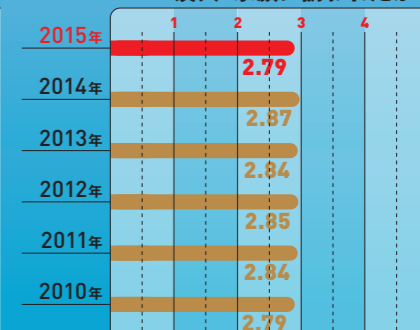


※2012シーズンより新設された設問項目

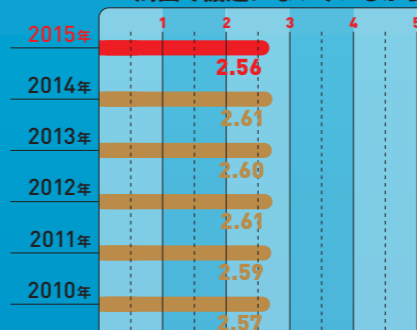
対戦相手が魅力的だったから



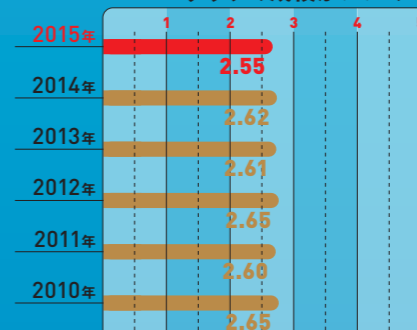
友人・家族に誘われたから



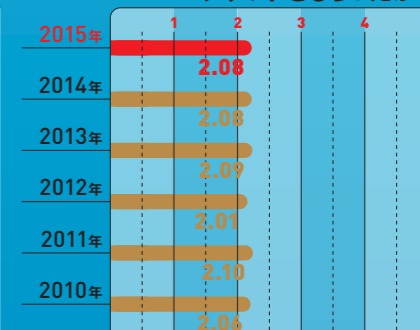
周囲で話題になっているから



クラブの成績がいいから

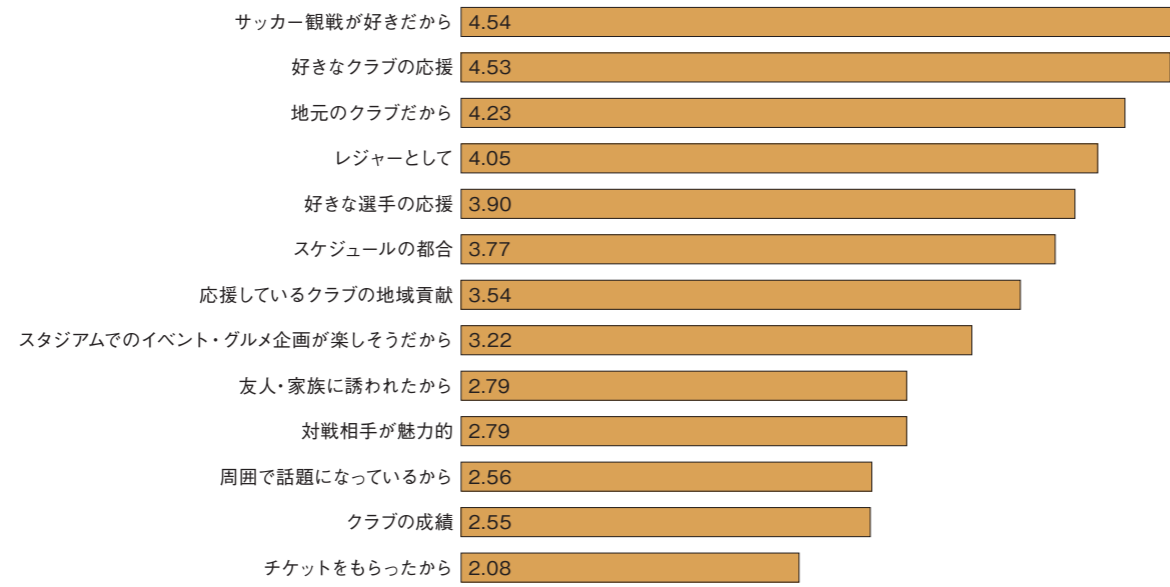


チケットをもらったから



観戦の動機やきっかけ

集計対象：全回答者 (n=15,931)



数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアの平均値

	サッカー観戦が好きだから		好きなクラブの応援		地元のクラブだから		レジャーとして		好きな選手の応援		スケジュールの都合	
1	G大阪	52.5	G大阪	53.0	札幌	53.5	松本	51.7	G大阪	53.8	岐阜	52.4
2	福岡	51.8	浦和	52.7	長崎	53.3	湘南	51.6	広島	53.6	山形	52.4
3	広島	51.7	柏	52.3	熊本	53.0	広島	51.6	鳥栖	52.7	讃岐	52.2
4	C大阪	51.7	FC東京	52.1	福岡	52.9	岡山	51.6	横浜FM	52.2	北九州	52.0
5	鹿島	51.5	広島	52.1	讃岐	52.6	長崎	51.5	福岡	52.1	広島	51.9
6	FC東京	51.5	湘南	51.5	山形	52.6	川崎F	51.3	鹿島	52.0	愛媛	51.9
7	神戸	51.5	大宮	51.5	新潟	52.5	福岡	51.3	川崎F	51.8	金沢	51.7
8	熊本	51.2	東京V	51.5	金沢	52.5	鳥栖	51.2	東京V	51.3	水戸	51.7
9	横浜FM	51.1	鹿島	51.2	岡山	52.5	山形	51.1	FC東京	51.1	松本	51.6
10	名古屋	51.1	横浜FM	51.2	仙台	52.3	神戸	51.1	松本	50.9	徳島	51.4
11	仙台	51.0	千葉	51.2	松本	52.3	大宮	51.1	長崎	50.8	長崎	51.3
12	柏	51.0	C大阪	51.2	大分	52.3	讃岐	51.1	湘南	50.7	名古屋	51.0
13	札幌	51.0	新潟	50.9	水戸	52.3	金沢	51.0	札幌	50.7	栃木	51.0
14	千葉	51.0	札幌	50.9	湘南	52.3	FC東京	50.9	大宮	50.7	清水	50.8
15	東京V	51.0	福岡	50.9	甲府	52.2	札幌	50.9	C大阪	50.7	甲府	50.7
16	山形	50.8	川崎F	50.8	栃木	52.1	G大阪	50.8	柏	50.5	岡山	50.7
17	湘南	50.7	磐田	50.8	愛媛	52.0	新潟	50.7	神戸	50.5	鹿島	50.6
18	浦和	50.6	長崎	50.5	徳島	51.9	仙台	50.6	浦和	50.3	神戸	50.6
19	磐田	50.6	大分	50.5	広島	51.9	甲府	50.5	磐田	50.0	G大阪	50.4
20	新潟	50.4	仙台	50.3	神戸	51.8	水戸	50.3	千葉	49.8	仙台	50.1
21	清水	50.3	松本	50.0	名古屋	51.3	C大阪	50.0	山形	49.6	鳥栖	50.1
22	大宮	50.3	岡山	50.0	北九州	51.3	柏	49.9	名古屋	49.6	横浜FM	49.9
23	甲府	50.1	清水	49.8	群馬	51.2	熊本	49.9	金沢	49.6	新潟	49.8
24	川崎F	50.0	神戸	49.7	岐阜	51.1	横浜FM	49.8	仙台	49.4	川崎F	49.7
25	松本	49.9	金沢	49.7	京都	50.7	名古屋	49.6	新潟	49.4	群馬	49.7
26	鳥栖	49.9	熊本	49.7	清水	50.4	鹿島	49.4	岡山	49.4	磐田	49.7
27	長崎	49.7	山形	49.5	鳥栖	49.7	愛媛	49.4	甲府	49.3	大分	49.6
28	岡山	49.6	甲府	49.5	大宮	49.0	千葉	49.3	北九州	49.1	札幌	49.1
29	京都	49.2	名古屋	49.5	柏	47.9	東京V	49.3	大分	48.7	福岡	49.1
30	大分	49.2	栃木	49.1	C大阪	47.8	岐阜	49.3	清水	48.6	大宮	49.1
31	栃木	48.9	鳥栖	48.9	千葉	47.7	栃木	49.3	水戸	48.5	湘南	48.9
32	水戸	48.8	京都	48.8	磐田	47.0	徳島	49.3	栃木	48.3	熊本	48.9
33	徳島	48.6	群馬	48.2	G大阪	46.7	北九州	49.2	讃岐	48.3	京都	48.8
34	金沢	47.8	徳島	48.2	FC東京	46.5	磐田	49.1	横浜FC	48.2	FC東京	48.8
35	群馬	47.5	横浜FC	47.4	川崎F	45.9	群馬	48.3	群馬	48.0	柏	48.3
36	横浜FC	47.4	讃岐	47.3	浦和	45.1	清水	48.0	徳島	47.9	C大阪	48.3
37	愛媛	47.2	水戸	47.1	横浜FM	44.7	大分	47.7	愛媛	47.9	千葉	48.0
38	北九州	47.2	岐阜	46.7	横浜FC	44.0	浦和	46.9	熊本	47.9	東京V	47.6
39	岐阜	46.7	北九州	45.8	鹿島	41.6	横浜FC	46.7	京都	47.6	横浜FC	46.8
40	讃岐	46.7	愛媛	45.2	東京V	40.4	京都	46.0	岐阜	46.4	浦和	46.2

数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したものである

2015シーズンも上位4項目は大きな変動なし。

観戦の動機やきっかけとしては、観戦者全体では、「サッカー観戦が好きだから」(4.54)、および、「好きなクラブの応援に」(4.53)が主なものとなっており、次いで「地元のクラブだから」(4.23)、「レジャーとして」(4.05)となっている。この上位4項目については、昨シーズンと同じ傾向であった。



	応援しているクラブの地域貢献		スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから		対戦相手が魅力的		友人・家族に誘われたから		クラブの成績		周囲で話題になっているから		チケットをもらったから	
1	松本	55.1	岡山	54.2	愛媛	57.9	讃岐	53.7	広島	59.6	松本	56.6	愛媛	54.9
2	甲府	54.2	水戸	53.6	松本	57.8	愛媛	53.0	大宮	55.7	甲府	54.2	水戸	54.3
3	湘南	53.9	湘南	53.1	讃岐	57.3	鳥栖	52.6	甲府	55.0	鳥栖	54.0	北九州	54.0
4	岡山	53.4	岐阜	53.0	名古屋	56.9	広島	52.5	G大阪	54.8	讃岐	53.7	讃岐	53.1
5	山形	53.3	大宮	52.7	北九州	55.4	甲府	52.0	長崎	54.7	山形	53.3	群馬	52.5
6	讃岐	53.2	讃岐	52.6	水戸	54.6	岡山	51.9	湘南	53.5	金沢	53.0	神戸	52.5
7	広島	53.1	熊本	52.4	仙台	54.0	長崎	51.6	福岡	53.4	広島	52.5	甲府	52.1
8	札幌	52.8	鹿島	52.3	磐田	53.9	松本	51.4	FC東京	53.4	長崎	52.5	広島	51.9
9	福岡	52.8	広島	52.1	鳥栖	53.2	水戸	51.3	磐田	53.3	岡山	52.3	金沢	51.8
10	新潟	52.6	長崎	52.0	山形	53.0	神戸	50.9	柏	53.1	愛媛	52.1	鳥栖	51.5
11	川崎F	52.1	山形	51.9	G大阪	52.6	金沢	50.9	金沢	53.0	磐田	51.0	新潟	51.2
12	鳥栖	52.1	川崎F	51.9	大宮	52.0	岐阜	50.7	札幌	52.6	湘南	50.8	福岡	50.8
13	水戸	52.0	愛媛	51.9	甲府	51.6	山形	50.6	讃岐	52.1	水戸	50.7	長崎	50.8
14	仙台	51.9	鳥栖	51.7	神戸	51.2	北九州	50.5	愛媛	52.1	新潟	50.3	京都	50.7
15	金沢	51.5	松本	51.6	鹿島	51.1	名古屋	50.4	東京V	51.9	大宮	50.3	川崎F	50.5
16	長崎	51.5	金沢	51.4	広島	50.4	札幌	50.1	鳥栖	51.8	岐阜	50.3	清水	50.1
17	愛媛	51.4	福岡	50.9	湘南	50.4	磐田	50.1	浦和	51.6	仙台	50.2	磐田	50.0
18	大分	50.8	G大阪	50.7	徳島	50.4	大宮	50.0	川崎F	50.9	清水	50.2	山形	49.9
19	熊本	50.6	群馬	50.2	福岡	49.8	清水	49.9	横浜FM	50.5	柏	49.8	名古屋	49.9
20	大宮	50.5	甲府	50.1	岡山	49.4	栃木	49.9	岡山	50.4	鹿島	49.6	横浜FM	49.9
21	北九州	50.1	北九州	49.7	川崎F	49.2	徳島	49.9	北九州	50.0	G大阪	49.6	栃木	49.7
22	神戸	50.0	千葉	49.6	長崎	48.9	C大阪	49.8	名古屋	49.5	横浜FM	49.5	鹿島	49.6
23	G大阪	49.2	新潟	49.1	大分	48.7	仙台	49.7	徳島	49.3	札幌	49.3	大分	49.5
24	柏	49.1	神戸	49.1	横浜FC	48.4	鹿島	49.6	松本	49.2	北九州	49.3	岐阜	49.4
25	徳島	49.1	栃木	49.1	群馬	48.4	湘南	49.5	山形	49.2	名古屋	49.2	松本	49.3
26	岐阜	49.0	大分	49.0	新潟	48.3	G大阪	49.5	C大阪	49.0	徳島	49.1	湘南	49.2
27	栃木	48.9	横浜FM	48.8	金沢	48.0	横浜FM	49.4	千葉	48.6	福岡	49.0	C大阪	49.2
28	磐田	48.4	徳島	48.8	横浜FM	47.6	新潟	49.4	神戸	47.6	大分	49.0	仙台	49.0
29	群馬	47.9	FC東京	48.5	京都	47.5	大分	49.4	鹿島	47.3	FC東京	48.9	徳島	49.0
30	FC東京	47.4	清水	48.5	FC東京	47.5	川崎F	49.3	群馬	47.1	熊本	48.8	FC東京	48.9
31	清水	47.3	磐田	48.3	東京V	47.5	群馬	49.2	仙台	46.9	川崎F	48.6	熊本	48.7
32	名古屋	46.8	仙台	48.3	清水	47.0	FC東京	49.0	水戸	46.6	栃木	48.6	札幌	48.4
33	千葉	46.8	東京V	47.8	熊本	46.9	柏	48.9	栃木	46.6	浦和	48.1	千葉	48.4
34	C大阪	46.5	札幌	47.7	柏	46.5	福岡	48.8	大分	45.2	群馬	47.9	東京V	48.3
35	横浜FM	46.4	名古屋	47.6	栃木	46.4	千葉	48.3	新潟	44.8	神戸	47.6	大宮	48.2
36	東京V	46.3	C大阪	47.5	C大阪	45.9	熊本	48.3	熊本	44.1	千葉	47.3	横浜FC	48.2
37	浦和	46.1	横浜FC	47.1	浦和	45.5	京都	48.2	横浜FC	43.4	C大阪	47.3	G大阪	48.1
38	鹿島	45.8	京都	46.9	岐阜	45.4	浦和	47.9	岐阜	42.4	東京V	46.7	柏	47.9
39	横浜FC	45.5	柏	46.8	札幌	45.3	横浜FC	47.5	京都	42.3	京都	45.5	岡山	47.9
40	京都	45.3	浦和	44.5	千葉	45.3	東京V	46.5	清水	42.0	横浜FC	45.0	浦和	45.6

数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したものである



観戦の動機やきっかけ(2014/2015比較・クラブ別)

	好きなクラブの応援に		好きな選手の応援に		サッカー観戦が好きだから		クラブが地域貢献しているから	
	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014
1	G大阪	浦和	G大阪	G大阪	G大阪	G大阪	松本	松本
2	浦和	大分	広島	横浜FM	福岡	広島	甲府	甲府
3	柏	川崎F	鳥栖	C大阪	広島	磐田	湘南	岡山
4	FC東京	大宮	横浜FM	川崎F	C大阪	FC東京	岡山	広島
5	広島	柏	福岡	鳥栖	鹿島	浦和	山形	大分
6	湘南	広島	鹿島	鹿島	FC東京	福岡	讃岐	川崎F
7	大宮	G大阪	川崎F	広島	神戸	横浜FM	広島	仙台
8	東京V	松本	東京V	磐田	熊本	鹿島	札幌	熊本
9	鹿島	湘南	FC東京	FC東京	横浜FM	柏	福岡	山形
10	横浜FM	磐田	松本	札幌	名古屋	C大阪	新潟	新潟
11	千葉	岡山	長崎	浦和	仙台	湘南	川崎F	長崎
12	C大阪	鹿島	湘南	松本	柏	大分	鳥栖	湘南
13	新潟	熊本	札幌	福岡	札幌	清水	水戸	鳥栖
14	札幌	FC東京	大宮	仙台	千葉	新潟	仙台	岐阜
15	福岡	清水	C大阪	岡山	東京V	千葉	金沢	北九州
16	川崎F	鳥栖	柏	山形	山形	甲府	長崎	札幌
17	磐田	横浜FM	神戸	柏	湘南	岡山	愛媛	徳島
18	長崎	福岡	浦和	熊本	浦和	川崎F	大分	愛媛
19	大分	新潟	磐田	新潟	磐田	熊本	熊本	大宮
20	仙台	甲府	千葉	大分	新潟	神戸	大宮	水戸
21	松本	札幌	山形	湘南	清水	札幌	北九州	讃岐
22	岡山	C大阪	名古屋	清水	大宮	鳥栖	神戸	G大阪
23	清水	千葉	金沢	大宮	甲府	栃木	G大阪	神戸
24	神戸	仙台	仙台	長崎	川崎F	大宮	柏	福岡
25	金沢	栃木	新潟	横浜FC	松本	松本	徳島	栃木
26	熊本	神戸	岡山	徳島	鳥栖	仙台	岐阜	清水
27	山形	山形	甲府	神戸	長崎	山形	栃木	磐田
28	甲府	徳島	北九州	栃木	岡山	愛媛	磐田	鹿島
29	名古屋	長崎	大分	水戸	京都	京都	群馬	柏
30	栃木	水戸	清水	甲府	大分	水戸	FC東京	富山
31	鳥栖	愛媛	水戸	京都	栃木	横浜FC	清水	FC東京
32	京都	群馬	栃木	愛媛	水戸	名古屋	名古屋	京都
33	群馬	富山	讃岐	千葉	徳島	東京V	千葉	横浜FM
34	徳島	京都	横浜FC	富山	金沢	徳島	C大阪	C大阪
35	横浜FC	東京V	群馬	岐阜	群馬	富山	横浜FM	群馬
36	讃岐	讃岐	徳島	北九州	横浜FC	群馬	東京V	千葉
37	水戸	北九州	愛媛	群馬	愛媛	長崎	浦和	浦和
38	岐阜	岐阜	熊本	名古屋	北九州	讃岐	鹿島	名古屋
39	北九州	名古屋	京都	讃岐	岐阜	北九州	横浜FC	横浜FC
40	愛媛	横浜FC	岐阜	東京V	讃岐	岐阜	京都	東京V

	周囲で話題になっているから		レジャーとして		友人・家族に誘われたから		チケットをもらったから	
	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014
1	松本	鳥栖	松本	川崎F	讃岐	松本	愛媛	北九州
2	甲府	鳥栖	湘南	松本	愛媛	鳥栖	水戸	新潟
3	鳥栖	岐阜	広島	広島	鳥栖	長崎	北九州	愛媛
4	讃岐	長崎	岡山	熊本	広島	鹿島	讃岐	岐阜
5	山形	山形	長崎	鳥栖	甲府	岐阜	群馬	神戸
6	金沢	岡山	川崎F	岡山	岡山	山形	神戸	名古屋
7	広島	讃岐	福岡	山形	長崎	愛媛	甲府	水戸
8	長崎	新潟	福岡	新潟	水戸	北九州	広島	山形
9	岡山	湘南	山形	湘南	水戸	讃岐	金沢	長崎
10	愛媛	仙台	神戸	G大阪	神戸	広島	鳥栖	仙台
11	磐田	甲府	大宮	横浜FM	金沢	岡山	新潟	栃木
12	湘南	大分	讃岐	神戸	岐阜	甲府	福岡	川崎F
13	水戸	北九州	金沢	鹿島	山形	水戸	長崎	広島
14	新潟	G大阪	FC東京	水戸	北九州	清水	京都	清水
15	大宮	川崎F	札幌	大分	名古屋	磐田	川崎F	讃岐
16	岐阜	広島	G大阪	磐田	札幌	仙台	清水	鳥栖
17	仙台	鹿島	新潟	讃岐	磐田	C大阪	磐田	鹿島
18	清水	徳島	仙台	福岡	大宮	徳島	山形	福岡
19	柏	磐田	甲府	C大阪	清水	神戸	名古屋	京都
20	鹿島	熊本	水戸	仙台	栃木	川崎F	横浜FM	磐田
21	G大阪	札幌	C大阪	徳島	徳島	新潟	栃木	横浜FM
22	横浜FM	水戸	柏	大宮	C大阪	G大阪	鹿島	富山
23	札幌	栃木	熊本	柏	仙台	大分	大分	松本
24	北九州	愛媛	横浜FM	長崎	鹿島	名古屋	岐阜	甲府
25	名古屋	清水	名古屋	FC東京	湘南	栃木	松本	G大阪
26	徳島	浦和	鹿島	甲府	G大阪	京都	湘南	千葉
27	福岡	C大阪	愛媛	北九州	横浜FM	札幌	C大阪	大分
28	大分	横浜FM	千葉	札幌	新潟	湘南	仙台	徳島
29	FC東京	柏	東京V	栃木	大分	熊本	徳島	東京V
30	熊本	大宮	岐阜	清水	川崎F	浦和	FC東京	岡山
31	川崎F	神戸	栃木	岐阜	群馬	熊本	徳島	群馬
32	栃木	京都	徳島	千葉	FC東京	札幌	札幌	湘南
33	浦和	FC東京	北九州	愛媛	柏	柏	千葉	札幌
34	群馬	名古屋	磐田	京都	福岡	富山	東京V	柏
35	神戸	富山	群馬	名古屋	千葉	千葉	大宮	C大阪
36	千葉	千葉	清水	横浜FC	熊本	群馬	横浜FC	大宮
37	C大阪	群馬	大分	群馬	京都	FC東京	G大阪	熊本
38	東京V	福岡	浦和	東京V	浦和	大宮	柏	FC東京
39	京都	横浜FC	横浜FC	富山	横浜FC	東京V	岡山	横浜FC
40	横浜FC	東京V	京都	浦和	東京V	横浜FC	浦和	浦和

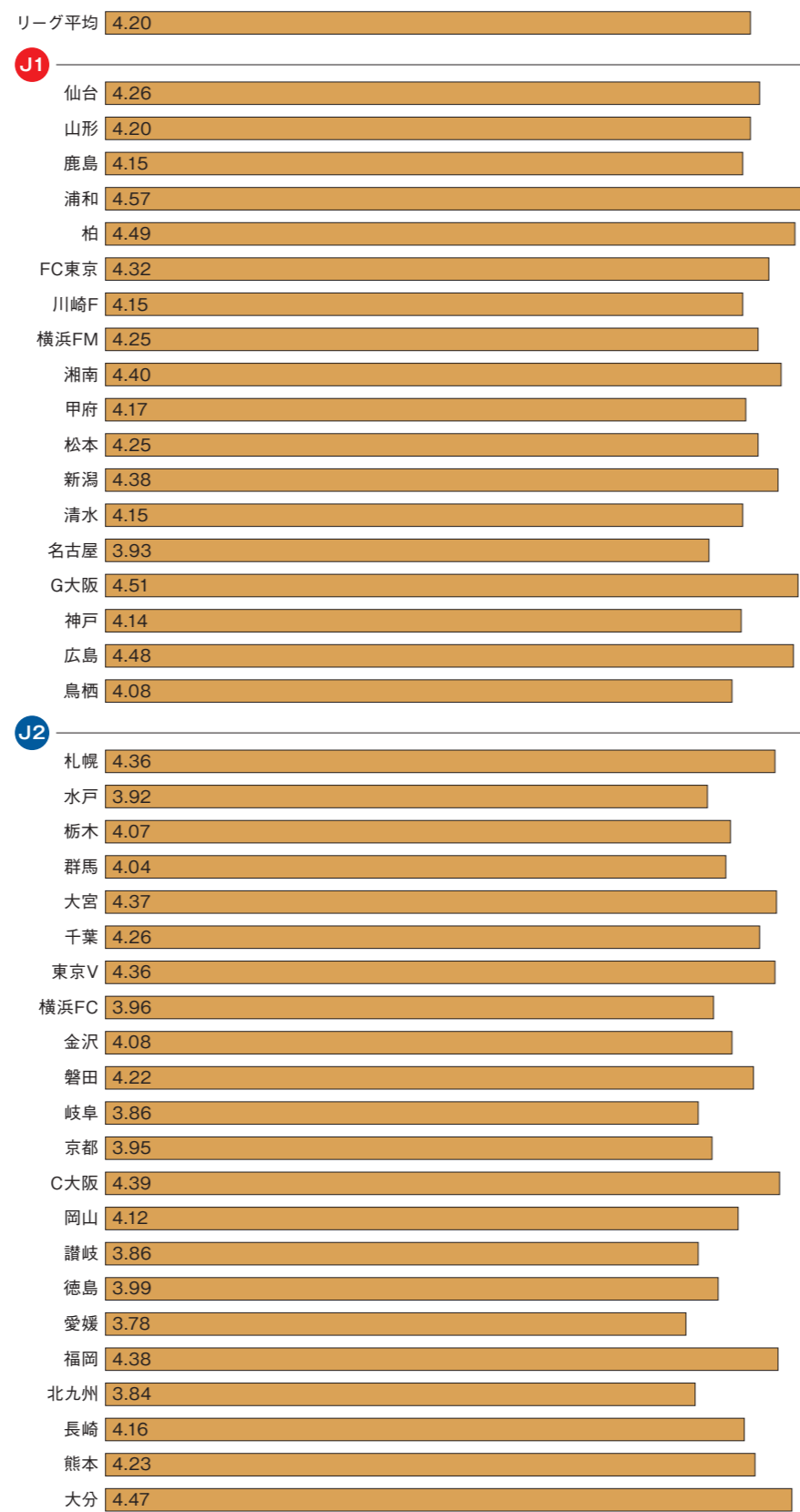
数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したものである。

浦和(4.57)・G大阪(4.51)・柏(4.49)・広島(4.48)が特に高い傾向。

観戦者のチームアイデンティフィケーションはとても強く、平均で4.20(5点満点)と高い結果となった。J1では、浦和(4.57)・G大阪(4.51)・柏(4.49)・広島(4.48)に高い傾向、名古屋(3.93)に低い傾向がみられた。J2では、大分(4.47)・C大阪(4.39)に高い傾向、愛媛(3.78)・北九州(3.84)に低い傾向がみられた。

チームアイデンティフィケーション

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,420)

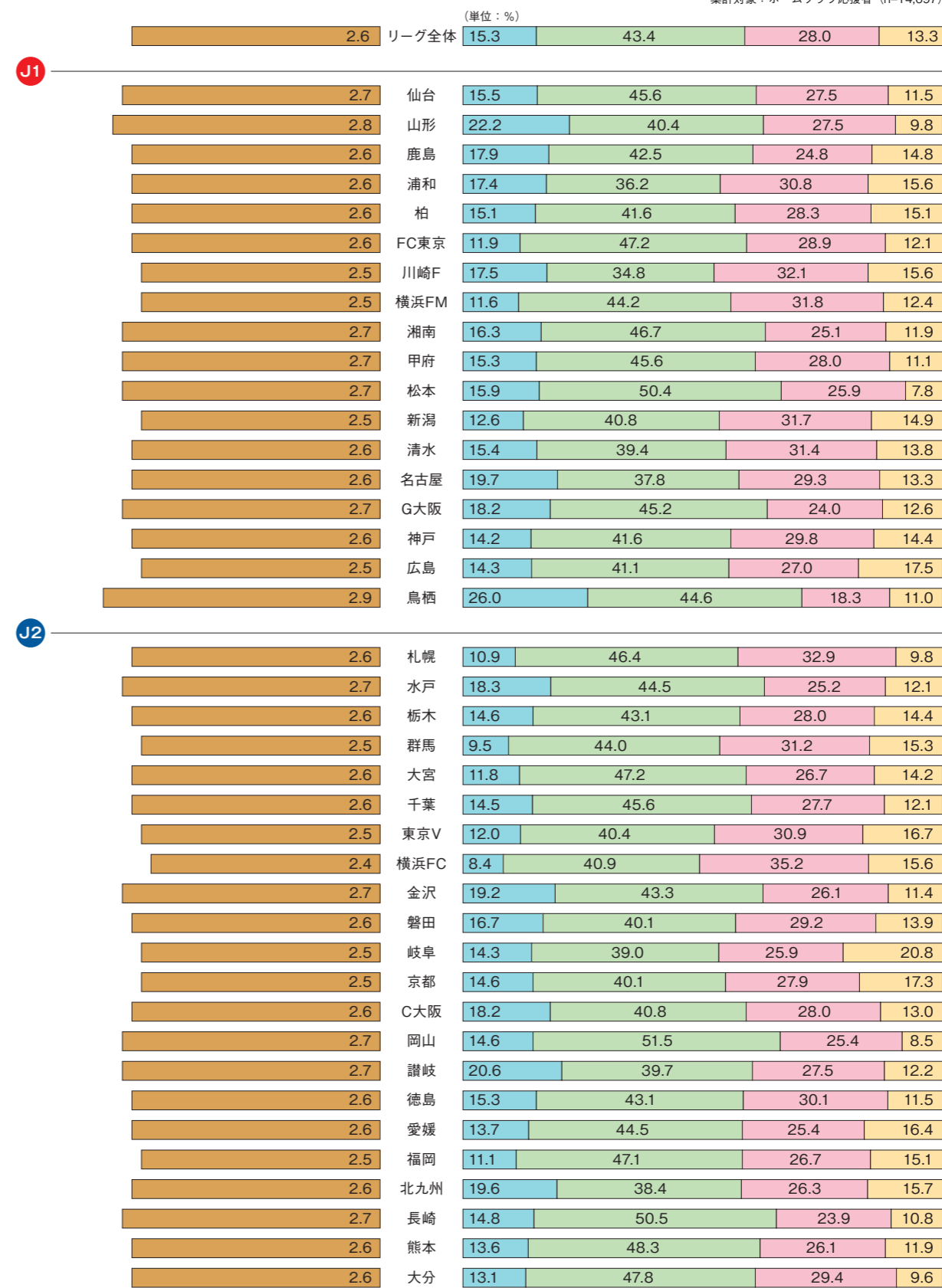


58.7%(よく誘う+時々誘う)の人がJリーグ観戦に誘っている。

周囲の人をJリーグ観戦に誘うか、という「勧誘行動」については、「よく誘う」(15.3%)と「時々誘う」(43.4%)を合わせ、58.7%の観戦者が勧誘行動をしていた。特に鳥栖(2.9)、山形(2.8)の観戦者に、勧誘行動が活発である傾向がみられた。

スタジアム観戦についての勧誘行動

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,697)



*平均値は、四段階評定尺度(よく誘う：4～まったく誘わない：1)で求めたスコアである

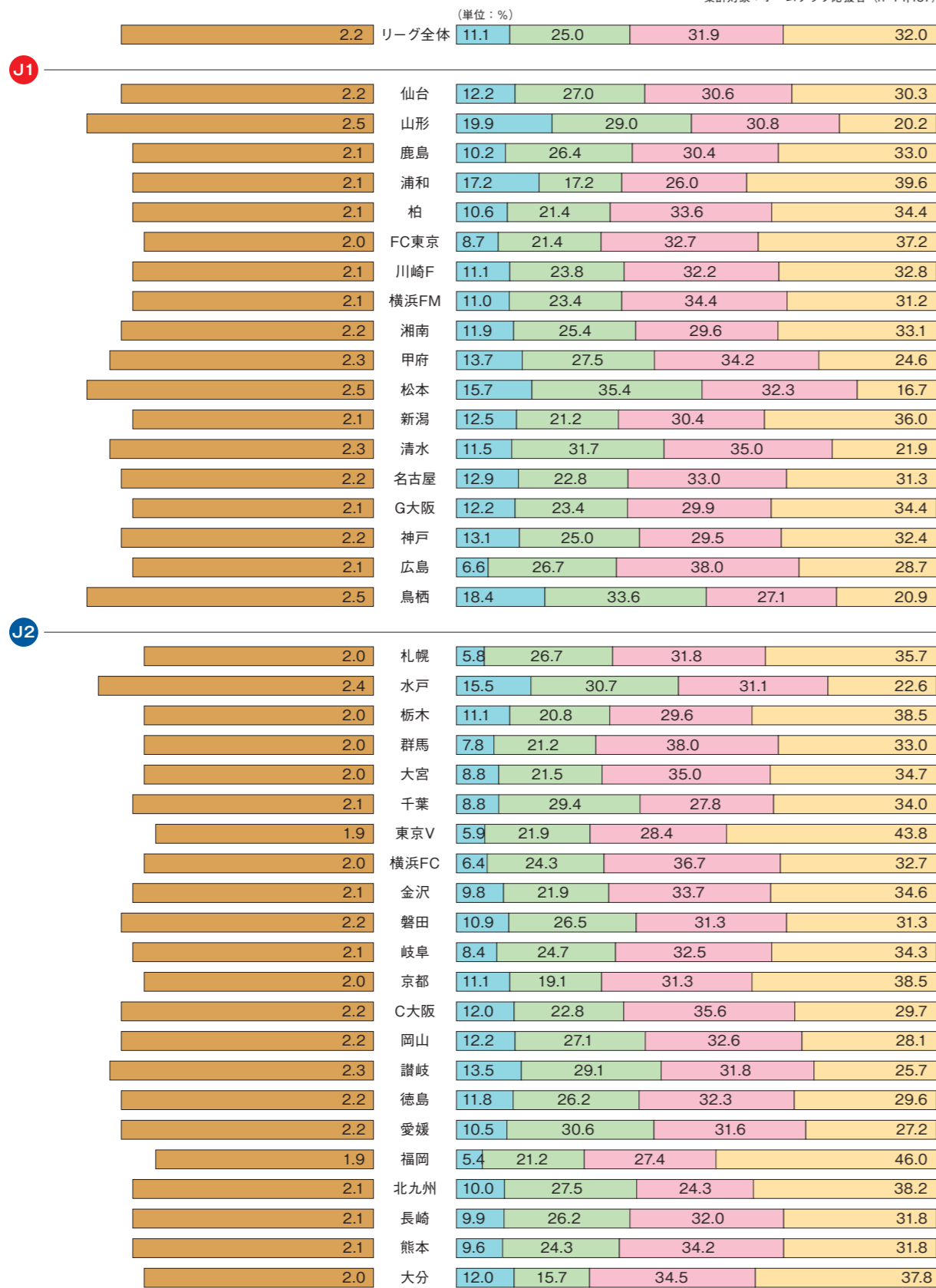
36.1% (よく誘われる+時々誘われる)の人が Jリーグ観戦に誘われている。

周囲の人からJリーグ観戦に誘われますか、という「被勧誘行動」については、「よく誘われる」(11.1%)と「時々誘われる」(25.0%)を合わせ、36.1%の観戦者が周囲の人から勧誘されていた。なかでは、山形・鳥栖・松本(いずれも2.5)で、勧誘されるとするスコアが高くなっていた。一方、東京V・福岡(いずれも1.9)では、そのスコアが低くなっていた。

スタジアム観戦についての被勧誘行動

よく誘われる 時々誘われる あまり誘われない まったく誘われない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,437)

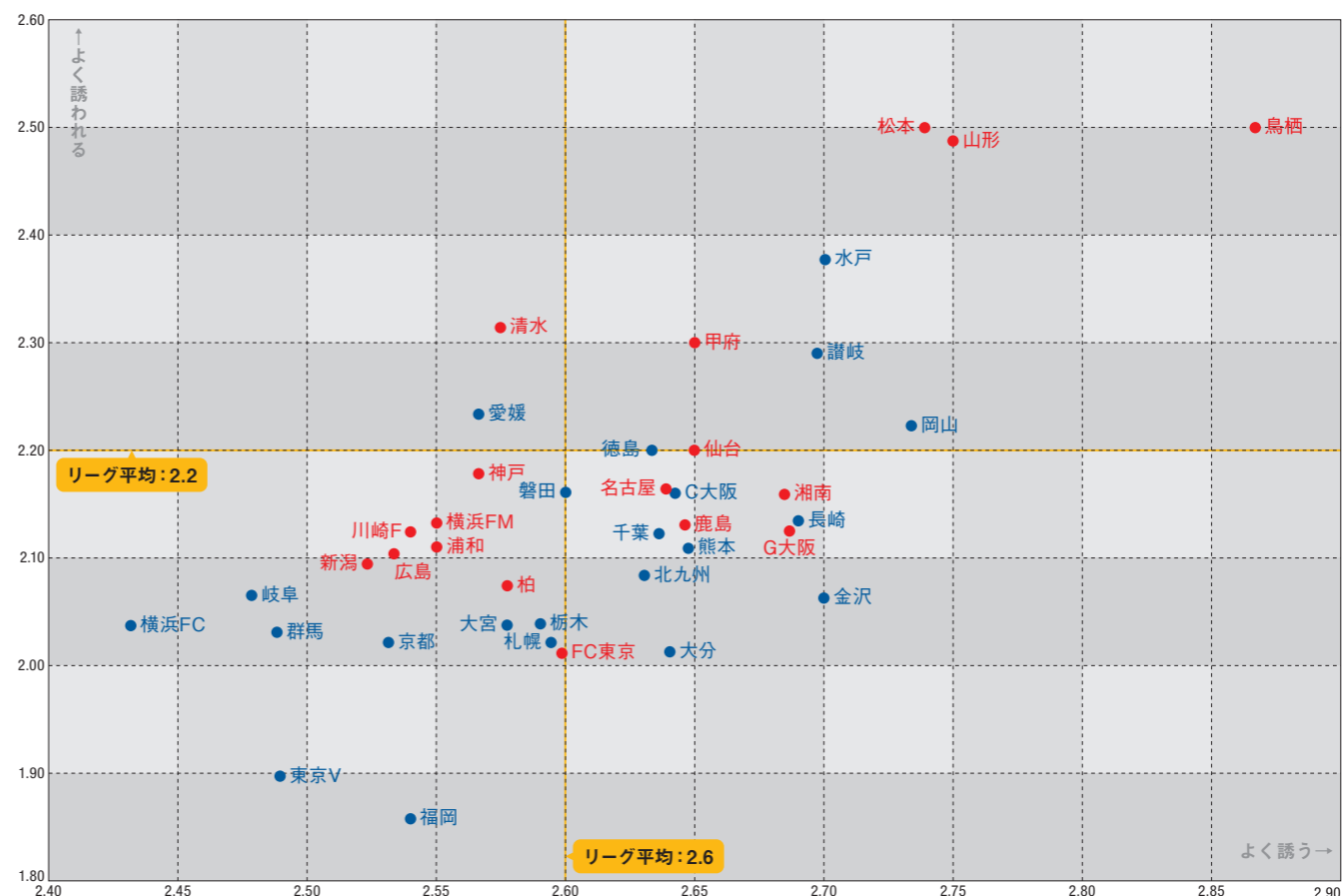


*平均値は、四段階評定尺度(よく誘われる：4～まったく誘われない：1)で求めたスコアである

よく誘い合うのは鳥栖、次いで松本・山形。

勧誘行動(P33)と被勧誘行動(P34)の関係から各クラブをプロットした結果、鳥栖・松本・山形は観戦者によく誘い合っていることがみとれる。

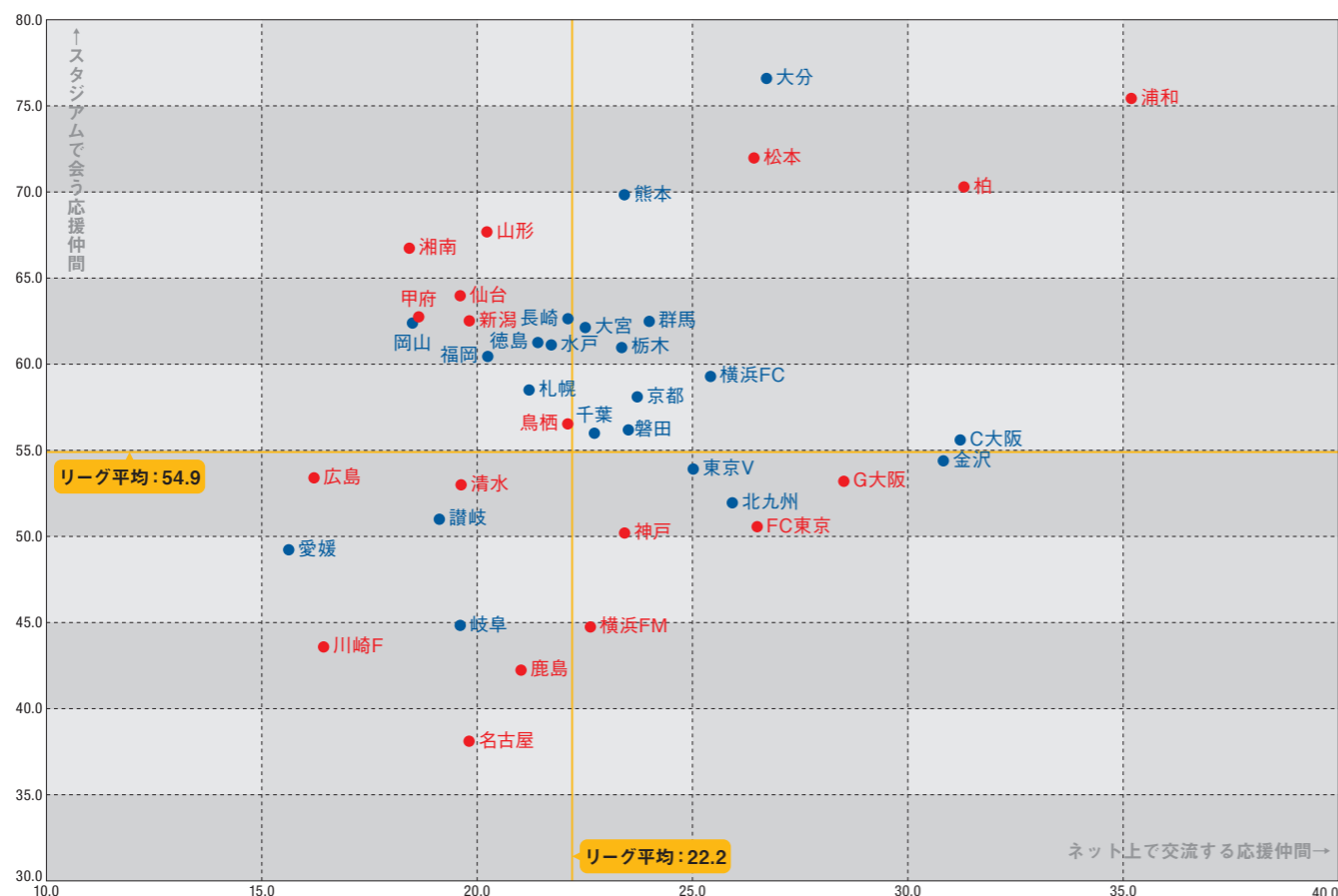
スタジアム観戦についての勧誘行動・被勧誘行動プロット



54.9%に「スタジアムで会う応援仲間」がいる。 22.2%に「ネット上で交流する応援仲間」がいる。

「スタジアムで会う応援仲間」がいるとする割合は54.9%であった。大分(77.8%)・浦和(75.4%)・松本(73.0%)でその割合に高い傾向、名古屋(38.3%)・鹿島(42.5%)で低い傾向がみられた。ソーシャルメディアなどの「ネット上で交流する応援仲間」がいるとする割合は22.2%であった。浦和(35.3%)・柏(31.8%)・C大阪(31.7%)でその割合に高い傾向がみられた。

ファンコミュニティ



Fan Behavior

観戦行動の特徴



J1・J2観戦頻度

※各調査年における前シーズンの観戦実績についての設問

J1は変わらず、J2は増加傾向。

J1の観戦頻度は2014シーズンと変わらず、低下傾向であったJ2の観戦頻度は増加した。
J2の試合数の変化は以下の通り。

J2 試合数	2014:42 試合	2013:42 試合	2012:42 試合	2011:38 試合	2010:36 試合	2009:51 試合
--------	------------	------------	------------	------------	------------	------------



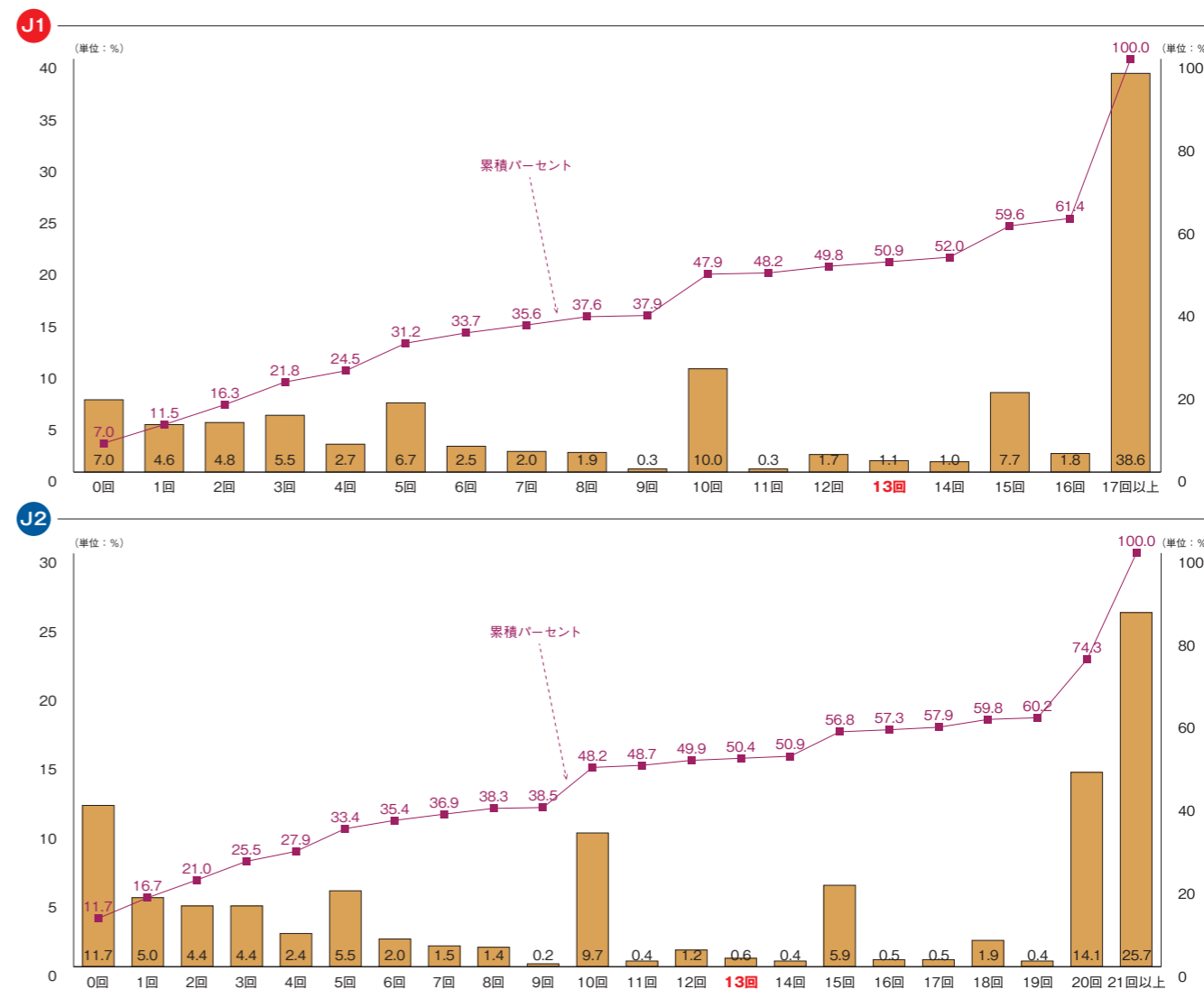
集計対象：J 1 全回答者 [2014 n=7,509 2013 n=7,207 2012 n=7,329 2011 n=6,965 2010 n=7,768 2009 n=7,785]
集計対象：J 2 全回答者 [2014 n=8,240 2013 n=8,480 2012 n=8,407 2011 n=7,417 2010 n=7,417 2009 n=6,981]

J1・J2ともに「13回」がスタジアム観戦頻度の中央値。

J1の観戦者の38.6%が「17回以上/シーズン」、J2の観戦者の25.7%が「21回以上/シーズン」スタジアム観戦する回答。J1・J2ともに「13回」が年間観戦頻度の中央値となった。

観戦頻度 (2014 シーズン実績) ※2014 シーズン観戦実績についての設問

集計対象：J1 全回答者 (n=7,509) 集計対象：J2 全回答者 (n=8,240)



J1平均は「12.2回/年」、J2平均は「13.1回/年」。

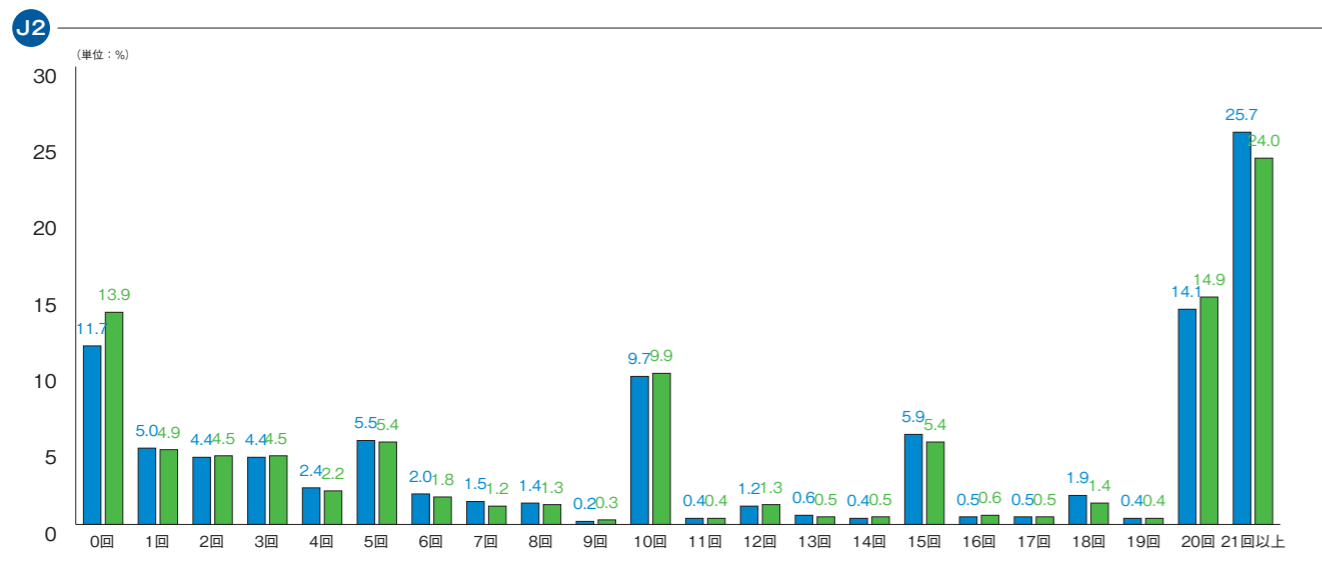
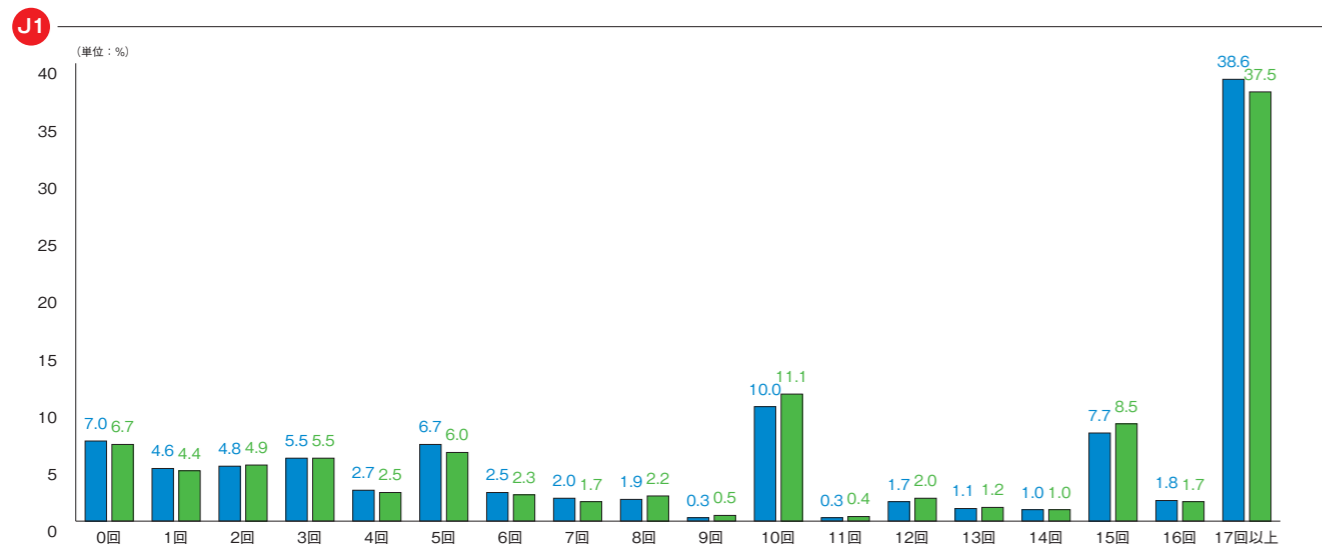
年間の平均観戦頻度については、J1の観戦者が12.2回、J2の観戦者が13.1回となっていた。J1では浦和(17.1回)、柏(16.0回)などの、J2では大分(18.2回)、熊本(17.1回)などの平均観戦頻度が高い傾向がみられた。

観戦頻度 (2013/2014 比較)

※2015 シーズン調査対象による 2014 シーズンの観戦実績と、
2014 シーズン調査対象による 2013 シーズンの観戦実績を比較

■ 2014実績 ■ 2013実績

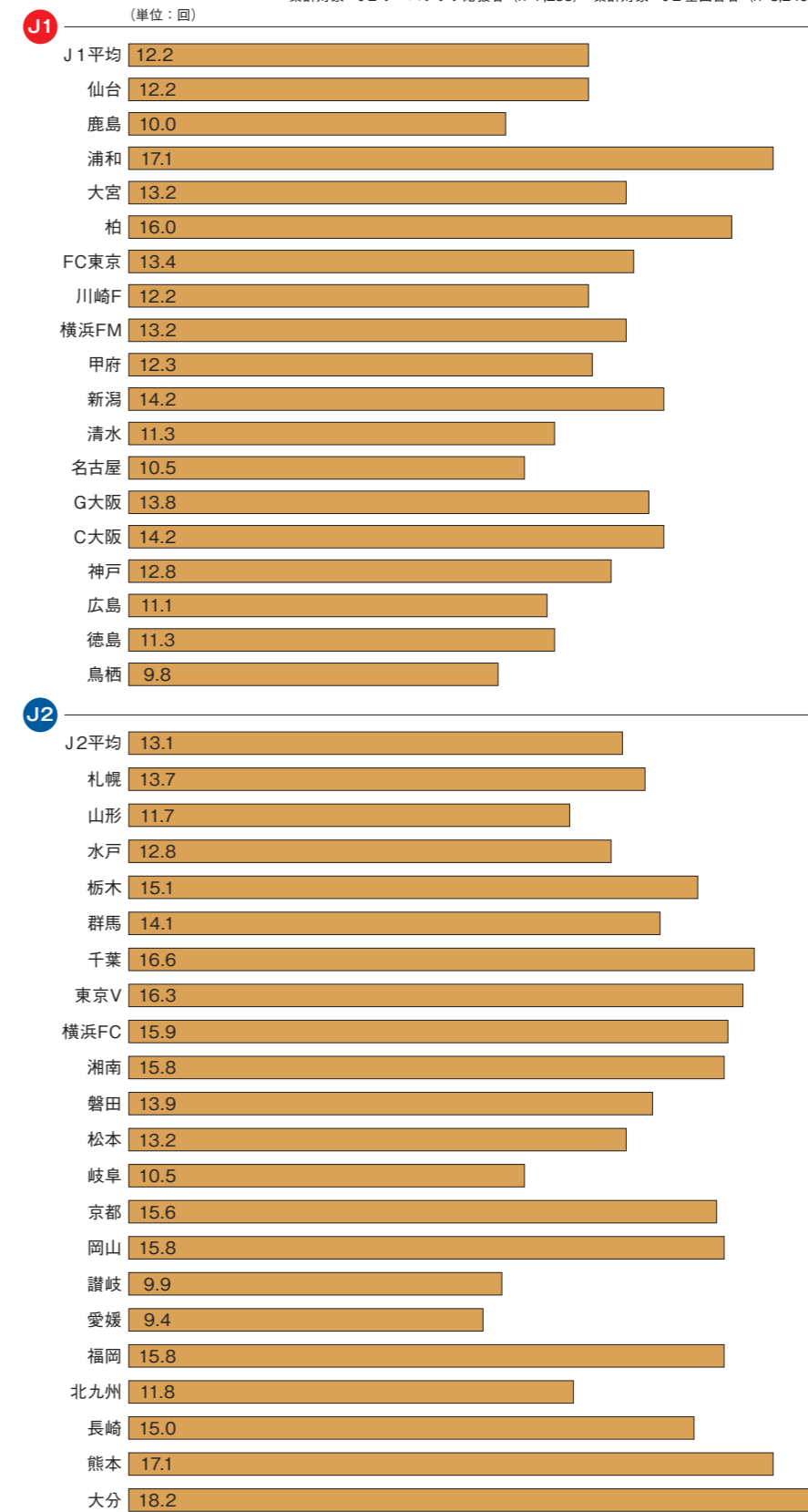
集計対象：J1 全回答者 (2014 n=7,509/2013 n=7,207) 集計対象：J2 全回答者 (2014 n=8,240/2013 n=8,480)



平均観戦頻度 (2014 シーズン実績※クラブ別)

※2014 シーズン観戦実績についての設問

集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (n=6,850) 集計対象：J1 全回答者 (n=7,509)
集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (n=7,255) 集計対象：J2 全回答者 (n=8,240)



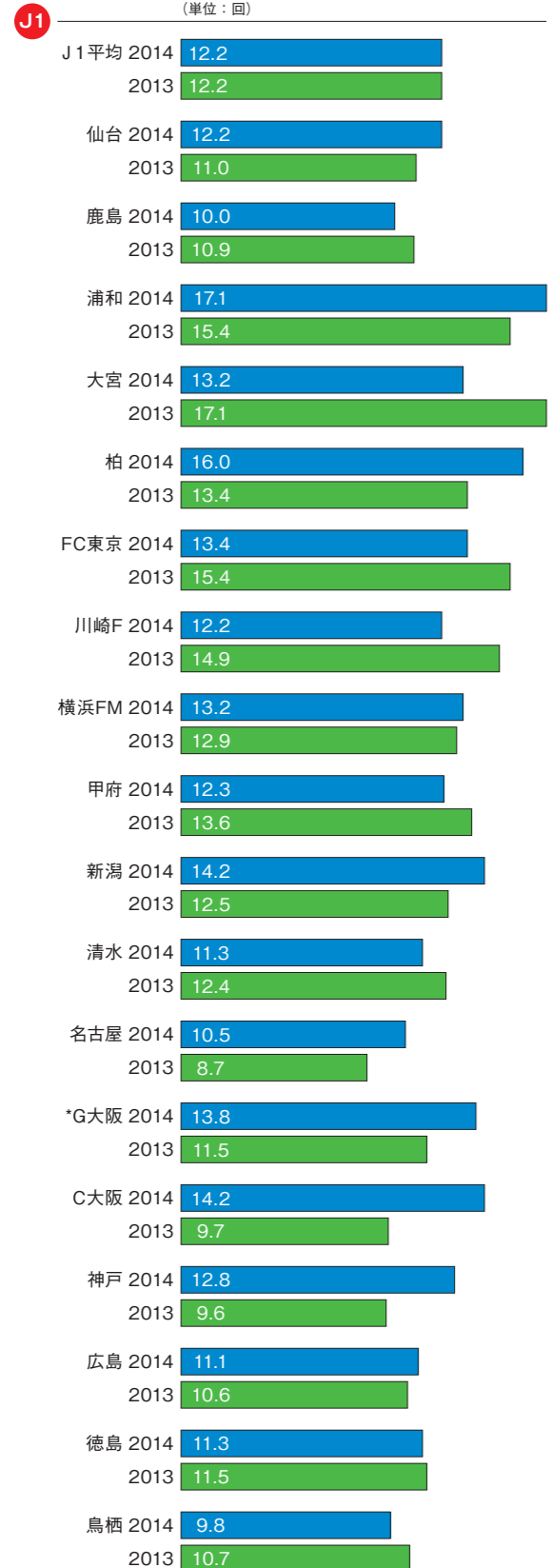


平均観戦頻度 (2013/2014 比較)

※2015シーズン調査対象による2014シーズンの観戦実績と、2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績を比較

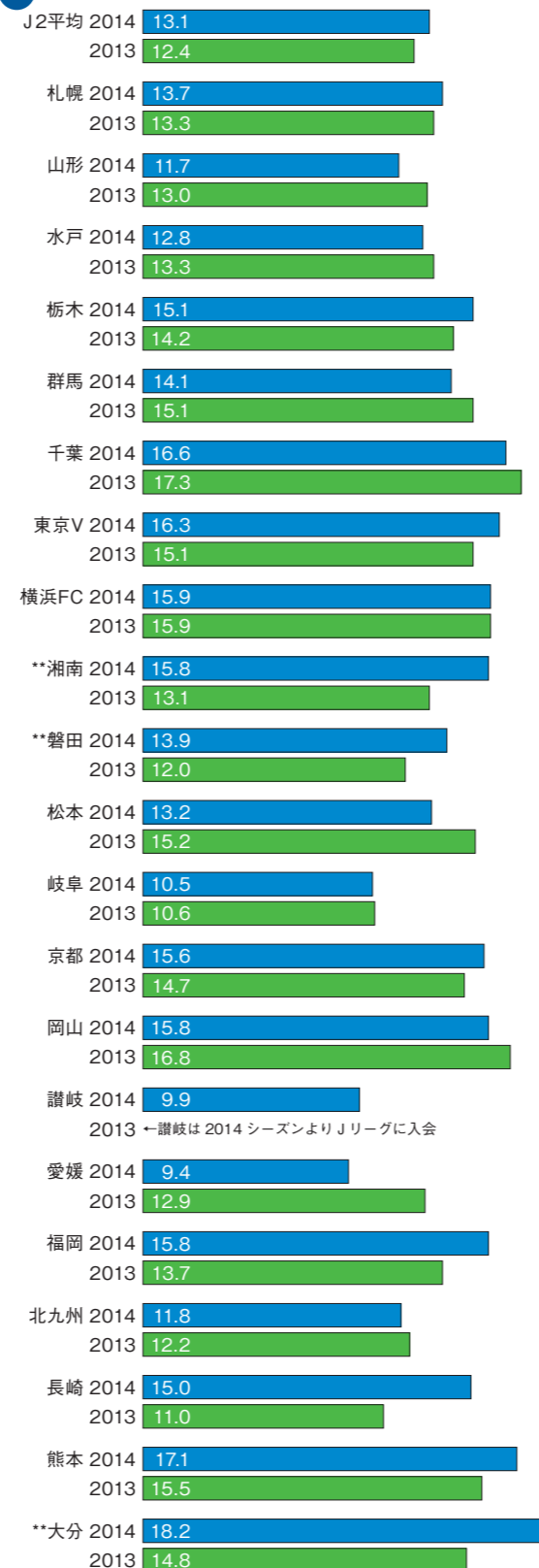
■ 2014実績 ■ 2013実績

集計対象：J1 全回答者 (2014 n=7,509/2013 n=7,207)
集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (2014 n=6,850/2013 n=6,610)
(単位：回)



J2

集計対象：J2 全回答者 (2014 n=8,240/2013 n=8,480)
集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (2014 n=7,255/2013 n=7,428)
(単位：回)



*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属

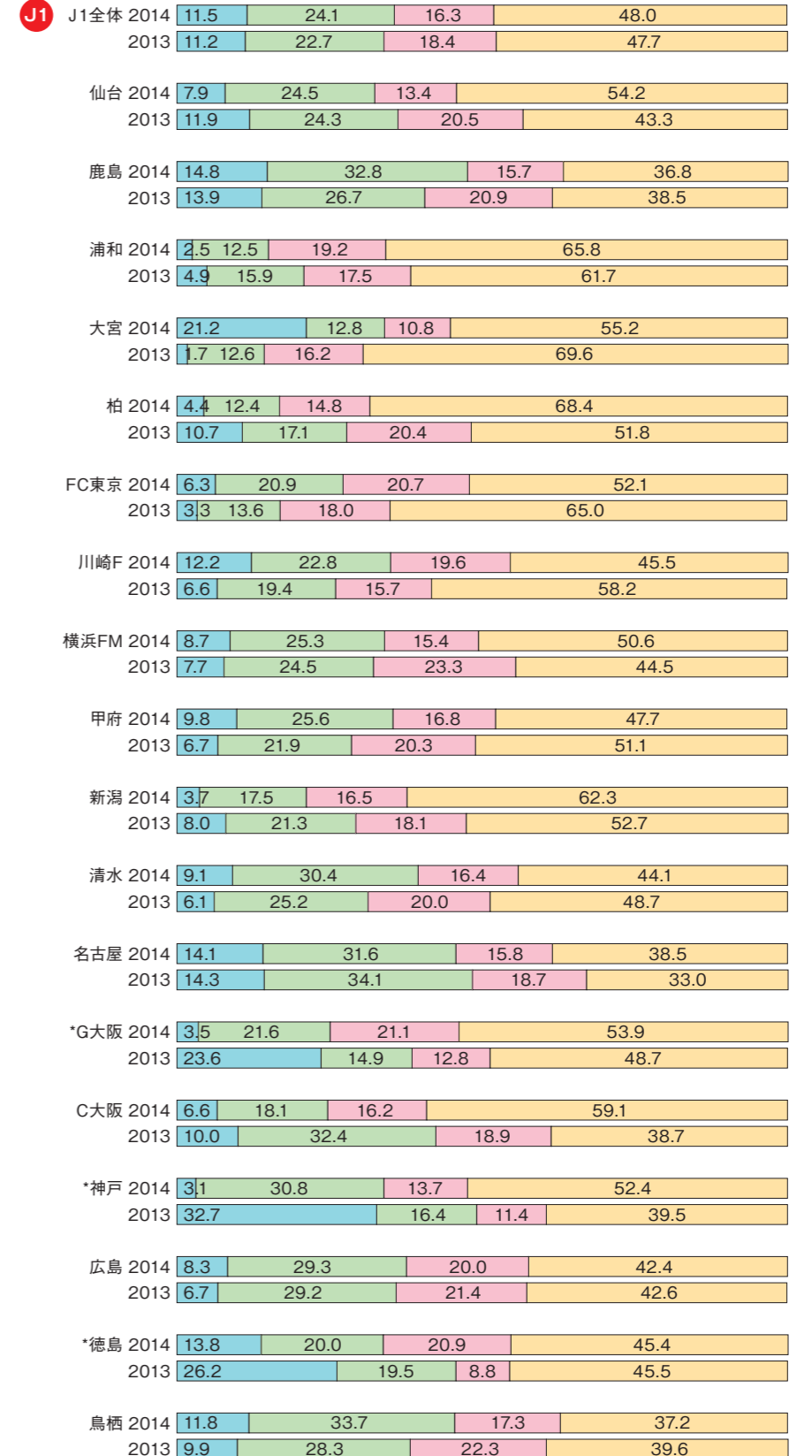
**湘南、磐田、大分2013シーズンJ1に所属

J1 観戦頻度分布 (2013/2014 比較)

※2015シーズン調査対象による2014シーズンの観戦実績と、2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績を比較

■ 0~1回 ■ 2~7回
■ 8~14回 ■ 15回以上

集計対象：J1 全回答者 (2014 n=7,509/2013 n=7,207) 集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (2014 n=6,850/2013 n=6,610)
(単位：%)



*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属



J2観戦頻度分布 (2013/2014 比較)

※2015シーズン調査対象による2014シーズンの観戦実績と
2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績を比較

集計対象：J2全回答者 (2014 n=8,240/2013 n=8,480) 集計対象：J2ホームクラブ応援者 (2014 n=7,255/2013 n=7,428)
(単位：%)

J2	チーム	年	観戦頻度 (%)			
			0~1回	2~7回	8~14回	15回以上
J2全体	J2全体	2014	16.7	20.2	14.0	49.1
		2013	18.9	19.8	14.2	47.1
札幌	札幌	2014	11.9	19.3	14.0	54.9
		2013	15.7	19.6	11.3	53.4
山形	山形	2014	22.9	18.9	13.5	44.7
		2013	13.1	22.2	15.7	49.0
水戸	水戸	2014	8.8	26.8	19.3	45.1
		2013	11.6	22.0	18.0	48.3
栃木	栃木	2014	9.8	15.4	17.2	57.6
		2013	6.9	18.1	16.8	58.1
群馬	群馬	2014	12.5	18.3	16.0	53.2
		2013	6.9	13.9	13.5	65.7
千葉	千葉	2014	5.8	16.7	14.6	63.0
		2013	5.7	15.9	15.3	63.1
東京V	東京V	2014	6.7	14.1	17.0	62.2
		2013	9.1	9.4	15.9	65.5
横浜FC	横浜FC	2014	11.2	17.0	12.4	59.4
		2013	9.9	15.8	14.2	60.1
*湘南	*湘南	2014	17.6	12.2	10.0	60.2
		2013	13.8	17.4	18.2	50.6
松本	松本	2014	17.3	20.4	14.3	48.0
		2013	10.1	17.8	15.6	56.6
*磐田	*磐田	2014	11.2	21.2	16.8	50.8
		2013	9.6	24.2	18.7	47.5
岐阜	岐阜	2014	14.1	30.4	18.8	36.7
		2013	24.6	28.4	11.7	35.2
京都	京都	2014	6.3	15.2	17.1	61.4
		2013	9.1	16.6	18.0	56.4
岡山	岡山	2014	9.6	16.3	12.4	61.8
		2013	7.7	14.3	12.9	65.2
讃岐	讃岐	2014	19.1	32.1	16.0	32.7
		2013	←讃岐は2014シーズンよりJリーグ入会			
愛媛	愛媛	2014	16.0	39.6	14.9	29.5
		2013	12.5	22.4	18.8	46.3
福岡	福岡	2014	6.5	16.3	13.5	63.8
		2013	5.4	21.7	17.3	55.6
北九州	北九州	2014	15.2	30.0	12.0	42.8
		2013	12.9	25.2	20.6	41.4
長崎	長崎	2014	7.3	18.1	17.3	57.3
		2013	12.7	28.1	23.9	35.3
熊本	熊本	2014	3.6	10.8	14.4	71.1
		2013	8.2	15.4	12.8	63.6
*大分	*大分	2014	1.8	9.1	15.0	74.2
		2013	3.6	10.2	18.8	67.3

*湘南、磐田、大分 2013シーズンJ1に所属

シーズンチケット所有者は観戦頻度が高い。

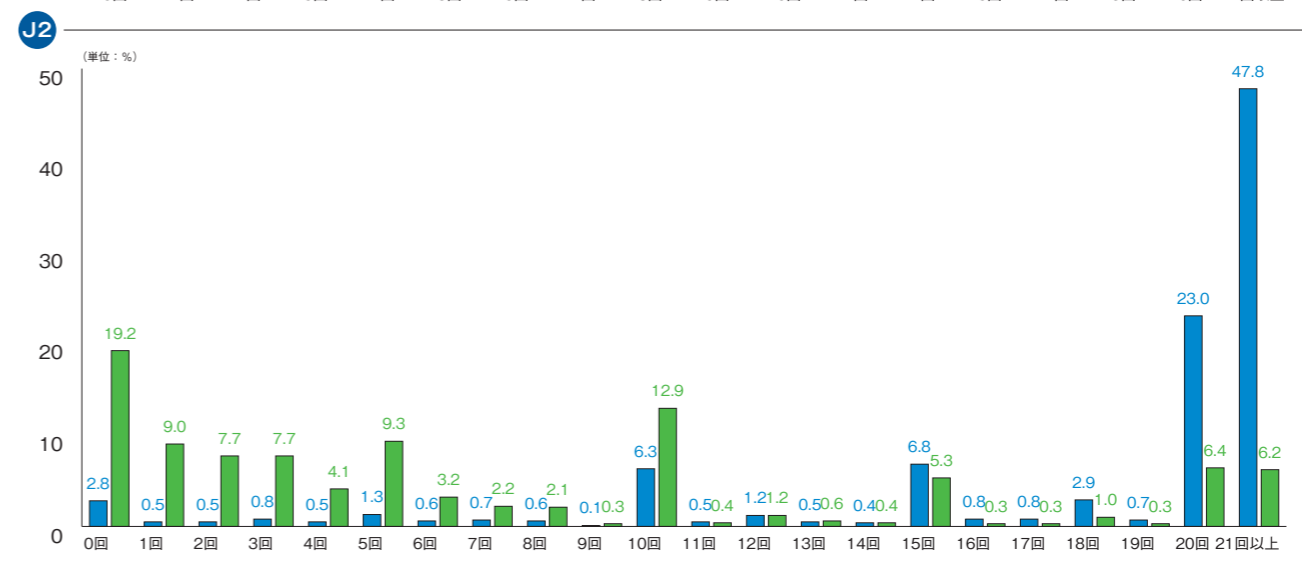
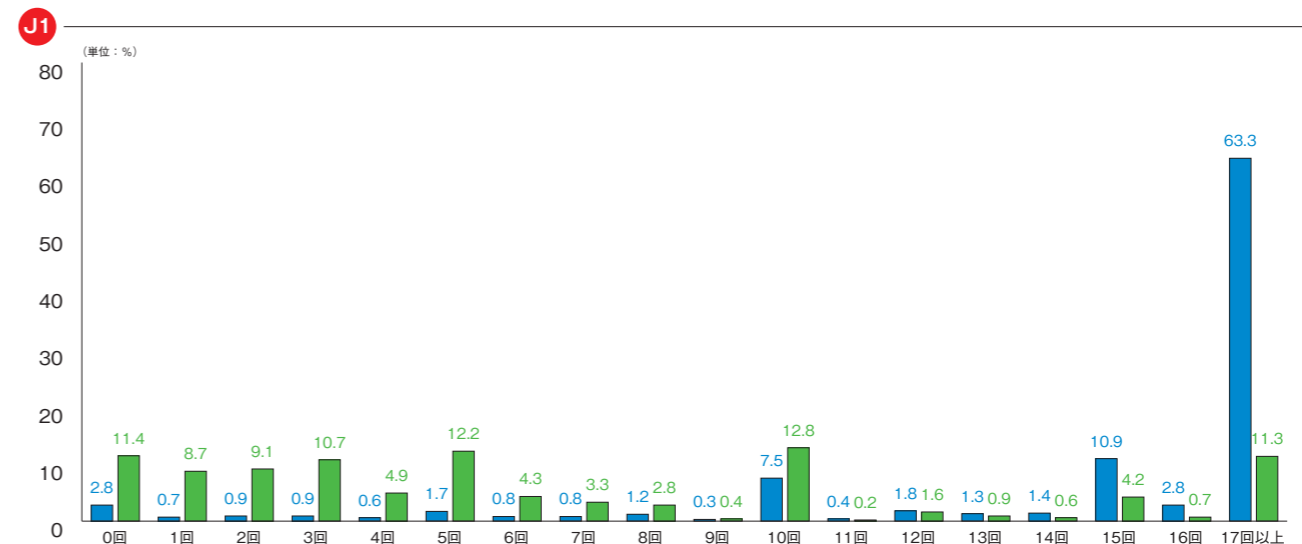
シーズンチケット所有者とシーズンチケットを持たない観戦者を比べると、J1ではホームゲーム全試合と想定される「17回以上」とする割合 (63.3% / 11.3%) が、またJ2でも同様に「21回以上」とする割合 (47.8% / 6.2%) が顕著に高くなっている。

観戦頻度 (チケット種別)

※2014シーズン観戦実績についての設問

■ 2014実績 ■ 2013実績

集計対象：J1全回答者 (n=7,372) 集計対象：J2全回答者 (n=7,984)



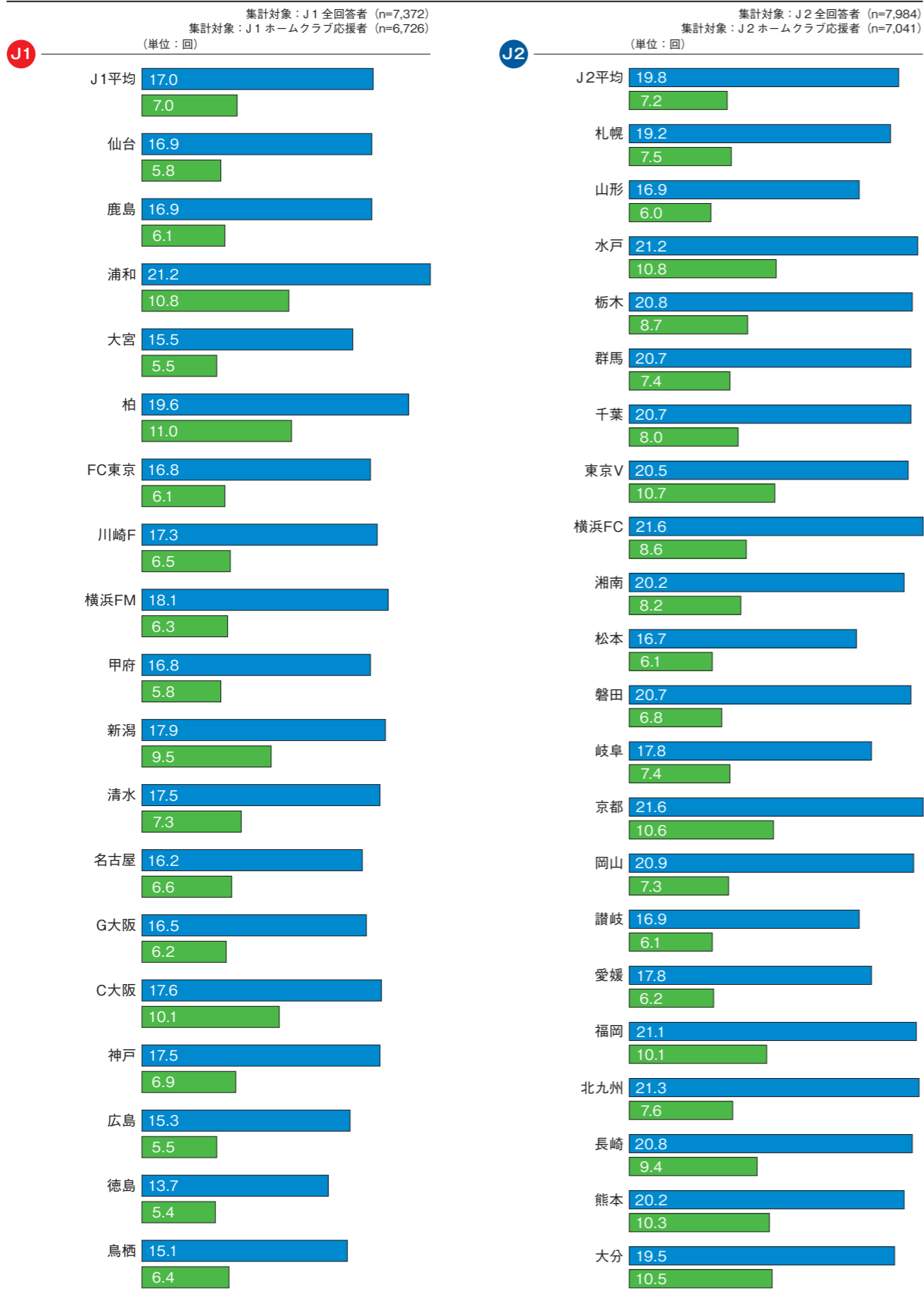
シーズンチケット所有者の平均観戦回数は、J1が「17.0回」、J2が「19.8回」。

シーズンチケット所有者とシーズンチケットを持たない観戦者を比べると、シーズンチケット所有者の平均観戦回数がかかなり高くなっていった(J1:17.0回/7.0回、J2:19.8回/7.2回)。

平均観戦頻度 (チケット種別)

※2014シーズン観戦実績についての設問

■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外

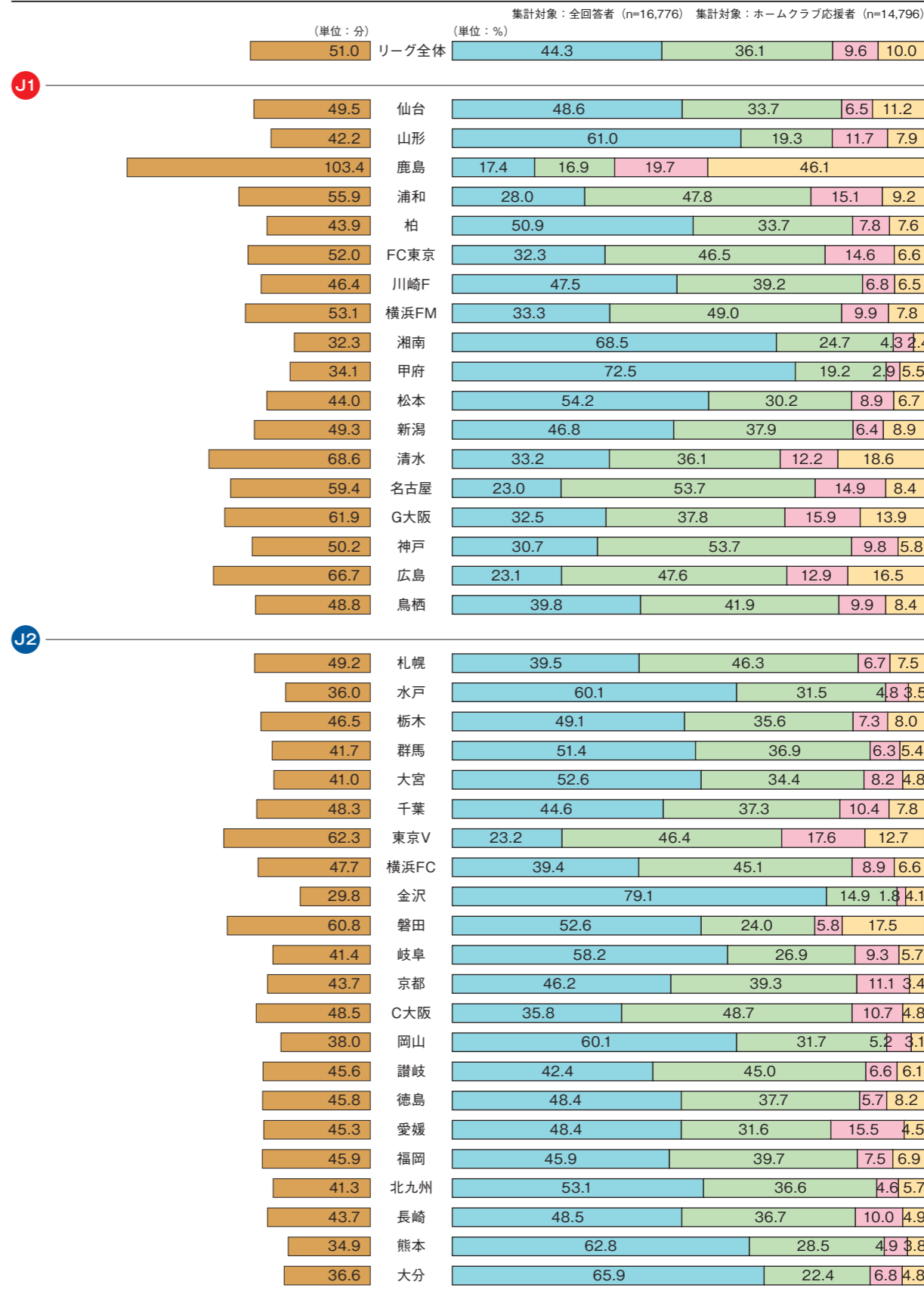


スタジアムまでにかかる時間は、平均51.0分。

観戦者全体のスタジアムへの平均のアクセス時間は、51.0分であった。その内訳となるアクセス時間分布では、60分以内は80.4%で、うち30分以内の割合が44.3%であった。クラブ別にみると、鹿島(103.4分)のアクセス時間が長い傾向にあり、金沢(29.8分)、湘南(32.3分)、甲府(34.1分)などはアクセス時間が短い傾向にあった。

平均アクセス時間・アクセス時間分布 (クラブ別)

■ 30分以内 ■ 31~60分 ■ 61~90分 ■ 91分以上





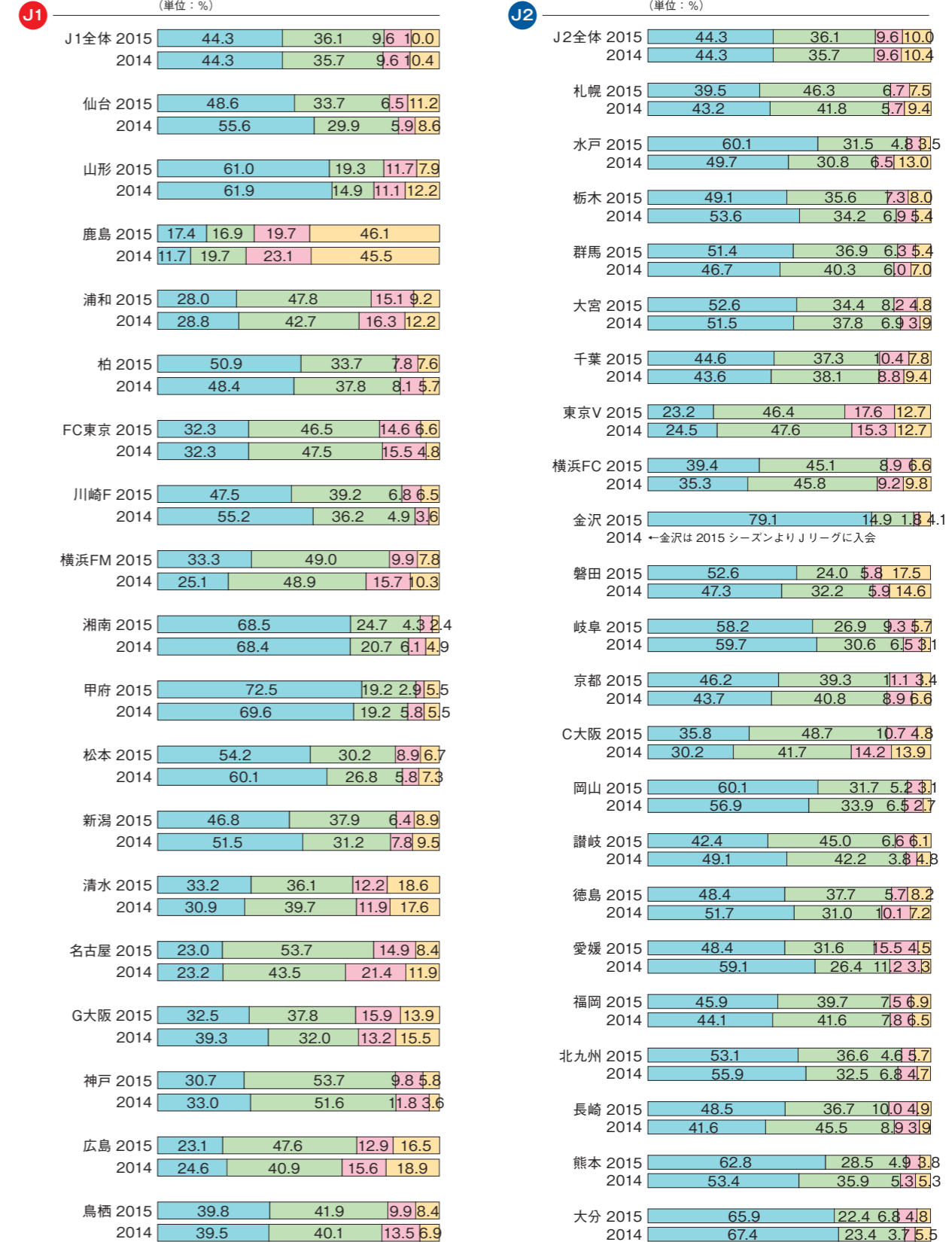
平均アクセス時間 (2014/2015 比較)

集計対象：全観戦者 (2015 n=16,776/2014 n=16,835) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=14,796/2014 n=14,839)



アクセス時間分布 (2014/2015 比較)

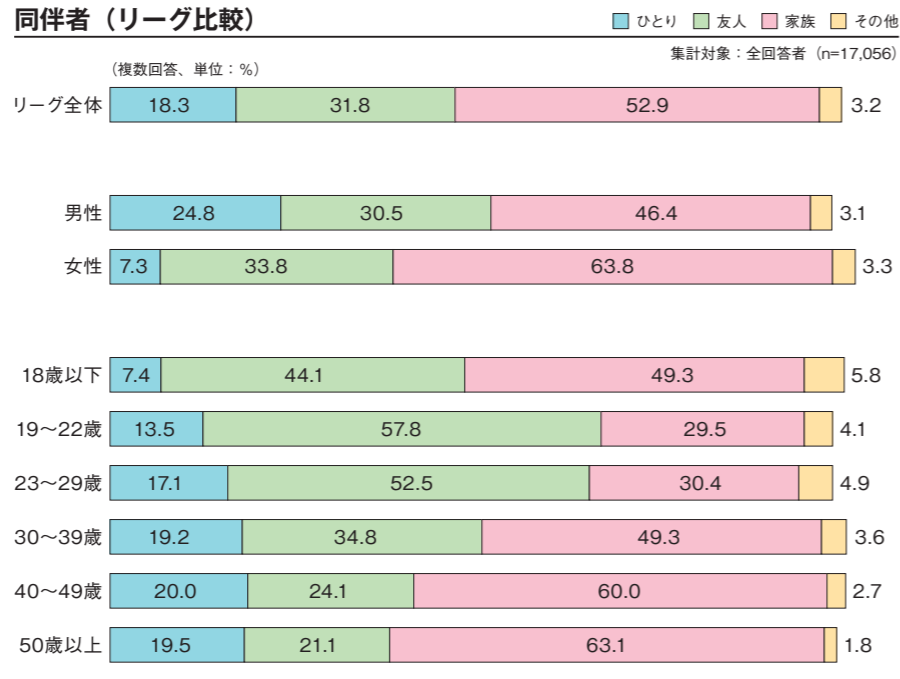
集計対象：全観戦者 (2015 n=16,776/2014 n=16,835) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=14,796/2014 n=14,839) (単位：%)



52.9%が「家族」とスタジアム観戦。

「家族」と一緒に観戦する観戦者が52.9%で最も多く、次いで「友人」とが31.8%であった。また、「ひとり」で来場する割合は全体の18.3%であった。男性に「ひとり」で来場する割合が高い傾向(男性:24.8%、女性:7.3%)、女性に「家族と」来場する割合が高い傾向(男性:46.4%、女性:63.8%)がみられた。また、30代以上に「家族」と来場する割合が高い傾向、19~29歳に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられた。クラブ別でみると、東京V(32.4%)・京都(29.5%)・横浜FC(29.1%)、金沢(28.9%)などに「ひとり」で来場する割合が高い傾向、愛媛(68.9%)・長崎(63.2%)・讃岐(62.2%)・新潟(61.9%)などに「家族」と来場する割合が高い傾向、浦和(58.7%)・鳥栖(44.3%)に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられた。

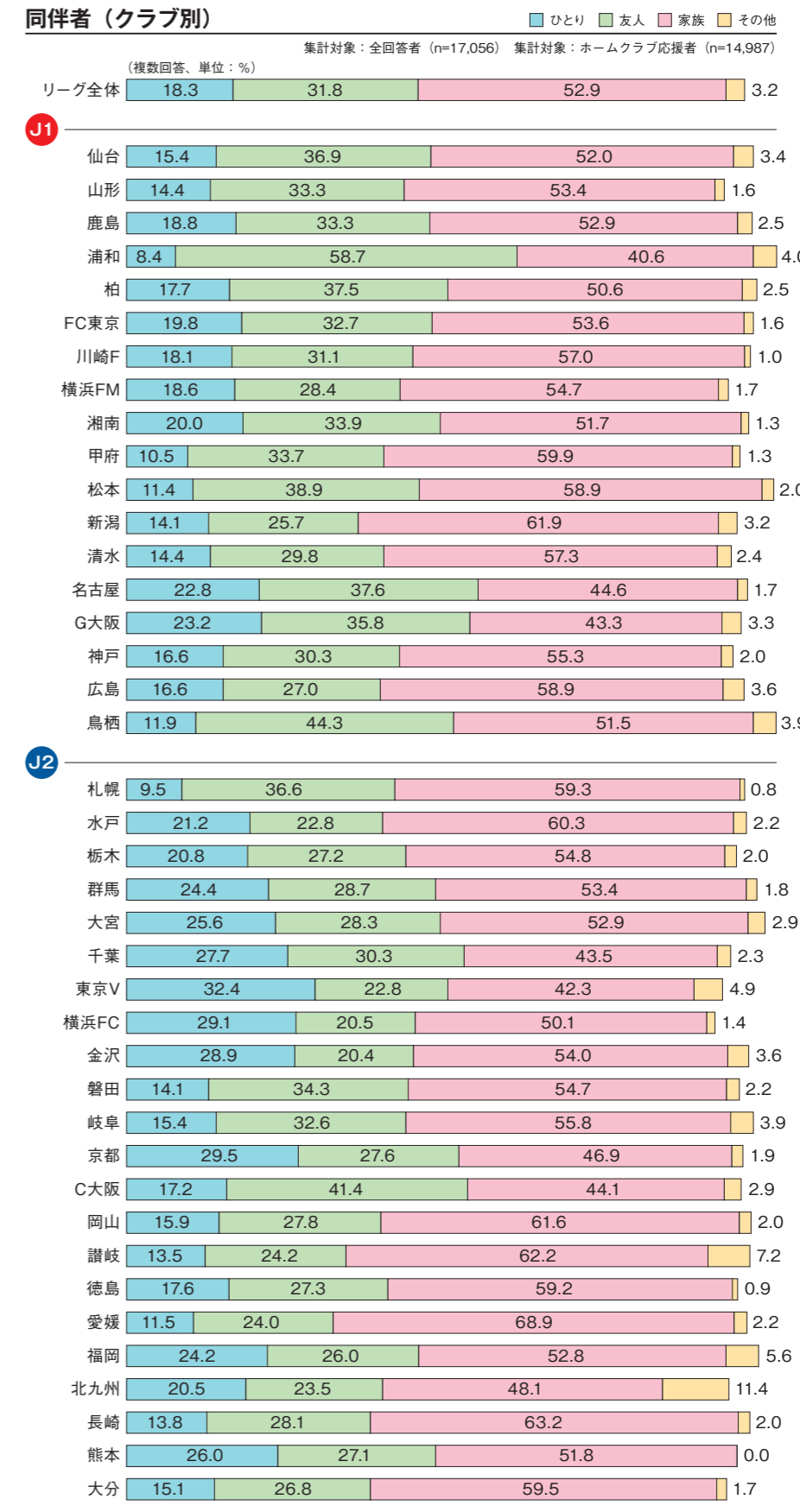
同伴者 (リーグ比較)



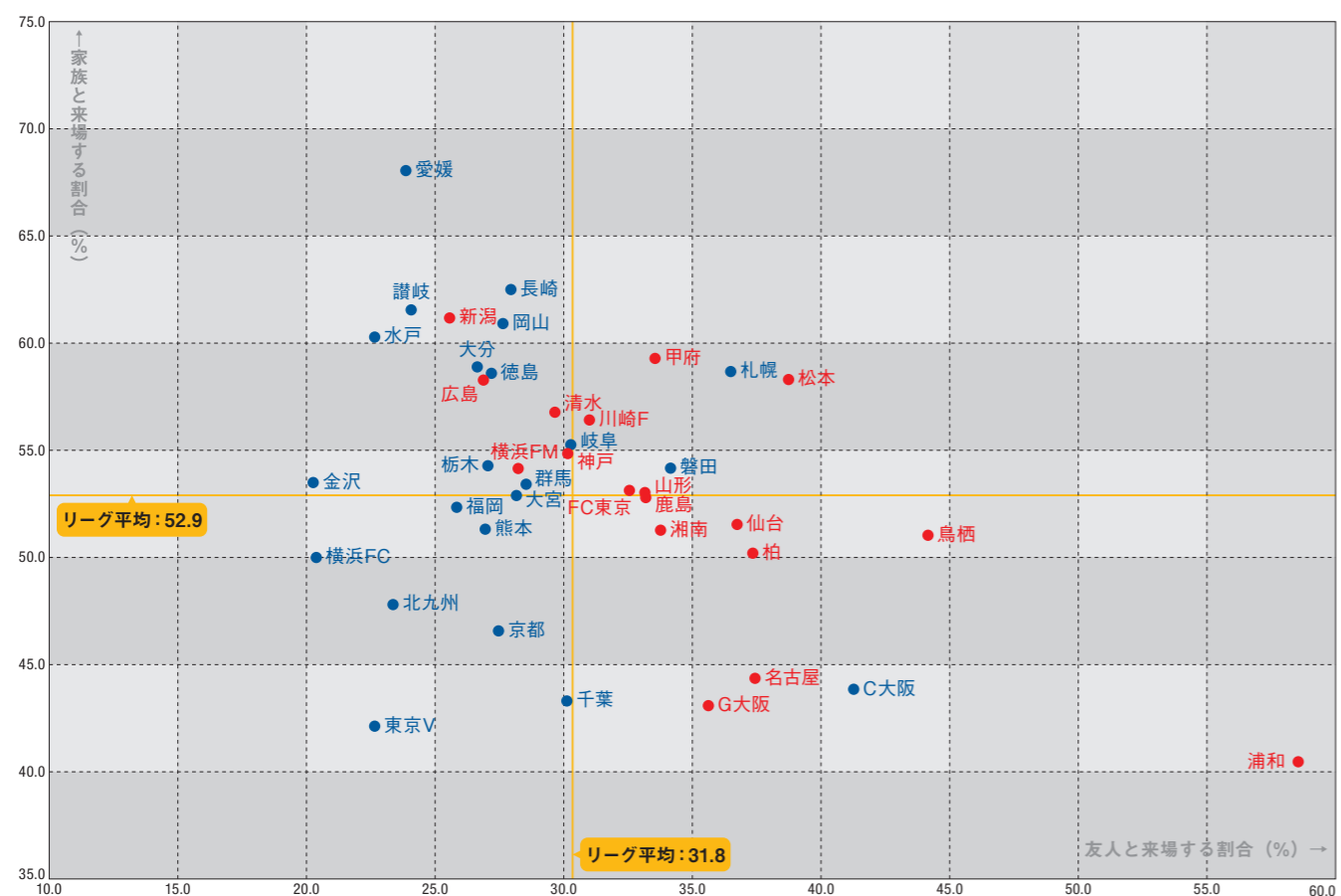
「家族」との観戦が多かったのは愛媛、 「友人」との観戦が多かったのは浦和。

愛媛(68.9%)・長崎(63.2%)が「家族」と、浦和(58.7%)・鳥栖(44.3%)が「友人」観戦する割合が高く、東京V(32.4%)・京都(29.5%)には「ひとり」で観戦する割合が高くなっている。全体的には「家族」とスタジアム観戦する割合が高くなっている。

同伴者 (クラブ別)

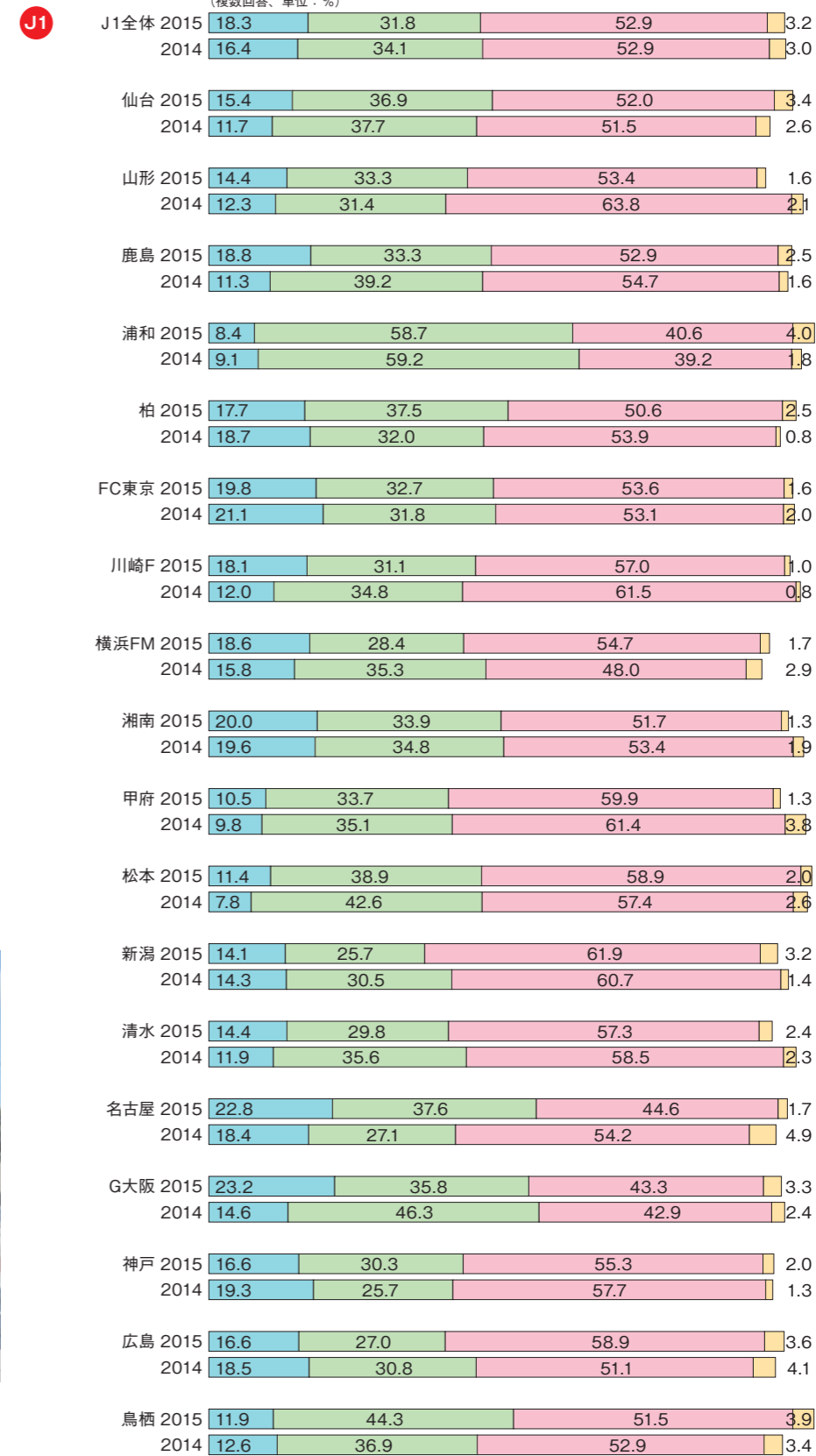


同伴者クラブ別プロット

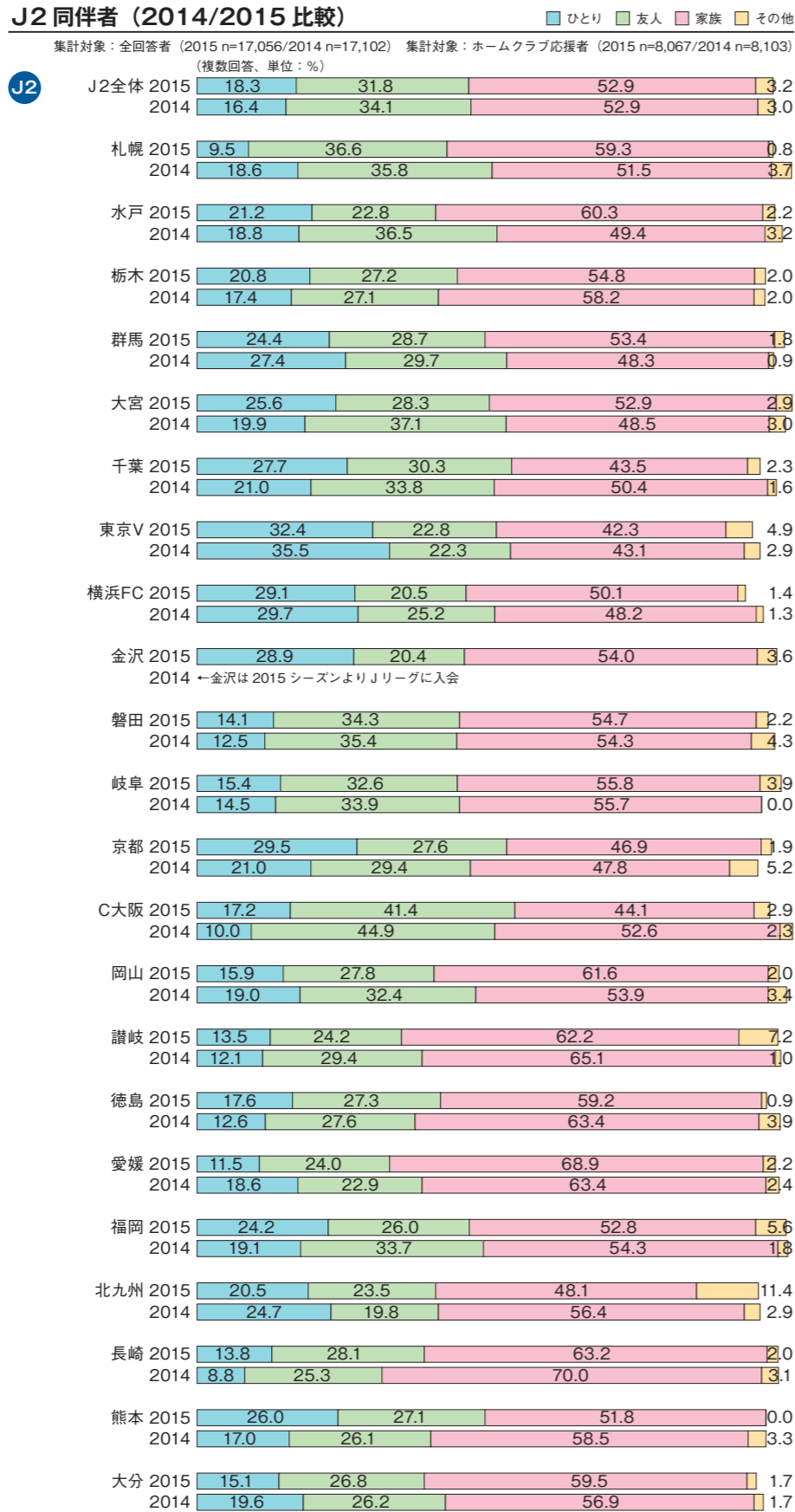


J1 同伴者 (2014/2015 比較)

集計対象: 全回答者 (2015 n=17,056/2014 n=17,102) 集計対象: ホームクラブ応援者 (2015 n=6,920/2014 n=6,884)
(複数回答、単位: %)



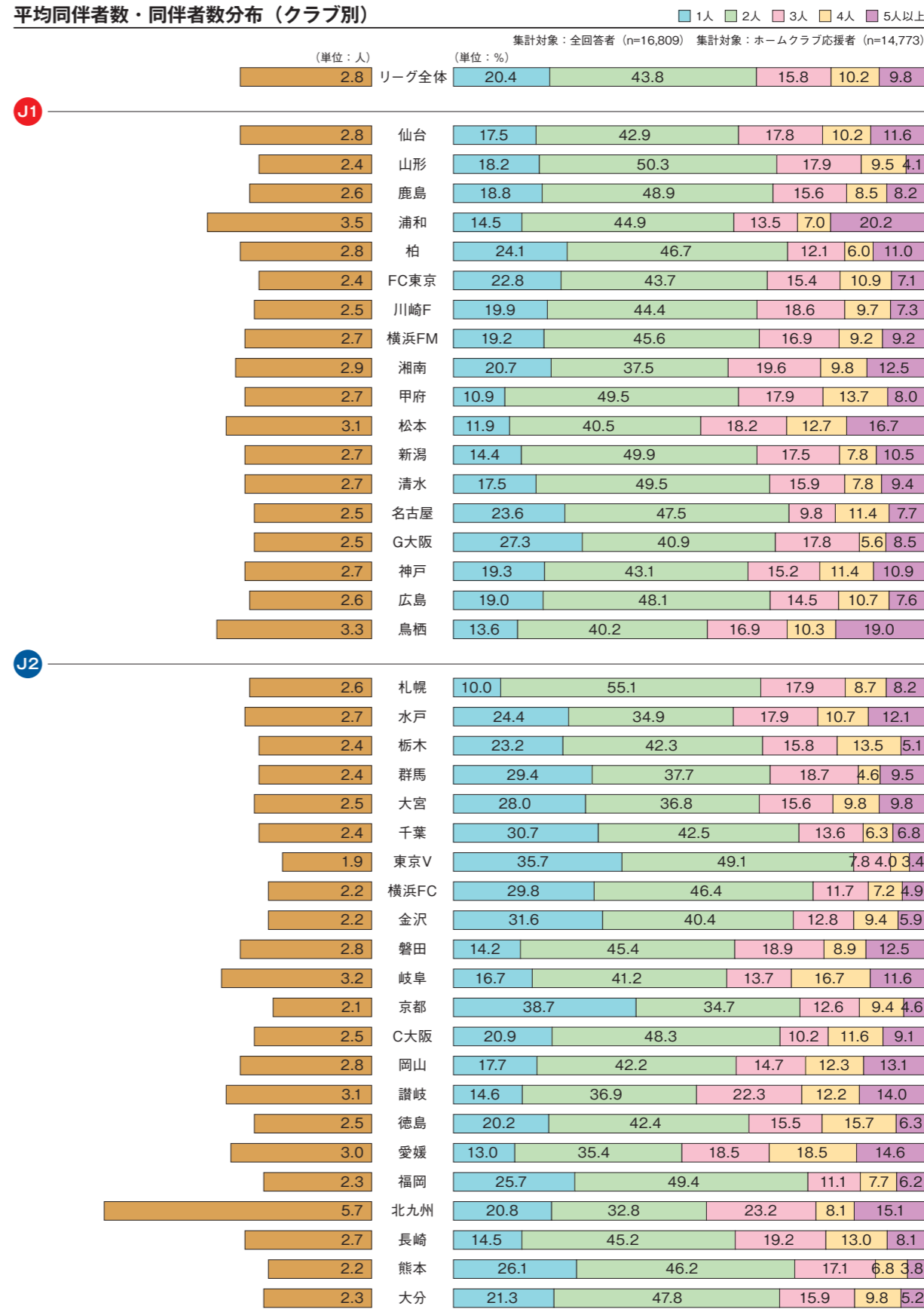
J2 同伴者 (2014/2015 比較)



平均同伴者数が最も多いのは北九州(5.7人)。

リーグ平均の同伴者数は2.8人で、「2人」で観戦する人(43.8%)が最も多く、次いで「1人」で観戦する人(20.4%)、「3人」で観戦する人(15.8%)となっている。浦和(20.2%)、鳥栖(19.0%)は5人以上で観戦する割合が特に高くなっている。平均同伴者数が最も多いクラブは北九州(5.7人)が特に多く、次いで浦和(3.5人)・鳥栖(3.3人)であった。一方、東京V(1.9人)・京都(2.1人)は平均同伴者数が少ない傾向がみられた。

平均同伴者数・同伴者数分布 (クラブ別)





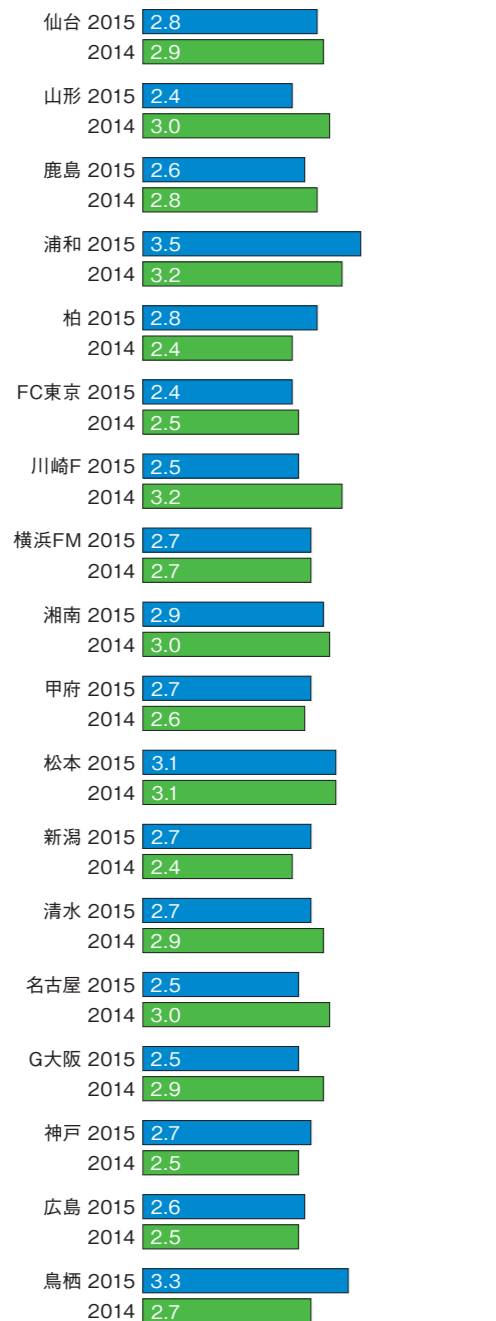
平均同伴者数 (2014/2015 比較)

■ 2015 ■ 2014

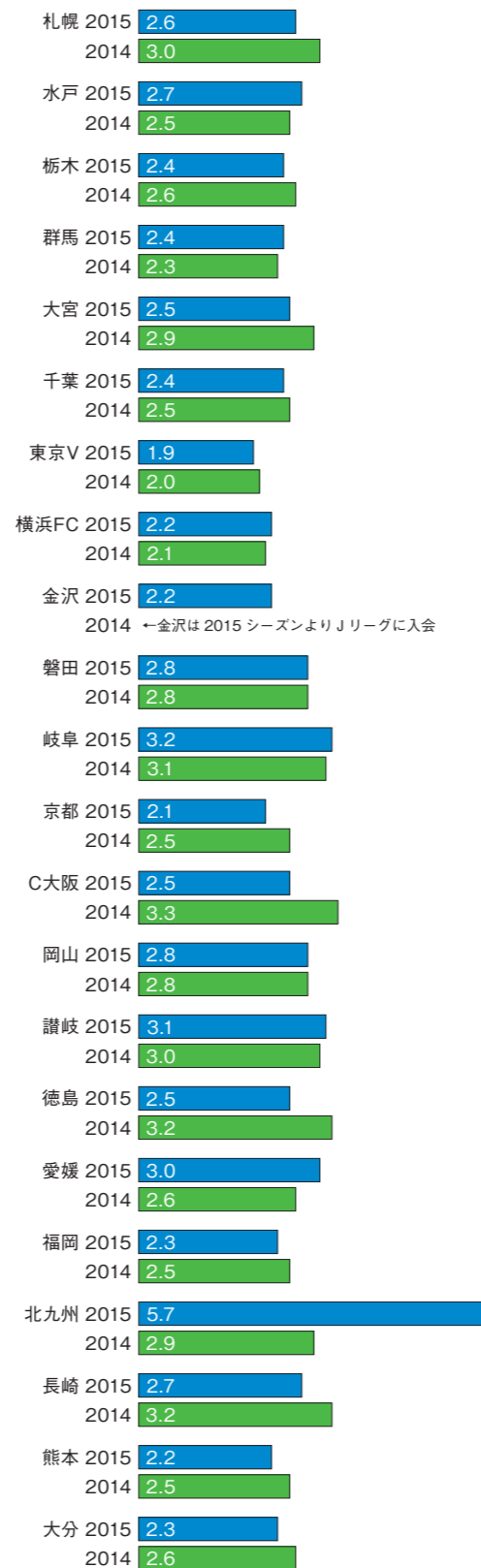
集計対象：全回答者 (2015 n=16,809/2014 n=16,805) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=14,773/2014 n=14,726)

(単位：人)
リーグ平均 2015 2.8
2014 2.8

J1



J2

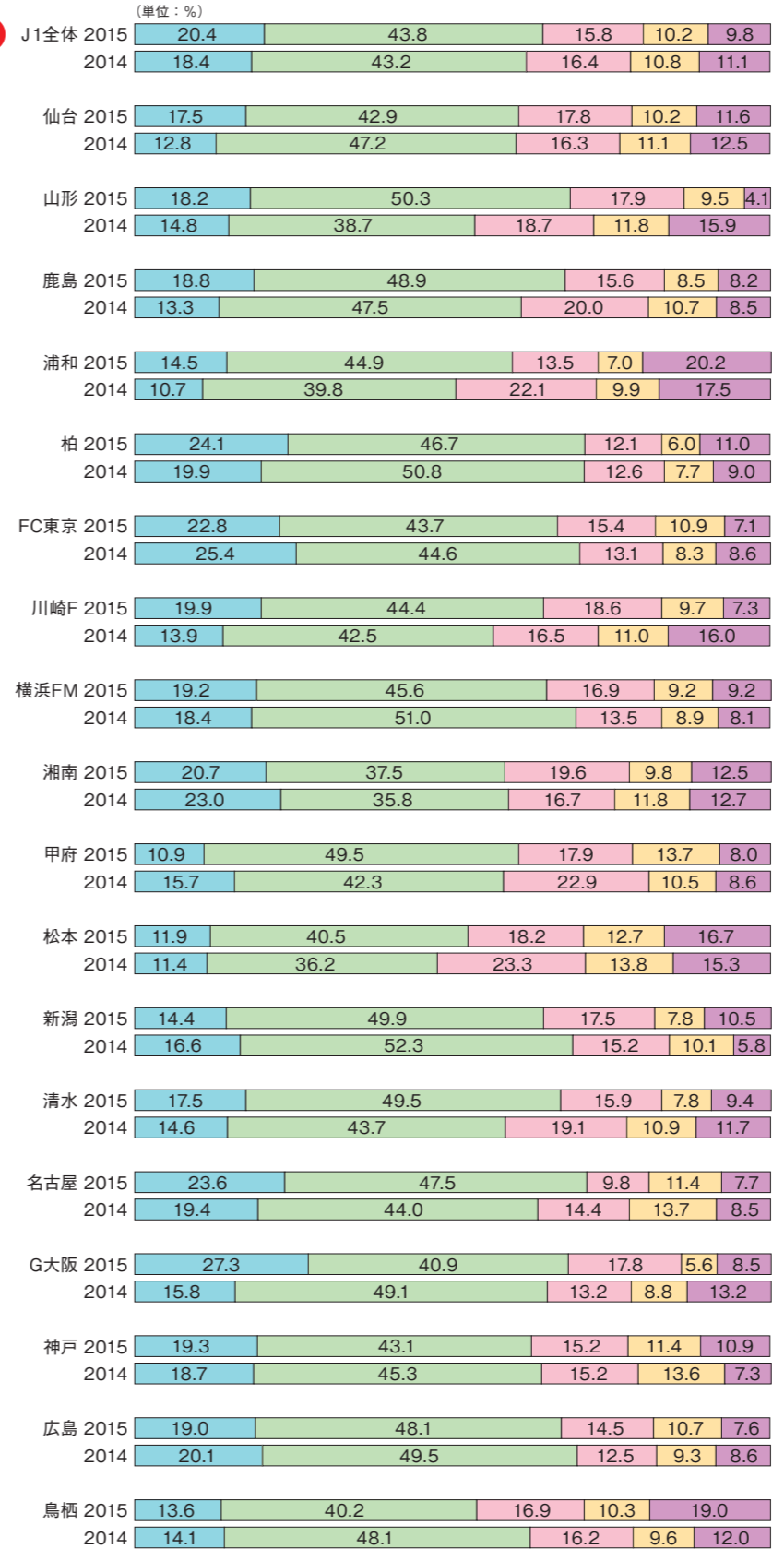


J1 同伴者数分布 (2014/2015 比較)

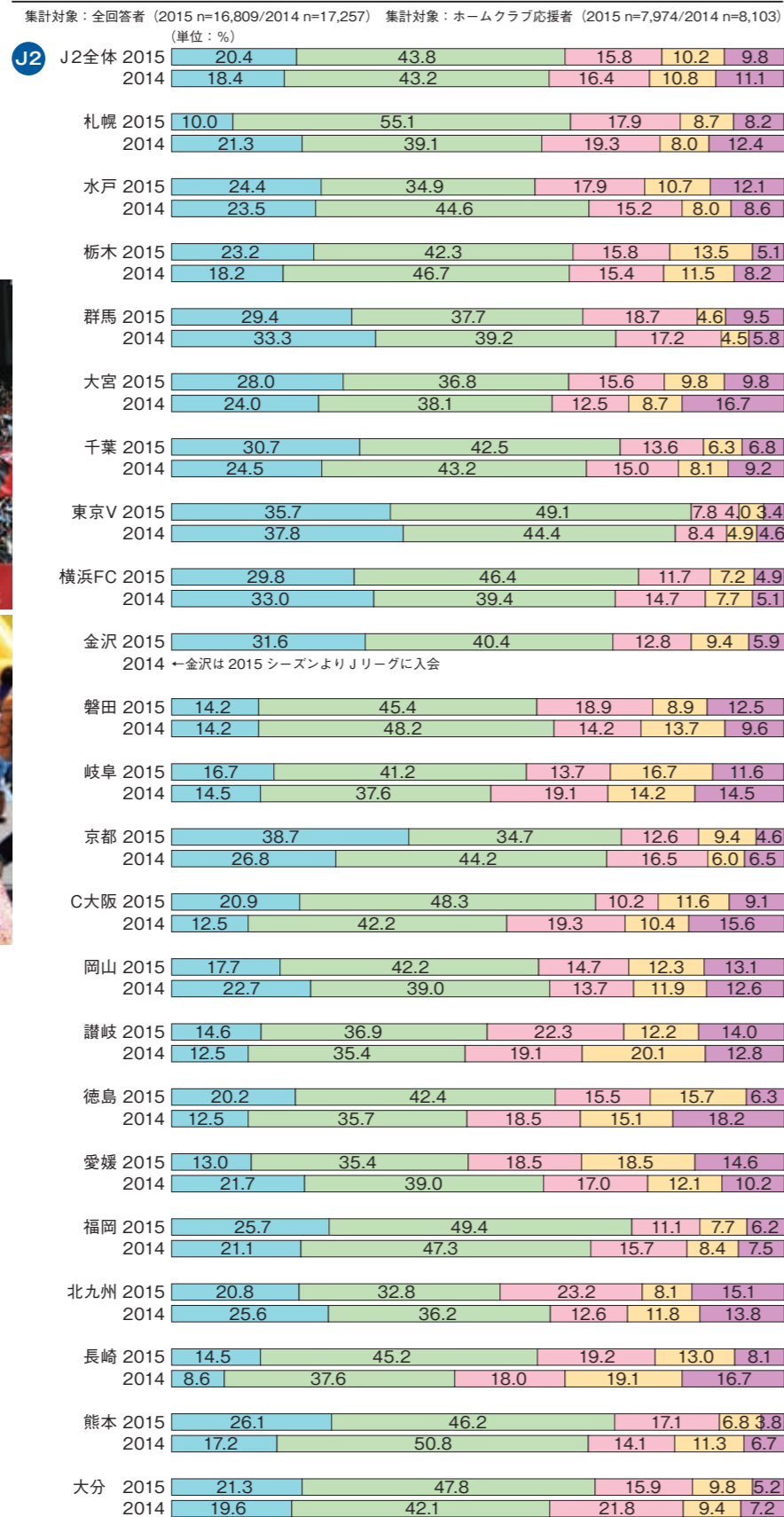
■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人以上

集計対象：全回答者 (2015 n=16,809/2014 n=17,257) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2015 n=6,799/2014 n=6,884)

J1



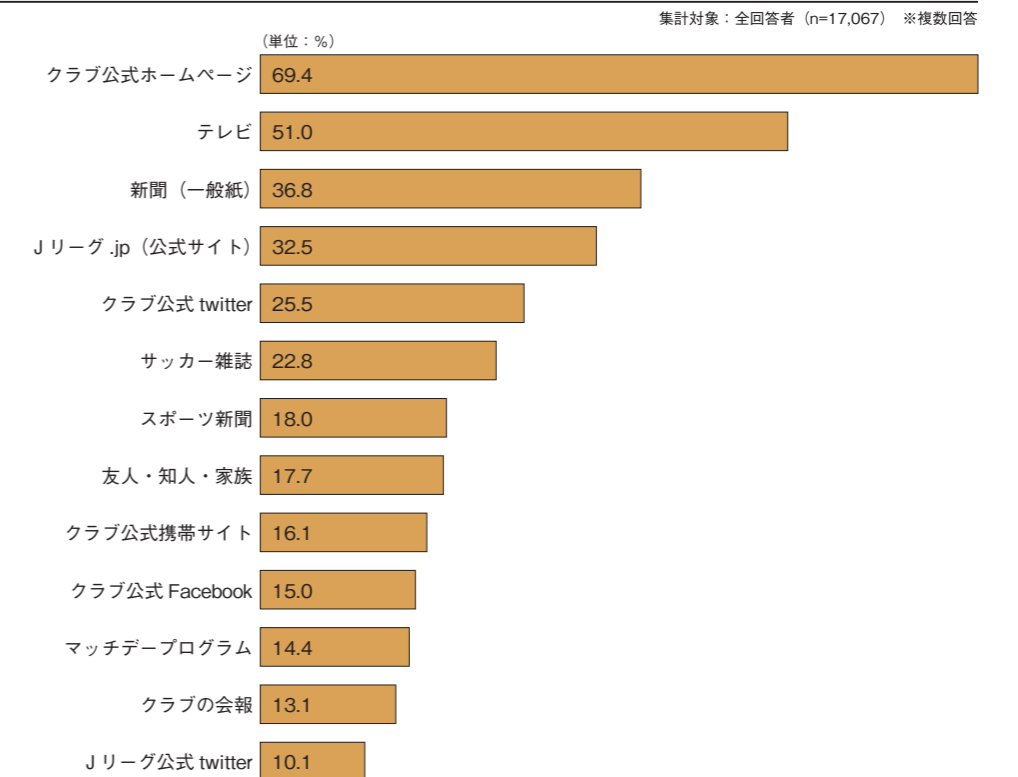
J2 同伴者数分布 (2014/2015 比較)



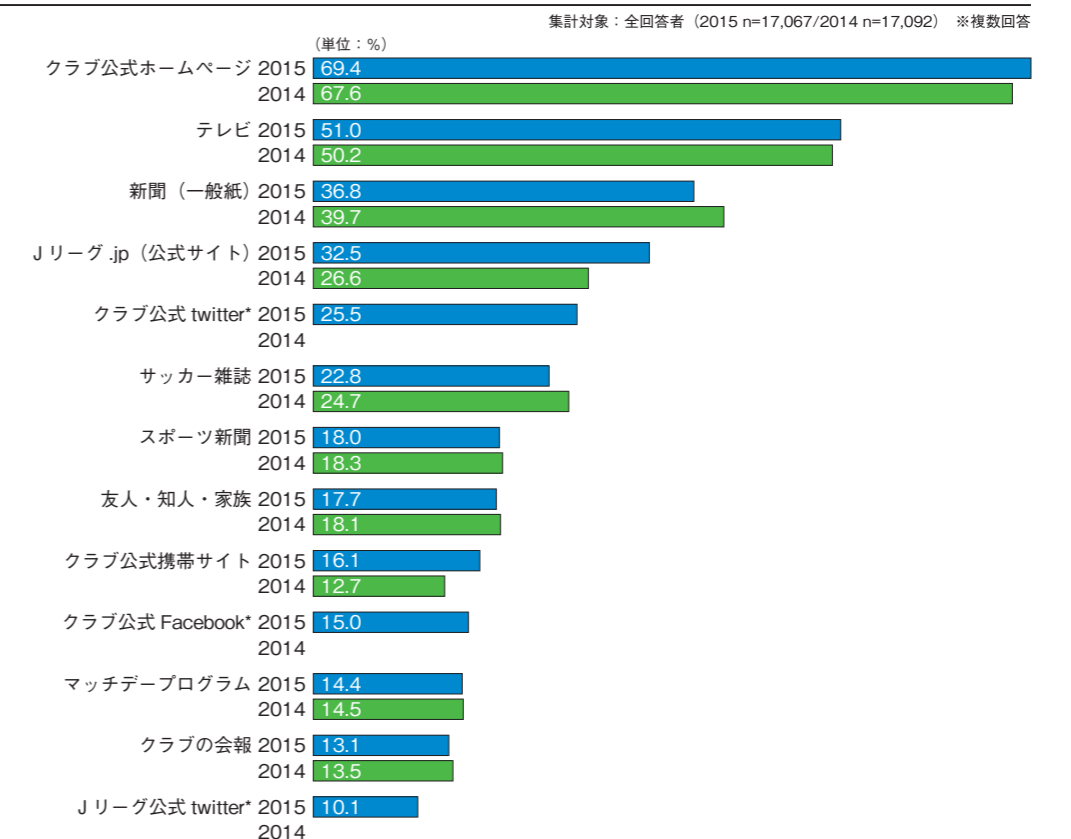
クラブ公式ホームページが主な情報ソースである。

Jリーグの情報の入手経路は、「クラブ公式ホームページ」(69.4%)が例年通り主たるものであり、次いで「テレビ」(51.0%)、「新聞(一般紙)」(36.8%)、「Jリーグ.jp」(32.5%)であった。クラブ別にみると、新潟は「新聞(一般紙)」(69.5%)、広島は「テレビ」(66.6%)が最も重要なメディアとしてトップにランクインしている。「テレビ」が情報入手経路の2位以内に位置していたのは32クラブであった。また、全体の5位には「クラブ公式 twitter」(25.5%)がランクインした。

情報入手経路 (リーグ全体)



情報入手経路 (2014/2015 比較)



* 2015シーズンより設定した項目

情報入手経路(クラブ別)

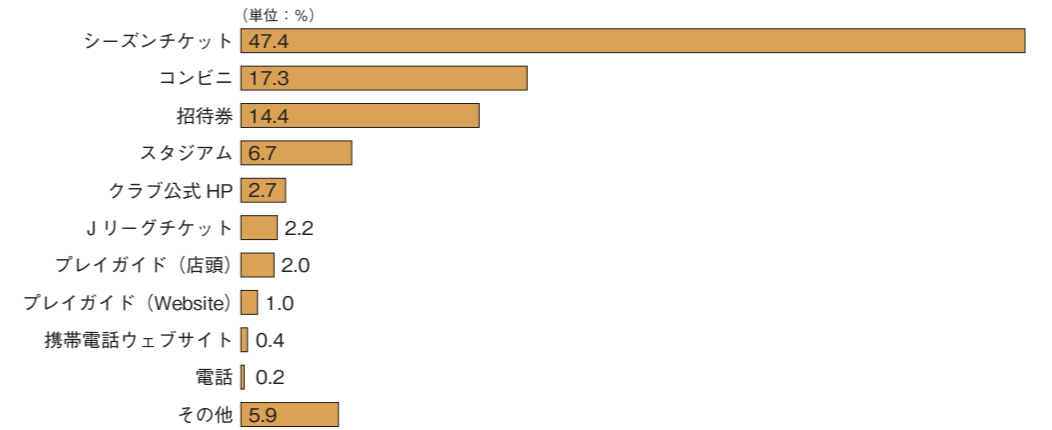
上位5つのみ記載 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,023) ※複数回答 (単位：%)

仙台 クラブ公式ホームページ 69.6 テレビ 63.2 新聞(一般紙) 52.1 Jリーグ.jp(公式サイト) 35.9 スポーツ新聞 25.9	山形 クラブ公式ホームページ 65.2 テレビ 56.5 新聞(一般紙) 53.5 Jリーグ.jp(公式サイト) 36.1 クラブ公式twitter 29.3	鹿島 クラブ公式ホームページ 71.9 テレビ 55.2 クラブ公式twitter 37.3 サッカー雑誌 28.1 Jリーグ.jp(公式サイト) 26.7	浦和 クラブ公式ホームページ 84.9 テレビ 55.4 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.2 クラブ公式twitter 32.4 スポーツ新聞 25.0	柏 クラブ公式ホームページ 82.9 テレビ 44.2 Jリーグ.jp(公式サイト) 38.4 クラブ公式twitter 37.9 サッカー雑誌 28.9	FC東京 クラブ公式ホームページ 84.1 テレビ 55.0 クラブ公式twitter 35.6 Jリーグ.jp(公式サイト) 30.0 クラブ公式携帯サイト 23.9	川崎F クラブ公式ホームページ 78.5 テレビ 52.3 クラブ公式twitter 33.4 Jリーグ.jp(公式サイト) 32.9 クラブの会報 32.4	横浜FM クラブ公式ホームページ 77.9 テレビ 47.9 クラブ公式twitter 36.7 Jリーグ.jp(公式サイト) 36.4 新聞(一般紙) 27.5	湘南 クラブ公式ホームページ 78.4 テレビ 47.7 Jリーグ.jp(公式サイト) 38.9 クラブ公式twitter 35.7 新聞(一般紙) 34.4	甲府 クラブ公式ホームページ 63.5 テレビ 58.4 新聞(一般紙) 54.8 Jリーグ.jp(公式サイト) 34.7 サッカー雑誌 23.1	松本 クラブ公式ホームページ 80.5 テレビ 55.1 新聞(一般紙) 49.6 Jリーグ.jp(公式サイト) 47.4 クラブ公式twitter 26.9	新潟 新聞(一般紙) 69.5 クラブ公式ホームページ 63.0 テレビ 60.3 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.7 クラブ公式携帯サイト 23.7	清水 クラブ公式ホームページ 68.4 テレビ 53.3 新聞(一般紙) 37.1 Jリーグ.jp(公式サイト) 27.2 スポーツ新聞 26.6	名古屋 クラブ公式ホームページ 71.4 テレビ 52.2 スポーツ新聞 38.7 新聞(一般紙) 36.4 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.0	G大阪 クラブ公式ホームページ 84.7 テレビ 58.7 サッカー雑誌 39.0 Jリーグ.jp(公式サイト) 37.4 クラブ公式twitter 35.7	神戸 クラブ公式ホームページ 74.9 テレビ 57.5 新聞(一般紙) 41.3 Jリーグ.jp(公式サイト) 30.7 クラブ公式twitter 30.4	広島 テレビ 66.6 クラブ公式ホームページ 63.0 新聞(一般紙) 60.3 Jリーグ.jp(公式サイト) 32.1 サッカー雑誌 27.1	鳥栖 クラブ公式ホームページ 67.7 テレビ 59.0 新聞(一般紙) 41.9 Jリーグ.jp(公式サイト) 34.1 クラブ公式twitter 24.9	札幌 クラブ公式ホームページ 69.6 テレビ 60.3 新聞(一般紙) 55.4 スポーツ新聞 30.2 Jリーグ.jp(公式サイト) 26.0	水戸 クラブ公式ホームページ 67.2 テレビ 44.3 新聞(一般紙) 32.5 Jリーグ.jp(公式サイト) 24.5 クラブ公式twitter 19.7	栃木 クラブ公式ホームページ 75.4 テレビ 50.0 新聞(一般紙) 38.8 Jリーグ.jp(公式サイト) 38.3 クラブ公式twitter 27.6	群馬 クラブ公式ホームページ 73.6 新聞(一般紙) 43.3 テレビ 41.8 Jリーグ.jp(公式サイト) 39.4 サッカー雑誌 26.4	大宮 クラブ公式ホームページ 88.0 テレビ 52.2 Jリーグ.jp(公式サイト) 36.8 クラブ公式twitter 35.6 サッカー雑誌 29.4	千葉 クラブ公式ホームページ 80.8 テレビ 40.8 Jリーグ.jp(公式サイト) 37.1 クラブ公式twitter 29.4 サッカー雑誌 26.2	東京V クラブ公式ホームページ 81.1 クラブ公式twitter 44.7 テレビ 37.9 Jリーグ.jp(公式サイト) 36.0 サッカー雑誌 26.1	横浜FC クラブ公式ホームページ 74.6 Jリーグ.jp(公式サイト) 43.9 テレビ 36.5 クラブ公式twitter 27.6 クラブ公式Facebook 25.4	金沢 クラブ公式ホームページ 72.9 テレビ 41.2 新聞(一般紙) 39.4 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.8 クラブ公式twitter 30.9	磐田 クラブ公式ホームページ 74.3 テレビ 60.5 新聞(一般紙) 40.6 Jリーグ.jp(公式サイト) 30.7 サッカー雑誌 24.6	岐阜 クラブ公式ホームページ 70.6 新聞(一般紙) 40.7 テレビ 37.7 Jリーグ.jp(公式サイト) 31.5 クラブ公式twitter 21.7	京都 クラブ公式ホームページ 78.0 テレビ 40.2 新聞(一般紙) 38.8 クラブ公式twitter 29.7 Jリーグ.jp(公式サイト) 29.1	C大阪 クラブ公式ホームページ 83.8 テレビ 51.7 クラブ公式twitter 44.0 サッカー雑誌 28.8 Jリーグ.jp(公式サイト) 27.9	岡山 クラブ公式ホームページ 72.1 新聞(一般紙) 57.0 テレビ 55.0 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.9 サッカー雑誌 21.6	讃岐 クラブ公式ホームページ 61.0 テレビ 42.7 新聞(一般紙) 39.3 Jリーグ.jp(公式サイト) 30.9 クラブ公式twitter 22.1	徳島 クラブ公式ホームページ 74.4 新聞(一般紙) 47.9 テレビ 44.7 Jリーグ.jp(公式サイト) 29.9 クラブの会報 26.1	愛媛 クラブ公式ホームページ 55.6 テレビ 41.9 新聞(一般紙) 38.0 Jリーグ.jp(公式サイト) 23.3 友人・知人・家族 18.8	福岡 クラブ公式ホームページ 74.0 テレビ 50.0 Jリーグ.jp(公式サイト) 36.9 新聞(一般紙) 36.4 クラブ公式twitter 28.5	北九州 クラブ公式ホームページ 61.0 テレビ 43.2 新聞(一般紙) 24.6 Jリーグ.jp(公式サイト) 23.9 クラブ公式twitter 18.2	長崎 クラブ公式ホームページ 68.0 テレビ 47.9 Jリーグ.jp(公式サイト) 39.2 新聞(一般紙) 36.6 クラブ公式twitter 26.8	熊本 クラブ公式ホームページ 75.8 テレビ 58.4 新聞(一般紙) 57.3 Jリーグ.jp(公式サイト) 35.9 クラブ公式twitter 31.5	大分 クラブ公式ホームページ 65.9 新聞(一般紙) 51.0 テレビ 50.1 Jリーグ.jp(公式サイト) 33.5 マッチデープログラム 21.2
---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---

シーズンチケット購入が最多。その割合が高いクラブは、大宮・大分。

観戦者のうち、シーズンチケットを購入した割合(47.4%)が最も高く、次いでコンビニで購入(17.3%)となっていた。シーズンチケットの購入率が高いクラブとして、大分(84.7%)、大宮(78.2%)などがあげられた。コンビニでの購入率が高いクラブは、名古屋(29.8%)、仙台(28.5%)、岐阜(27.2%)などであった。招待券で観戦する割合が高いクラブとして、北九州(36.1%)、群馬(23.5%)、愛媛(21.2%)などが、低いクラブとして、浦和(1.2%)、柏(3.8%)、岡山(4.1%)、大分(4.6%)などがあげられた。

チケット入手方法

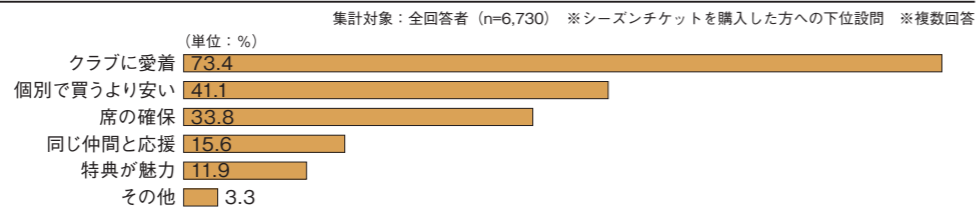


チケット入手方法(クラブ別)

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,683) (単位：%)

	シーズンチケット	コンビニ	招待券	スタジアム	クラブ公式HP	Jリーグチケット	プレイガイド(店頭)	プレイガイド(Website)	携帯電話ウェブサイト	電話	その他
J1											
仙台	57.3	28.5	6.0	0.6	0.9	2.0	1.1	2.0	0.0	0.0	1.7
山形	52.2	19.9	11.6	5.5	1.9	2.2	1.9	0.0	0.0	0.8	3.9
鹿島	34.7	22.9	9.2	6.3	8.9	3.4	1.7	2.6	0.6	0.3	9.5
浦和	60.3	22.1	1.2	0.5	9.9	1.7	0.2	1.2	1.0	0.0	1.7
柏	57.9	24.1	3.8	1.3	9.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.5	2.3
FC東京	68.7	9.4	6.0	4.2	3.0	1.7	0.0	0.5	0.0	0.5	6.0
川崎F	52.7	20.7	10.3	0.5	1.6	6.8	0.0	1.1	0.0	0.3	6.0
横浜FM	58.1	9.0	16.5	4.3	3.8	4.0	0.6	0.9	0.0	0.0	2.9
湘南	63.3	15.5	8.0	1.9	0.8	1.1	1.4	0.3	0.0	0.0	7.7
甲府	58.2	14.1	19.8	4.7	0.0	0.8	0.3	0.5	0.0	0.0	1.6
松本	69.0	17.0	9.4	0.5	0.0	0.5	0.8	0.5	0.5	0.0	1.8
新潟	55.2	13.6	16.3	3.2	2.7	0.5	1.5	0.5	0.0	0.0	6.6
清水	40.0	22.7	15.7	2.9	0.8	2.7	6.9	0.0	0.0	0.0	8.3
名古屋	40.0	29.8	9.5	1.4	8.5	2.4	0.3	1.7	0.3	1.0	5.1
G大阪	69.6	13.8	4.9	0.7	3.3	3.0	0.0	1.4	1.2	0.2	1.9
神戸	53.2	3.6	15.8	2.9	7.8	1.2	0.2	0.0	1.9	0.0	13.3
広島	53.0	9.3	16.4	4.5	0.7	5.2	2.7	0.9	0.0	0.2	7.0
鳥栖	38.3	21.2	12.3	1.5	3.1	1.5	6.1	0.0	0.3	0.6	15.0
J2											
札幌	52.8	12.1	8.4	10.0	0.5	0.5	3.1	1.6	0.8	0.0	10.2
水戸	22.8	17.2	19.3	27.6	0.7	2.1	1.0	0.0	0.7	0.0	8.6
栃木	53.1	23.6	9.3	4.8	0.0	1.3	2.8	0.0	0.0	0.0	5.3
群馬	47.7	9.5	23.5	10.7	0.6	1.2	2.8	0.0	0.3	0.0	3.7
大宮	78.2	5.1	5.3	2.2	3.6	1.0	1.5	0.2	0.0	0.0	2.9
千葉	68.9	6.9	7.1	6.6	1.1	0.3	0.5	0.8	0.0	0.3	7.7
東京V	55.6	12.7	11.1	9.0	0.3	6.8	0.6	0.3	0.3	0.0	3.4
横浜FC	57.9	9.5	7.7	12.5	3.9	1.5	1.2	0.6	2.1	0.0	3.3
金沢	27.0	17.2	18.6	22.7	0.5	1.4	6.0	0.3	0.0	0.0	6.3
磐田	51.5	10.3	9.2	4.2	9.5	2.2	4.7	1.1	0.8	0.6	5.8
岐阜	29.0	27.2	15.0	17.4	0.9	3.6	3.3	0.9	0.3	0.0	2.4
京都	47.4	12.9	16.4	12.1	1.1	1.9	1.4	0.0	0.3	0.0	6.6
C大阪	52.8	16.6	7.0	4.0	10.8	1.3	0.9	1.6	1.1	0.0	3.8
岡山	61.4	10.6	4.1	9.3	1.3	3.1	3.4	1.0	0.5	0.0	5.2
讃岐	32.3	21.8	18.4	4.8	0.6	2.1	7.3	0.3	0.3	0.0	12.1
徳島	70.8	10.0	8.2	5.3	2.1	0.2	1.6	0.0	0.0	0.0	1.8
愛媛	25.3	16.0	21.2	10.6	0.0	1.4	6.8	1.0	0.3	0.0	17.4
福岡	47.6	18.6	19.4	4.5	2.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0	6.0
北九州	29.0	13.3	36.1	11.8	0.8	3.1	0.4	0.8	0.4	0.0	4.3
長崎	48.0	20.8	10.8	12.4	0.8	0.3	1.3	0.3	0.0	0.0	5.4
熊本	66.6	7.1	8.6	9.7	0.6	1.4	2.3	0.9	0.3	0.0	2.6
大分	84.7	4.3	4.6	2.6	0.6	1.2	0.3	0.0	0.0	0.0	1.7

シーズンチケットの購入理由



シーズンチケットの購入理由(クラブ別)

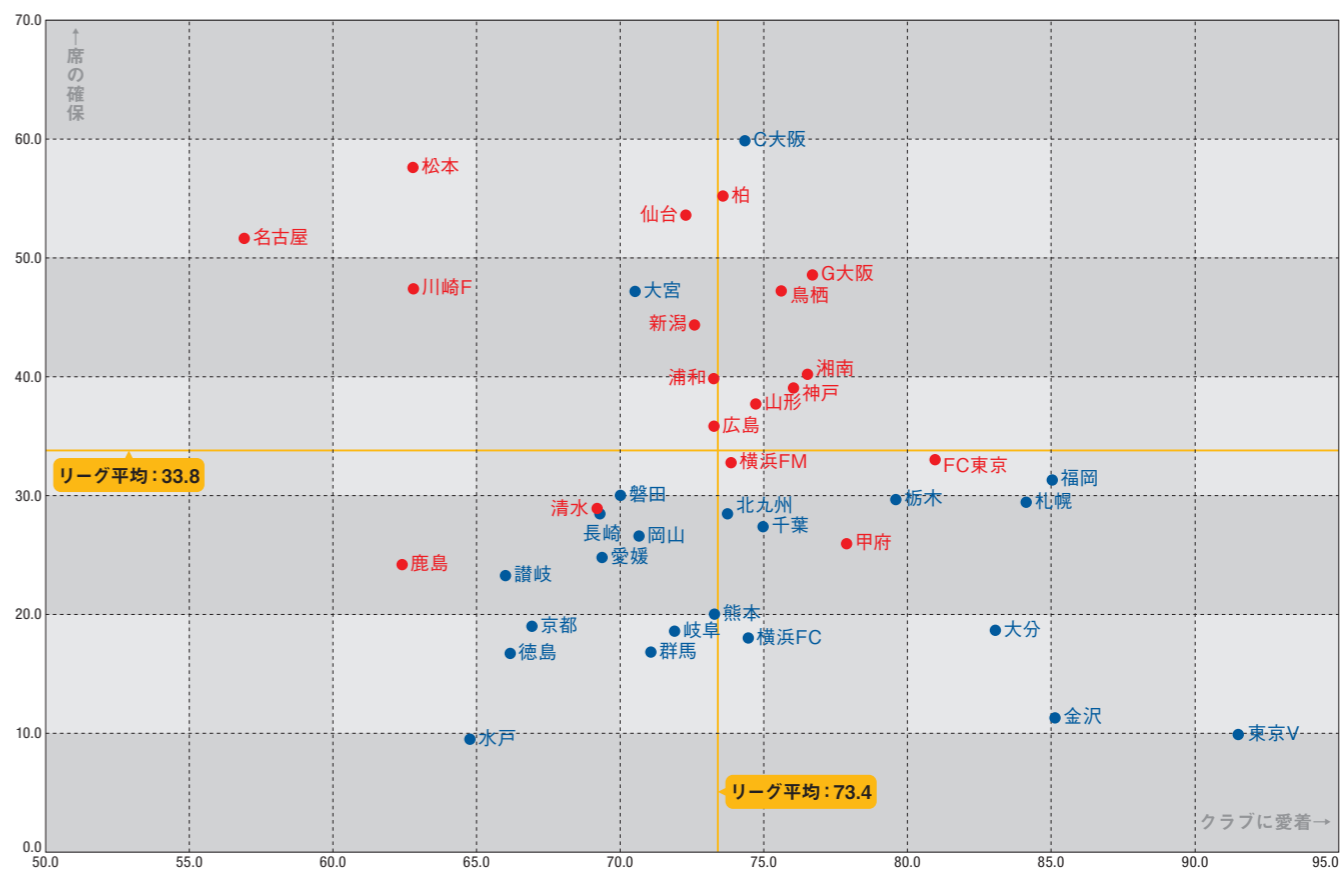
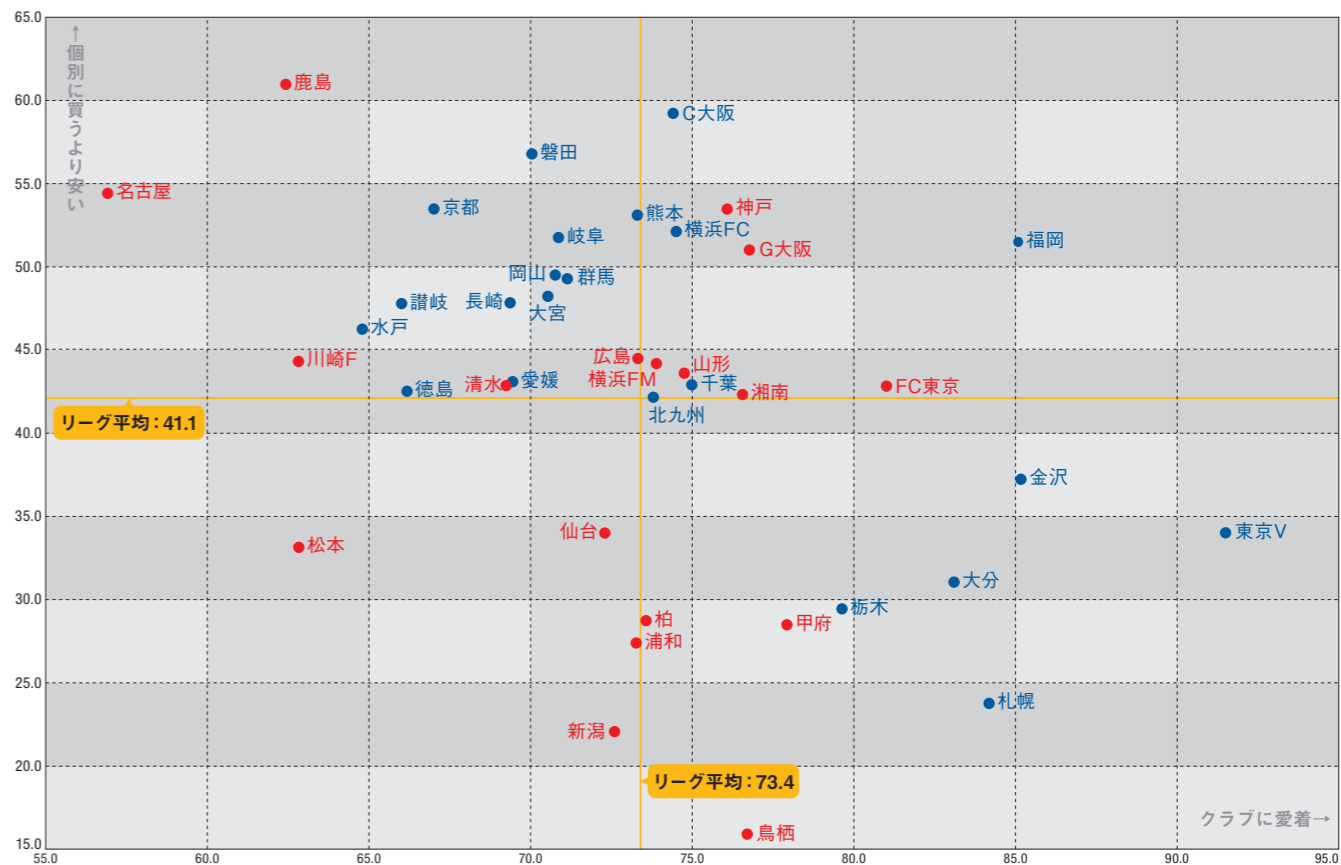
集計対象：ホームクラブ応援者 (n=6,673) ※シーズンチケットを購入した方への下位設問 ※複数回答 (単位：%)

仙台 クラブに愛着 72.3 席の確保 53.1 個別で買うより安い 32.8 同じ仲間と応援 25.4 特典が魅力 4.0 その他 2.8	山形 クラブに愛着 74.8 個別で買うより安い 42.4 席の確保 37.1 同じ仲間と応援 11.3 特典が魅力 9.9 その他 2.6	鹿島 クラブに愛着 62.3 個別で買うより安い 61.3 席の確保 23.6 特典が魅力 10.4 同じ仲間と応援 8.5 その他 7.5	浦和 クラブに愛着 73.3 席の確保 39.3 個別で買うより安い 26.2 同じ仲間と応援 20.4 特典が魅力 5.8 その他 6.8	柏 クラブに愛着 73.6 席の確保 54.6 個別で買うより安い 27.6 同じ仲間と応援 18.4 特典が魅力 5.7 その他 2.9
FC東京 クラブに愛着 81.1 個別で買うより安い 41.6 席の確保 32.4 同じ仲間と応援 10.9 特典が魅力 9.2 その他 2.9	川崎F クラブに愛着 62.7 席の確保 46.8 個別で買うより安い 44.3 特典が魅力 17.1 同じ仲間と応援 9.5 その他 4.4	横浜FM クラブに愛着 73.9 個別で買うより安い 43.0 席の確保 32.1 同じ仲間と応援 13.3 特典が魅力 12.7 その他 1.8	湘南 クラブに愛着 76.6 個別で買うより安い 41.1 席の確保 39.6 同じ仲間と応援 18.3 特典が魅力 12.7 その他 1.0	甲府 クラブに愛着 78.0 個別で買うより安い 28.0 席の確保 25.3 同じ仲間と応援 17.7 特典が魅力 6.5 その他 0.5
松本 クラブに愛着 62.7 席の確保 57.1 個別で買うより安い 33.2 同じ仲間と応援 14.7 特典が魅力 6.5 その他 1.4	新潟 クラブに愛着 72.6 席の確保 43.8 個別で買うより安い 22.1 同じ仲間と応援 20.4 特典が魅力 5.8 その他 2.7	清水 クラブに愛着 69.2 個別で買うより安い 41.7 席の確保 28.3 同じ仲間と応援 20.8 特典が魅力 6.7 その他 5.8	名古屋 クラブに愛着 56.7 個別で買うより安い 54.4 席の確保 51.1 同じ仲間と応援 15.6 特典が魅力 13.3 その他 3.3	G大阪 クラブに愛着 76.8 個別で買うより安い 51.1 席の確保 48.5 同じ仲間と応援 21.9 特典が魅力 21.2 その他 4.0
神戸 クラブに愛着 76.1 席の確保 38.5 個別で買うより安い 52.3 同じ仲間と応援 23.4 特典が魅力 14.2 その他 0.9	広島 クラブに愛着 73.3 特典が魅力 61.2 個別で買うより安い 44.4 席の確保 35.3 同じ仲間と応援 11.6 その他 3.4	鳥栖 クラブに愛着 75.7 席の確保 46.7 同じ仲間と応援 19.6 個別で買うより安い 15.9 特典が魅力 14.0 その他 4.7	札幌 クラブに愛着 84.3 席の確保 28.9 個別で買うより安い 23.5 同じ仲間と応援 13.9 特典が魅力 9.6 その他 9.6	水戸 クラブに愛着 64.7 個別で買うより安い 45.1 席の確保 9.8 同じ仲間と応援 5.9 特典が魅力 2.0 その他 3.9
栃木 クラブに愛着 79.7 席の確保 29.1 個別で買うより安い 29.1 同じ仲間と応援 19.2 特典が魅力 2.9 その他 2.3	群馬 クラブに愛着 71.1 個別で買うより安い 48.1 同じ仲間と応援 21.7 席の確保 16.3 特典が魅力 1.6 その他 3.9	大宮 クラブに愛着 70.5 個別で買うより安い 47.1 席の確保 46.7 特典が魅力 26.8 同じ仲間と応援 13.0 その他 1.9	千葉 クラブに愛着 75.0 個別で買うより安い 41.7 席の確保 26.9 同じ仲間と応援 12.0 特典が魅力 9.3 その他 4.6	東京V クラブに愛着 91.5 個別で買うより安い 34.0 同じ仲間と応援 12.1 席の確保 9.9 特典が魅力 5.7 その他 2.1
横浜FC クラブに愛着 74.5 個別で買うより安い 50.9 席の確保 17.4 特典が魅力 8.7 同じ仲間と応援 8.1 その他 1.2	金沢 クラブに愛着 85.3 個別で買うより安い 36.0 席の確保 10.7 特典が魅力 9.3 同じ仲間と応援 8.0 その他 4.0	磐田 クラブに愛着 70.0 個別で買うより安い 55.6 席の確保 30.0 特典が魅力 14.4 同じ仲間と応援 7.5 その他 1.3	岐阜 クラブに愛着 71.9 個別で買うより安い 50.6 席の確保 18.0 同じ仲間と応援 12.4 特典が魅力 9.0 その他 5.6	京都 クラブに愛着 66.9 個別で買うより安い 53.7 同じ仲間と応援 19.1 席の確保 18.4 特典が魅力 7.4 その他 2.9
C大阪 クラブに愛着 74.4 個別で買うより安い 59.4 席の確保 40.6 同じ仲間と応援 18.4 特典が魅力 7.3 その他 6.8	岡山 クラブに愛着 70.7 個別で買うより安い 49.0 席の確保 26.0 同じ仲間と応援 16.8 特典が魅力 9.6 その他 3.4	讃岐 クラブに愛着 65.9 個別で買うより安い 46.6 席の確保 22.7 同じ仲間と応援 8.0 特典が魅力 5.7 その他 3.4	徳島 クラブに愛着 66.1 個別で買うより安い 41.3 席の確保 16.1 同じ仲間と応援 11.2 特典が魅力 8.7 その他 1.7	愛媛 クラブに愛着 69.4 個別で買うより安い 41.9 席の確保 24.2 同じ仲間と応援 8.1 特典が魅力 6.5 その他 8.1
福岡 クラブに愛着 85.2 個別で買うより安い 50.3 席の確保 30.7 同じ仲間と応援 14.3 特典が魅力 12.2 その他 1.1	北九州 クラブに愛着 73.8 個別で買うより安い 41.0 席の確保 27.9 同じ仲間と応援 16.4 特典が魅力 8.2 その他 11.5	長崎 クラブに愛着 69.3 個別で買うより安い 46.7 席の確保 28.0 特典が魅力 14.7 同じ仲間と応援 12.7 その他 2.0	熊本 クラブに愛着 73.3 個別で買うより安い 51.9 席の確保 19.4 同じ仲間と応援 15.5 特典が魅力 10.2 その他 1.9	大分 クラブに愛着 83.2 個別で買うより安い 31.0 席の確保 18.1 同じ仲間と応援 16.4 特典が魅力 9.3 その他 0.9

クラブへの愛着をシーズンチケットの購入理由とする人が多いクラブは、東京V・福岡・金沢。

シーズンチケットを購入する理由としては、「クラブに愛着」(73.4%)が主たるものであり、全40クラブでトップの理由となっており、次いで「個別で買うより安い」(41.1%)、「座席の確保」(33.8%)である。また、東京Vは「クラブに愛着」の割合が91.5%と最も高くなっている。

シーズンチケットの購入理由 [上] クラブへの愛着×経済性 [下] クラブへの愛着×席の確保



付録 Appendix

スタジアム観戦者調査2015 調査票 (リーグ共通項目抜粋)

アンケート調査へのご協力のお断り

このアンケートは、今後のリーグの試合およびクラブの運営を推進するための情報を収集することを目的に、本報、リーグにご賛同の賛助者の方から実施しております。ご回答は匿名で行います。ご回答いただいた情報は、ご回答いただいた目的にのみ使用させていただきます。なお、ご回答をご希望とご希望をお寄せいただきありがとうございます。

(登録) 日本プロサッカーリーグ クラブ名 ○○○○○○

以下に調査をご記入ください

1) 性別 1. 男性 2. 女性

2) 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代 10. その他

3) お住まいの地域 1. 関東 2. 関西 3. 中部 4. 北陸 5. 中国 6. 四国 7. 九州 8. その他

4) ご職業 1. 学生 2. 専業主婦 3. 会社員 4. 自営業 5. 無職 6. その他

5) 昨年のスタジアム観戦回数 ① 1. リーグ戦 ② 2. リーグ戦以外 ③ 3. リーグ戦以外 ④ 4. リーグ戦以外 ⑤ 5. リーグ戦以外 ⑥ 6. リーグ戦以外 ⑦ 7. リーグ戦以外 ⑧ 8. リーグ戦以外 ⑨ 9. リーグ戦以外 ⑩ 10. リーグ戦以外

6) 観戦したスタジアムのクラブ名 1. 〇〇〇 2. 〇〇〇 3. 〇〇〇 4. 〇〇〇 5. 〇〇〇 6. 〇〇〇 7. 〇〇〇 8. 〇〇〇 9. 〇〇〇 10. その他

7) スタジアムまでの所要時間(片道) 1. 15分以内 2. 15分~30分 3. 30分~45分 4. 45分~1時間 5. 1時間以上

8) 観戦したスタジアムの印象 1. 非常に良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 非常に悪い

9) 観戦したスタジアムの印象を教えてください 1. 〇〇〇 2. 〇〇〇 3. 〇〇〇 4. 〇〇〇 5. 〇〇〇 6. 〇〇〇 7. 〇〇〇 8. 〇〇〇 9. 〇〇〇 10. その他

10) 「リーグ」の情報は、主にどこから入手していますか(複数回答可) 1. テレビ 2. 新聞 3. 雑誌 4. インターネット 5. ラジオ 6. その他

11) 観戦する際に利用しているモバイル端末(複数回答可)はありますか(複数回答可) 1. スマートフォン(スマホ) 2. タブレット 3. その他

1) 最近観戦した試合について

1. 試合内容が面白かった 2. 試合内容が面白くない 3. 試合内容が普通だった 4. 試合内容が面白くない 5. 試合内容が面白くない 6. 試合内容が面白くない 7. 試合内容が面白くない 8. 試合内容が面白くない 9. 試合内容が面白くない 10. その他

2) ACL(AFC)チャンピオンズリーグの観戦について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

3) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

4) 最近観た試合の「ゴール」について

1. ゴールが面白かった 2. ゴールが面白くない 3. ゴールが普通だった 4. ゴールが面白くない 5. ゴールが面白くない 6. ゴールが面白くない 7. ゴールが面白くない 8. ゴールが面白くない 9. ゴールが面白くない 10. その他

5) 最近観た試合の「ゴールキーパー」について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

6) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

7) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

8) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

9) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

10) リーグの試合のテレビ放送について

1. 観戦した 2. 観戦したくない 3. 観戦したくない 4. 観戦したくない 5. 観戦したくない 6. 観戦したくない 7. 観戦したくない 8. 観戦したくない 9. 観戦したくない 10. その他

Q1. この試合を観戦された理由として、以下の中から、どの程度当てはまりますか。

1. 応援したいクラブの成績がよいため 2. 応援したいクラブの成績がよいため 3. 応援したいクラブの成績がよいため 4. 応援したいクラブの成績がよいため 5. 応援したいクラブの成績がよいため 6. 応援したいクラブの成績がよいため 7. 応援したいクラブの成績がよいため 8. 応援したいクラブの成績がよいため 9. 応援したいクラブの成績がよいため 10. その他

Q2. あなたは、以下の意見をどの程度お持ちですか。

1. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 2. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 3. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 4. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 5. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 6. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 7. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 8. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 9. リーグの試合は、試合の精彩が面白くない 10. その他

Q3. あなたは、以下について、どの程度当てはまりますか。

1. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 2. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 3. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 4. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 5. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 6. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 7. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 8. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 9. 最近観た試合のテレビ放送は、面白くない 10. その他



発行日 2016年2月18日
 発行人 村井 満
 発行所 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階
 TEL:03-3830-2006(代表)
 FAX:03-3830-2007
 http://www.j-league.or.jp

監修 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 青山 優香
 筑波大学体育系准教授
 仲澤 真
 協力 Jリーグ40クラブ
 写真 Jリーグフォト株式会社
 制作・編集 株式会社電通
 (編集協力:株式会社スケール)